

なんざんだいがく

南山大学

こうしきやきゅうぶ

硬式野球部

OB会 南友会 会報



2023 春・秋

【2023. 2 ~2023. 10】

OB・OGの皆様へ

今シーズンもリーグ戦全日程を終了し、部報を発行する運びになりました。

OB、OGの皆様には日頃より大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして、感謝申し上げます。お忙しいところ、試合に足を運んでくださり誠にありがとうございました。

また、金銭的な面におきましても、高額の支援をいただき誠にありがとうございました。いただいたお金は、連盟金や球場使用料の支払い等に有効に使わせていただきました。

OB,OGの方々のご支援のおかげさまで日々活動を行うことができます。

そして卒業してもなお、交流の場まで設けていただけていることも、大変うれしく思っています。

今季も、先シーズン果たすことができなかった「二部昇格」を目標に、練習を行ってきました。春季リーグでの準優勝という結果を経て秋季リーグでは三部全勝優勝、入れ替え戦進出を果たすことができました。しかし、二部昇格への道は高く勝利することは叶わず三部残留という結果で秋季リーグは閉幕いたしました。

今リーグをもちまして、我々南山大学硬式野球部は新体制となり、新たなチームで活動してまいります。この悔しさをばねに日頃よりお世話になっているOB,OGの皆様良い結果、良い報告が出来るよう新たなチームで精進してまいります。

今後とも、南山大学硬式野球部をどうぞよろしく願いいたします。

南山大学硬式野球部

主将 宇野 敏基

主務 柴 蒼輝

マネージャー 岡本歩乃佳



青年は
 熱と意気
 而して
 顧みるとき
 微笑である
 森 茂也



2003年12月7日 南山大学硬式野球部OB会南友会定期総会の席上、
 森 茂也歴代部長が、述べられた言葉 森 茂也先生書
 (この色紙は部室に掲示しております)

「希望」

南友会会長 大橋 恵一（昭和60年卒業）



晩秋の候、南友会会員の皆様におかれましては、
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は南友会の運営にあたり、多大なるご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。

さて私こと、8月26日（土）に開催されたOB会南友会の定期総会の決議により、新谷前会長の後任としてOB会会長に就任いたしました。

まずは、1期4年にわたり南友会活動に尽力され、献身的に運営を支えられた新谷会長に敬意を表するとともに、この場をお借りしまして感謝の意を表したいと思えます。誠にありがとうございました。

その後を受け継ぎました私でございますが、とても会長という器ではありませんが、引き受けた以上誠心誠意努力してまいる所存です。

今年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された中、春季3部リーグ戦では6勝1敗で2位となりました。4月29日（土）の全勝同士の直接対決となった名工大戦では8回裏に逆転ホームランを打たれ、惜しくも4-6で敗れました。秋季3部リーグ戦では7戦全勝で見事優勝しました。春季リーグ戦は最後名工大に負けましたが、得点がリーグ1位で失点はリーグ最少で相手を圧倒する試合が多く見られ、秋季リーグ戦は得点がリーグ2位で失点はリーグ最少でしたが勝負強さが増し、強敵名大や受教大に勝利し優勝につなげました。

そうした中、10月21日（土）、22日（日）にパロマ瑞穂野球場で2部と3部の入替戦で日本福祉大学に挑みましたが、2-4、7-14で惜敗しました。しかし、2戦目こそ最後点を取られました。両試合とも手に汗にぎる接戦で希望の持てる試合と言わざるを得ません。

私は、春は5試合観戦し、秋は入替戦を含めて2試合観戦（9月前半に体調不良で観戦あまりできませんでした）した試合の中で感じたことは、声がよく出る明るいチームで、また観に来たい気持ちにさせてくれるチームあることです。お互いにはげましあったり、ホームに帰ってきた選手とハイタッチ交わしたり、私たちの昭和の時代の学生野球の経験者からしてみると新鮮に映ります。それに技術にパワーも3部の中で抜きこんでいる魅力のあるチームで、次回こそ2部リーグ昇格を目指して頑張りたいと思えます。

今回3部リーグ優勝と入替戦の日程については、役員の方に事前にお知らせしたところ何人かの方に観戦に来ていただきましたが、新聞等の愛知大学野球の結果と予定を見て多くのOBの方が駆けつけてくれました。また、観戦に来た昭和56、57年度卒業生の方8名の方から多額の御厚志をいただきました。この場をお借りしまして感謝の意を表します。誠にありがとうございました。この御厚志は、12月2日（土）開催予定のOB戦の場で現役部員に贈呈します。

最後に、2部リーグ昇格の希望が見えてきましたが、昇格するとより多くの金額を負担することになります。我々もより多くのOB会費を現役部員に提供したいと思っていますので、ご協力をよろしく願います。

南友会事務局 Email: keichi.ohashi0316@gmail.com

FAX: 0562-34-1216(大橋自宅)

野球部史を野球部 HP に掲載しています。内容をより濃いものにしたく思っています。皆様の情報をお寄せください。大学 HP(クラブ紹介)、同窓会 HP ともリンクしています。

南山大学硬式野球部ホームページ: <https://www.nanzanbaseball0809.com/>

同窓会 HP: <http://www.nanzan.ac.jp/DOSOKAI/friendship/club.html>

愛知大学野球連盟 HP: <http://aubl.biz/>

2023 年度シーズンを終えて

硬式野球部長 西岡 淳

2023 年度の愛知大学野球におけるリーグ戦シーズンが終了しました。春季は 3 部リーグ 2 位でしたが、秋季は久しぶりにリーグ優勝をして 2 部との入れ替え戦に進みました。残念ながら昇格はなりませんでしたが、来期以降への希望が持てる結果を得たように思います。以下、南山大学硬式野球部の戦績について簡単にご報告いたします。

[春季：3 部リーグ]

南山の所属する 3 部リーグは、参加校 8 校の総当たり（1 試合）で行われました。南山は 5 試合を終えて 6 勝 0 敗で名工大と並んで 1 位。4 月 29 日に両校による最終戦が行われ、4 - 6 のスコアで敗れた結果 2 位となりました。試合は、南山が 1 回表に 1 点を先制しますが、名工大は、3・4 回に 1 点ずつ入れて逆転。5 回表、南山は走者二人を置いて四番西塚が右越え本塁打を打ち、逆転して 2 点差となりました。名工大はその裏に 1 点を返した後、8 回に走者二人を置いて右越え本塁打が出て 6 - 4 と逆転し、南山は 9 回に得点を返せずそのまま敗れました。南山の先発投手小谷は、3 部リーグでは唯一防御率 0 点台を保持しており、この試合でも安定した制球力を見せました。8 回の被弾は不運であったと思います。

[秋季：3 部リーグ・入れ替え戦]

春季と同じく 8 校の総当たり（1 試合）で、南山は愛教大との試合では、逆転して 5 - 4 と接戦でしたが、その他は差をつけて勝利し、7 戦全勝で入れ替え戦に進みました。

入れ替え戦の相手は日本福祉大学。10 月 21・22 日にパロマ瑞穂野球場で行われました。21 日の第一戦では、南山の先発投手小谷が 7 回まで好投を見せたものの、味方の守備の乱れなどから 3 失点し、そのまま逆転できずに 2 - 4 で敗れました。22 日の第二戦では、日福大が 1 回表に四球と連打などで 4 点を先制、その後も得点を加えて 3 回までに 6 - 0 としました。3 回裏、南山は一死満塁とした後、押し出し四球と内野ゴロ、ボークで 5 点を返しましたが、日福大は 4 回以降もほぼ毎回得点を重ね、8 回までに 10 得点、9 回には 4 点を奪って都合 14 点を入れました。対する南山も小刻みに得点はするのですが、8 回までに計 7 点を得るにとどまりました。私はこの試合の方を観戦しましたが、打線のつながりと投手陣の層の厚さから、日福大が終始優位に試合を進めたという感じでした。

2 試合とも敗れはしましたが、二戦後の選手諸君の表情には、何か晴れやかなものを感じました。この 4 年を通じて、常にコロナ禍の影が世に差していたことを思うにつけ、最後までグラウンドに立っていた 4 年生諸君の姿勢と存在感には、特に深い印象を受けました。3・4 年生の後に続く 1・2 年生にも好選手が出てきていることにも希望が持てますし、皆さんの日頃の練習の成果は、今シーズンの戦い振りに十分に表れていたと思います。

今年の夏には、4 年に一度の南友会定期総会が行われ、OB の皆様からは励ましの言葉とあたたかなご支援をいただきました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。また、普段から応援いただいている皆様にも、ここに心から感謝いたしますと同時に、いまこうして努力している南山硬式野球部の現役諸君に、来季も一層のご声援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022 年を振り返り

監督 横江光義

2023 年のシーズンが終了いたしました。最後まで戦い抜いた選手の皆様、おつかれさまでした。

本年度は春、秋ともに良い試合展開を続けることが出来、秋期リーグ戦ではついに優勝、入れ替え戦までたどり着き、そこでも敗れたとはいえ、かなりの接戦を繰り広げるまでにいたしました。

これもひとえに選手の皆さん一人一人の、積み上げてきた努力のたまものであると思います。

改めて皆さんに御礼を申し上げたく思います。

野球を好きでいてくれて、そして南山大学硬式野球部でも続けてくれて本当にありがとう。別の道を選ぶことも出来たのに、それでも続けてくれた皆さんが集まり、努力してくれた一つの形が今年であったと思いますから。

それにしても、25 年程前の当時の名工大、愛教大に 12-0 やら 14-1 あたりの得点差でいいところもなく敗れていた時代を思うと隔世の感があります。

特にその頃は部員不足で、部の存続すら危ぶまれた時期でもありました。

物事は大概そうですが、一度消滅してしまったもの、組織やら技術やら理念などを復活させるのは非常に困難であることが多いです。

あのとき、部の存続をあきらめてしまっていたら、今年のような結末を見ることもなかったでしょう。その困難な時代に部長に就任していただいた西岡先生、木村前監督、野球を続けてくれた歴代の野球部員には感謝の念が耐えません。

「存続」と「継承」、今社会の至る所で、この問題がちらほらと顔を出し始めています。

地味な内容ではありますが、この 2 つの繰り返しで社会は成り立ってきた側面はあるかと思えます。

まあ、社会問題と同一視するものかどうかとも思いますが、ギリギリのところをつないだ野球部がここまで至ったのは、この「存続」と「継承」、「あきらめずに続ける」がなんとかあった例の一つではないか、皆さんはその一つの集大成であったのではないかな、そんな風を感じています。

最後に、OB の皆様、次の代はすでに始動を始め、すでに練習試合を組み、来季に向けて動き始めております。なにとぞ彼らへの応援とさらなる支援をお願いいたします。

南山大学硬式野球部規則

(名称)

第1条 名称は南山大学硬式野球部（以下本部）を称する。

(目的)

第2条 本部は試合において勝利を目指すとともに、野球を通じて人間形成を行い、活動する仲間、およびOBとの親睦を深めることを目的とする。

(所属・加盟団体)

第3条 本部は学内において南山大学体育会に所属し、また愛知県下において愛知大学野球連盟（以下、連盟）に加盟する。

(役員)

第4条 本部には次の役員を置く。

1. 部長
2. 監督
3. 主将
4. 副主将
5. 主務
6. 学生委員（連盟における役員）

(部員)

第5条 本部の部員は南山大学の学生でなければならない。

第6条 本部の学生は大学において課外活動を行う団体であるため、部員は正課である学業をおろそかにしてはならない。

第7条 本部の部員は連盟・大学・部が定める規約・規定に従うとともに、社会的規範を遵守しなければならない。これができない場合は、役員による協議を行い大部（除名）等の処分を下す場合がある。

第8条 本部の活動の為に軽費は以下のものである。

第9条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとし、年度終了後に大学へ会計報告を行うものとする。

(OB会)

第10条 部員は大学卒業後にOB会「南友会」に所属する。

(その他)

第11条 この規約において判断できない事項については、役員を中心として協議の上解決を図る。

第12条 規約の改定が必要な場合は、役員による協議を行い決定する。

第13条 留学、退部については部員の意見を尊重し、妨げない。

AICHI UNIVERSITY BASEBALL LEAGUE **2023 SPRING**



大学
野球
UNIVERSITY BASEBALL



愛知大学野球

2023年度 春季リーグ戦 **期間** 3月30日(木)～6月3日(土)

※春季リーグ戦は3月30日(木)～4月1日(日)開催



愛知大学野球連盟

<http://aubl.jp>

中日新聞社/中日スポーツ

株式会社三ニニニ

1部リーグライブ配信(有料) ▶
※配信日は別途ホームページにて発表

パロマ瑞穂野球場

豊田市運動公園野球場

春日井市民球場 他

愛知大学スポーツ
チャンネル

最新情報
お楽しみに!





2023 年

- | | |
|--------|---------|
| 2月13日～ | 春季練習開始 |
| 2月28日～ | 春季オープン戦 |
| 4月1日～ | 春季リーグ戦 |
| 5月21日 | 強化リーグ戦 |
| 6月10日 | 新人戦 |
| 7月8日 | 上南戦 |



背番号 2
4年 小野裕心(おのゆうしん)
愛知県 杜若高校

春のリーグ戦お疲れ様でした。私は昨年の秋季大会にて、迷ってはいましたが、引退すると言っていましたし、部報にも引退すると書きました。実際に、何ヶ月か野球から離れた生活をしていました。しかし、野球がやりたくてとても部活に行きたくなくなっていたときに、有り難いことに何人かから戻ってきて欲しいと言ってもらい、それが想像以上に嬉しく感じました。そして、今のチームのキャプテンに連絡し、チームに復帰させてもらいました。12月、1月には体作りとバッティング練習を大学野球のなかで1番やったといっても過言ではないくらいやったつもりです。また、ポジションが1年生の頃からずっと守り続けてきたショートから、チームのことを考えレフトに転向しました。元々守備には自信があり、内外野どちらも得意だったのでそこに苦労はありませんでしたが、時々、ショートの方が楽しいなど感じてしまうことがあり、そう感じてしまうことが自分の中で少し嫌でした。2月からの練習、練習試合は毎日参加し、勝てるチームになれるよう努力しました。そして、春季大会が始まりました。野手陣、投手陣が

噛み合い大量得点に少ない失点で勝ち続け、接戦になった試合もしっかり獲って全勝同士の最終戦を迎えました。序盤から流れは南山にあり、徐々に追い上げられてはいましたが、勝てると思っていました。しかし最後の最後にひっくり返されとても悔しい3部リーグ2位という結果におわってしまいました。また、優勝チームが2部との入れ替え戦で勝利し、2部リーグにあがったという結果を知り、さらに悔しさが溢れて来ました。

私の代のチームメイトは私を含め5人しか残っていませんが、後輩を含め皆と一緒にチームで楽しいですし、このチームで勝ちたいと強く思います。春季大会の敗因は色々ありますが、夏休みの練習で秋に向けてしっかり詰められるところを詰めて、優勝できるチーム、結果で優勝に貢献できる選手になりたいと思っています。



背番号 8
4年 近藤翔太(こんどうしょうた)
愛知県 至学館高校

春リーグお疲れ様でした。今回は4年生として迎えた春のリーグでした。個人的にはとにかく勝利に直結する打点にこだわり練習してきました。その甲斐あってか、最終

戦前で打点はリーグでトップになっていました。ただ、最終戦の名工戦、絶好のチャンスで凡退してしまい、次の打者がカバーしてくれたものの、自分が凡退しなければビッグイニングになっていたかもしれないと考えると、本当に悔いが残る打席となりました。この名工戦で敗れ、自分たちがいる代のうちに2部昇格することは叶いませんでした。あとアウト4つで入れ替え戦まで進めたという状況でした。やはり最後のアウト6つを取ることがどれだけ難しいのかを痛感しました。上南戦では、2年連続の勝利に貢献できてよかったです。次のリーグ戦が自分自身の大学生としての最後のリーグ戦になります。自分たちが入ってきてから、リーグ優勝はあったものの、入れ替え戦まで行ったことがまだありません。20年ほど2、3部入れ替え戦に進んでいない壁は相当大きなものです。ただ、今の2年生たちが3年生になる時に2部で試合ができるために今回こそは2部昇格を目指し頑張ります。2年生、新しく入ってきた1年生にもポテンシャルが高い子が多くいます。最上級生として、次の世代にどうこの部活を渡していくか、それを考えて日々の練習に取り組んでいきたいと思えます。自分が1年生の時、この部活動は良い意味でサークルのような楽しい部活でした。そこから、2、3年ほどで勝ちに向け楽しく野球をする集団に変わりました。また、その中で自分自身の技術向上のために練習する部員も増えました。個人的には良い流れが続いてきた今の硬式野球部の感じをこれからもずっと続けて欲しいと考えています。最後になりましたが、OB、OGの皆様、日頃から多くのご支援いただき、誠にありがとうございます。

す。勝利、2部昇格という形で皆様に恩返しができるように最後のリーグ戦頑張ってください。機会があればぜひご観戦いただくと有り難いです。



背番号 9

4年 深谷浩大(ふかやこうだい)

愛知県 知立東高校

春季リーグ戦、上南戦お疲れ様でした。春季リーグ戦は、今回2位という結果に終わってしまいました。昨年の秋リーグ戦を4位という結果で終え、その時に出た課題が個人のスキルアップという点でした。チーム全体の力は他のチームとは大きく変わらないにもかかわらず、ピンチの場面でピッチャーが投げ勝つことができない、打者では、スピードボールの投手に対して、対応できないといった個人の課題が明確に出ました。そこで、冬のオフ期間では、多くの選手が2部リーグに行くために、工夫したと思えます。野手の中心選手を筆頭に、関東のトレーナーの下へ足を運び、指導を受けることや、冬の自主練習期間でも多くの野手陣が参加し、個人のレベルアップを図りました。また、投手陣もトレーナー下へ足を運び、終盤の競った場面で、投げ切る力をつけていきました。結果としては、出てきていると

思っています。個人としても、練習試合を含め、昨年にはなかったしっかりと振り切る力と鋭い打球が多く飛ぶようになったし、チーム全体でもどうやったらもっと打てるようになるか、打球を遠くに飛ばせるようになるかを自分で考えたり、他の選手にアドバイスを求めたりする場面が増えていると感じています。秋にもう一度勝つためには、こうした雰囲気が続けていかなければ勝てないと思います。冬の数か月チーム全体でやっただけでは、終盤の大事な場面で勝ち切ることはできないし、他のチームと差を埋めることは難しいと思います。まずは、自分から野球がうまくなりたい、このチームで勝つにはどうしたらいいかを考える選手が一人でも多く増え、そうした雰囲気が4年生から1年生全体で浸透していくことが、秋に勝てるようになり、またその先の南山の野球部にとっても、良い伝統が受け継がれていくと思います。自分自身にとっては、次が最後のリーグ戦となります。最近怪我も多く、満身創痍ではありますが、最後は勝って終わりたいと思います。そのためにも、グラウンドの練習以外での、素振りや室内練習場での打ち込み、ウエイトトレーニングにもう一度力を入れ、後悔のないように大学の野球生活を終わりたいと思います。また、個人の結果だけでなく、今後の南山の野球部の為にも、南山の楽しい野球の雰囲気や率先して個人練習を行う伝統を残していけるように、励みたいと思います。最後になりましたが、春リーグ戦を運営や普段の練習をサポートして頂いたマネージャーの方々には、感謝を申し上げます。マネージャーの方々がいなければ、球場で練習を行うことや、リーグ戦にも出場できないた

め、ありがとうございました。



背番号 51

4年 原科拓磨(はらしなたくま)

岐阜県 多治見高校

春リーグそして上南戦お疲れ様でした。リーグ戦、上南戦の開催、運営に協力していただいた多くの協力者の方々のおかげで無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございました。また、沢山の方に応援に駆けつけて頂き、後押ししてもらい、本当に力になりました。ありがとうございました。春リーグでは、優勝決定戦に敗れ2位という結果に終わりました。チーム全体としてリーグ戦を通して打撃力を発揮する事が出来ていたと思いますが、ここ1番での勝負強さが無く、優勝を逃す形になりました。今チームに限らずここ1番での勝負強さはずっと課題になっているので、チーム全体で練習から意識してここ1番で強い力を発揮出来るようにしていきます。個人としては指名打者として起用してもらったもののほとんど貢献する事が出来ませんでした。頭にて死球を受けてから自分自身でも打撃が崩れていくのがわかり、焦って変に修正しようとして迷走してしまいました。自分が打てばもっと楽に勝てた試合、

優勝決定戦も勝つ確率は上がっていたと思うので非常に悔しいです。

今後このような形で打撃を崩さないように、これまで意識をしてこなかった体幹や脇腹、肩甲骨など身体のコアの部分を意識して練習をしています。まだ、身体に染み込んでおらず、ぶれる事もありますが、ボールの見え方が良くなったり凡打の内容が良くなったりと良くなってきている実感はあります。上南戦では、春リーグの反省を活かした打撃練習の成果が出たと思います。途中出場でも2打数2安打と結果を残す事が出来ました。1本目は左投手、2本目は右投手から打つ事が出来た事、そして2本目は追い込まれてから変化球を崩されずに打てた事。これらの成果はやはり身体のコアを意識している成果だと思っています。

次の秋リーグで学生生活最後となります。自分自身が出来る事をやりきって、スタメンだろうがベンチだろうが何が何でもどんな形でもチームに貢献して優勝し、入れ替え戦へ進み2部昇格を果たしたいと思います。



背番号1

3年 國井飛悠吾(くにいひゅうご)
岐阜県 加納高校

今回の春のリーグ戦で、メンタルコントロールの重要性を学んだ。何試合かスタメンで使っていただき、自分の精一杯のプレーをしようと努力した。とても緊張してアップの時から浮き足立っているような感じになってしまい、思ったようなプレーができないこともあったが良い経験をさせていただいたと思う。

春休みの合宿では自分の課題に向き合う時間を多くとる事ができた。バッティングでは、前軸になってしまっていたので、体の中心の軸で回れるように反復練習を繰り返した。そのおかげで、前から来るボールに対しても軸をぶらさずにスイングできるようになってきた。今後の課題としては、両肩と骨盤が後ろ軸にしたことによって後ろにそってしまっているのを、地面に対して垂直に回れるようにしていきたい。また、トップを作った時に、左足の内側に壁を作って体重移動の際に右足の外側に壁を作って強いスイングができるようにしていきたい。さらにレベルアップしていくために、できるだけ早い段階からスイング軌道をボールの位置に合わせて、少しでも長く線の状態が維持できるように努力していきたい。右肘の引きと、左肘を早く体に付けて、回転することを意識していきたい。守備では、以前に比べて走り込みができていないので、捕球の際に足が動かず、バウンドが合わないということが多くあった。また横の打球に対して、移動する際に体が浮いてしまっているし、前後の動きも鈍くなってしまっていると思う。ダッシュ系のアジリティトレーニングに加えて、下半身強化もしていかなければならないと思った。新チームになって、来秋のリーグ戦

で2部昇格という目標がたったのでそれに向けて精一杯取り組んでいきたい。またチーム内で、特にプレーに関するコミュニケーションを活発に行っていき、さらに成長していけるようにしたい。

春のリーグ戦で課題に上がったメンタル面を改善していくためには、普段の練習からいかに実戦を想定してできるかだと思うので、頑張っってやっていきたい。



背番号21

3年 片田怜(かただれい)

愛知県 名東高校

春のリーグ戦お疲れ様でした。今回のリーグ戦では3部で優勝し、入れ替え戦を勝ち2部に昇格することを目標としていましたが3部2位という悔しい結果となりました。チャンスの場面でのバッティングや取れるアウトを確実に取ることが主な課題として挙げられます。今回のリーグ戦では中軸のバッターに頼ってしまっていたので、上位の打順から下位の打順まで全てのバッターがチャンスでヒットを打つことができるようにしていきたいです。

個人としては、成長を感じた部分と課題となる部分がありました。成長を感じた部分は、前回のリーグ戦ではあまり試合に出

ることができませんでしたが、今回のリーグ戦では全ての試合に出場することができました。また、大学で1本目のホームランを打つことができました。課題となる部分は、ピッチャーの球速が速くなると打ち損じが増えてしまったことです。守備の面では、エラーにはなっていないところのミスが出てしまったことです。中継の時の握り変えや一歩目の反応の速さを改善していきたいと思います。優勝を決める試合では自分はほとんど活躍することができず、とても悔しい思いをしました。

少しずつ夏休みの練習を行っていますが、普段の練習よりも長く時間を取って練習を行うことができるので春のリーグ戦で優勝するために足りなかった部分を改善できるように練習していきます。守備面での課題をいくつか挙げましたが、チーム全体としての守備力は上がってきていると思うのでこのまま継続して守備力を上げていきたいです。1番の課題はやはりバッティングなので、夏休みの練習では特に打撃力を上げることを考えていきたいと思います。ただ打って点を取るだけでなく、どのようにしたら点を取ることができるかなどを考えて、いろいろな点を取る手段を身につけていきたいです。

最後に、次のリーグ戦は自分にとって最後のリーグ戦となるので、目標である3部優勝、2部昇格を果たします。



背番号 23

3年 宇野敏基(うのとしき)

岐阜県 県立岐阜商業高校

春季リーグ戦お疲れ様でした。主将として挑む初めてのシーズンでしたが、チームの先頭に立って取り組む難しさを強く感じたシーズンでした。

結果としてリーグ戦2位に終わり、目標としていた3部優勝、2部昇格に届かない結果となりとにかく悔しい結果になりました。最終戦まで全勝で進み、コールドゲームで勝ったり接戦を制したりして本当にいい試合が多くチーム力が上がってきたと感じていたのですが最後の最後で勝ちきれなかったというところにチームの弱さが出てしまったと思います。

秋に向けて得点力をあげることを課題に夏休みの練習に取り組んでいきたいと思います。また元気で勢いのある新1年生が入ってきてくれたので新たな風としてチームにいい影響を与えてくれているので上級生も負けないように必死に取り組んで秋のリーグ戦までに3部では負けない勝てるチームに仕上げたいと思います。

個人的には主将としてやることの多さ考えることの多さに苦しむことが多かったと感じたシーズンでした。チームのことと自分

のことの両方を考えながらプレーすることがここまで大変なことだとは思いませんでした。自分なりに両立し個人の結果として少しはチームに貢献はできたと感じています。しかし、スタメン時に結果が出せず、悔しい思いをしたので、秋のリーグ戦までにさらに力をつけ、フル出場しながら結果が出せるようにしていきたいと思います。

春のリーグ戦が終わり、夏休みに入りましたが秋のリーグ戦まで本当に時間がありません。夏休みでたくさんの時間があり、全体練習以外でも個人個人で差が出る時期になると思います。その中でチームメイトの調子のいい選手、力がついてきている選手の見極めが秋のリーグ戦の結果に大きく影響してくると思います。主将として勝つためにしっかりと考え、チームの勝ちにつながる判断をしていきたいです。自分自身の最後のシーズンとして強い気持ちをもって挑みたいと思います。

選手一同優勝目指して必死に取り組みますのでOB、OGの皆様からの熱い応援をいただけると幸いです。

選手全員で優勝目指して全力で頑張ろう！



背番号 24

3年 小澤奏太(おざわかなた)

愛知県 長久手高校

春季リーグ戦お疲れ様でした。今年度の春季リーグは3部リーグ2位という結果に終わりました。2部に上がることを目標にしていたため、非常に悔しい結果となってしまいました。名古屋工業大学戦以外の試合は全勝しており、とても良い流れでした。しかし、昨年からなかなか1位になることができず、反省点から何かを変えていかなければいけないと感じました。

守備面では、エラーが多かった印象を受けました。エラーをすると試合のテンポが悪くなったり、点を入れられてしまうことがあったりします。ピッチャーがその後続のバッターを打ち取ることができればいいですが、ピッチャーも試合の流れがないと打ち取ることは難しいと思います。そのため、初回や回の先頭バッターなど、入りの部分でのエラーは極力無くさなければいけないと思いました。これはフォアボールやデッドボールも同様で、試合の入りは全員が集中のギアをあげるべきところだと改めて感じました。

攻撃面では、チャンスを活かしきれなかった印象がありました。チャンスはプレッシャーのかかる場面であり、相手のピッチャーも力を入れるところであるため、なかなか打つことは難しいです。しかし、淑徳戦のようにヒットを打たなくても、強いゴロを打ち相手のミスを誘ったり、選球眼を良くしてフォアボールを狙ったりすることで点が入ることもあります。そのため、どうしても打てない場合や不調の時などはヒット以外のことを狙うのも一つの手だと思いました。とは言え、しっかりとチャンスを活かし切れた場面もあり、数多くチャンスメイクをできた、相手のミスにつけ込むことができた、という点では良い攻撃ができたとも言えると思います。

個人としては試合に出る機会はあまりなかったですが声を出して盛り上げたり、ベンチワークをしっかりしたりとチームに貢献することができました。特に雰囲気作りという点では試合に出ている人だけでなく、自分も含めチーム全員が声を出し、フィールドの中からも外からも常に明るい声が飛び交っていたので良かったと思います。また、一人ひとりが野球を楽しめているように感じました。これらの良かったところは継続、悪かったところは改善していくことによってもっと楽に試合で勝つことができると思いました。そして、野球を楽しみながらも2部昇格を目指して頑張っていきたいです。



背番号27

3年 田中颯一郎(たなかそういちろう)

愛知県 長久手高校

昨年の秋に先輩方が引退して、自分たちの学年が中心となる新チームが始まりました。今までのように野球だけをやっていれば、いいというような環境ではなくなりました。

そのため、今までと違う状況の中でやる野球は、大変なものであると感じました。冬には、他学年と少し衝突もありました。その中で色々と話し合い、試行錯誤してなんとかチームを作っていこうと努力しました。そのような中で望んだ春季リーグは、2位という結果を残せました。我々のチームの目標は、リーグ優勝、そして2部昇格であるので、そこには及ばない結果となりました。その春季リーグは、最終戦の名古屋工業大学戦まで両チーム全勝で迎えた中での試合となり、優勝がかかった重要な一戦となりました。終盤までリードして迎えましたが、逆転され負けてしまいました。しかし、春季リーグ全体を通して見れば、チームの良いところもたくさん出たと思います。もちろん、悪い部分も出たと思います。秋までには、短所を修正してリーグ戦に臨めるように、日々の練習や試合に取り組んでいきたいと思います。また、それと同時に長所をしっかりと伸ばせるように取り組んでいきたいと思います。また、リーグ戦が終了すると、上南戦がありました。今年は東京での開催となりました。自分たちは、昨年初めて経験し、今年が2回目となりました。東京での開催は、当然初めての経験でした。上南戦は、序盤からリードを奪い試合を優位に進めることができました。その結果、試合に勝利することができました。東京まで遠征し、普段とは、違う相手と試合をするという経験は、中々できるものではないと思います。さらに、試合に勝利することができ、より良い経験となりました。これは、南山大学の体育会に所属する特権であると感じました。この経験を今後にも活かしていきたいと思います。秋のリーグ戦では、春よりも良い成績が

残せるよう頑張りますので、応援よろしくお願いします。



背番号 33

3年 柴蒼輝(しばそうき)

愛知県 天白高校

新チームが始まって、半年以上が経ちました。新チームになって、自分達が主体になってやっていくことがとても大変だと実感しました。これまでは自分達のやりたいようにやっていましたが、チーム全体を見る必要があり、下級生・上級生からの意見を取り入れながらやるが必要になりました。実際一度オフの時期に下級生・上級生から自分らの学年に対して反発の声が上がりました。その中で、自分達の学年は行動の責任の重さを実感して、年明けの練習からは意識を変えて練習に取り組むことができました。春休みは練習、試合、合宿でとても充実して日々を過ごすことができました。そんな日々を過ぎていたらあつという間に春の大会が始まってしまいました。今春は先発投手として二試合に先発をしてどちらの試合も勝利をすることができました。相手はそれほど強くなかったですが、自分はチームの戦力になれたのがとても嬉しかったです。勝った試合も反省点は多く、あまり満足

できる内容ではありませんでした。それでも大会で初めて先発として投げることができて、良かったと感じております。大会は最後の試合で負けてしまい、惜しくも準優勝に終わってしまいました。その中で1番嫌だったのは他の選手に任せっきりになってしまったことです。一人のエースの子がほとんどの試合を投げて自分は先発した二試合以外戦力になることができませんでした。それは自分の中でこれまでにない経験だったので、もっと頑張っけて投げられるくらいの実力になりたいと感じました。僕たちの学年は次の秋季大会で引退となるので万全な状態で挑めるように現在練習しております。私は自分が出ている大会で優勝をこれまでしたことがありません。だからこそ次の大会は自分も戦力として使ってもらえるようにしっかり練習をして、自分自身納得いく形でこれまでの14年間の野球人生を締めくくれるように頑張りたいです。そして最後は3部優勝、2部昇格をして引退したいです。



背番号59

3年 古庄勇斗(ふるしょうはやと)

愛知県 星城高校

僕にとって、今回の春リーグも苦い思い

出が強く残ったリーグ戦になりました。なぜなら、リーグ戦直前に怪我をした挙句、調子を崩して、チームに迷惑をかけてしまったからです。春の合宿の初日に、捻挫をしてしまいました。1年生の時から繰り返していた左足をまたしても負傷してしまいました。そこからというものの、必死でリハビリや治療をしたものの、春リーグに万全の状態で挑むことは叶いませんでした。しかし、小谷投手や川人投手、柴投手が好投してくれて、打線と守備が奮闘してくれたことによって、最終戦まで優勝の可能性を残すことが出来ました。また、そんな状態の自分にも登板機会を与えてくれたキャプテンやチームの皆には感謝しかありません。最終戦の名古屋工業大学戦では登板機会がないまま敗戦してしまい、悔しい思いをしました。入れ替え戦に出場出来ない事が決まった瞬間の失望感はとても大きかったです。しかし、チームで優勝を目指して最終戦まで挑めた時間は充実感に溢れていました。しかし、このような苦い経験から得たものがいくつかあります。まず1つ目は体のケアの大切さを再確認出来たことです。それなりの強度で競技を行って行けば、当然体への負担はかかります。そのため、毎日ケアを行うことが大切になります。しかし、以前の僕はこんな当たり前の事に気づいていませんでした。もちろん、ケアをしても、怪我をすることはあります。ましてや怪我を繰り返してしまっている部位は怪我のリスクは高まります。それでもケアや準備を大切にする事で怪我の可能性を下げることは可能です。野球以外にもケアや準備が大切というのは共通すると思います。手術や大事に至ることなく、これに気づけたことは十分収穫だといえる

と思います。次に2つ目はより工夫するようになれたことです。怪我をしてボールが投げられない期間があったからこそ、頭を使って取り組むことが出来ました。他にも沢山の得たことがあります。これらの経験を生かして、秋リーグは優勝した上で、皆で充実した時間を過ごしたいです。



マネージャー
3年 岡本歩乃佳(おかもとほのか)
愛知県 愛知高校

春リーグ、新人戦、上南戦お疲れ様でした。日頃より南山大学硬式野球部を支えてくださっているすべての方々に感謝申し上げます。最高学年のマネージャーとして活動していくうえで、皆様からのご支援があるからこそ南山大学硬式野球部は存続しているということを強く感じました。誠にありがとうございます。

昨年度10月より先輩方が引退し、マネージャーの中心として活動するようになりました。先輩方が引退されてすぐに歴代のマネージャーの方々の凄さを身に染みて感じました。目に見えている仕事の影に倍以上の知らなかった仕事の存在に驚きました。これらの仕事をずっと繋いできた歴代のマネージャー方に尊敬と共に、後輩が仕事を

しやすいように教え伝えてくれたことに感謝しています。また、私の代ではいくつかの仕事を選手が担当してくれています。選手のみannにも感謝を伝えます。私たちの代から連盟、学生課の速報の出し方や選手登録の仕方、申請書のフォーマットが変更になりました。しかし、先輩方が残してくれたデータからスムーズに変更することができました。私も次の代、その次の代がより楽に仕事がこなせるような取り組みを行います。今年度から試行的ではありますが、この部報も印刷して郵送ではなく、データでの共有を行います。良いところは残して、より良い方法があればこれらに対応していくことが必要なかなと思っています。

春の大会が二位という結果が決まった対名古屋工業大学戦終了後、私自身は選手ではなく自分自身は直接的にチームの力になれたわけではないですが、とても悔しい思いをしたのを覚えています。この大会に向けて多くの選手がオフシーズンも練習に励んでいたと思います。これらの努力を知っていたからこそ私以上に選手は悔しいだろうと思います。この悔しさを糧に夏休みの練習、合宿を経て良い結果で秋の大会を締めくくれることを願います。



背番号4

2年 宮城翔生(みやぎかい)
奈良県 天理高校

冬の練習中にけがをしてしまい、私は満足
のいくプレーをすることができず、春の練
習、練習試合、そして春季リーグを終えてし
まいました。春季リーグは2位に終わって
しまい、自分としてもチームとしても心残
りがある大会になったと感じています。そ
の中でも、自分は活躍する選手や試合に出
場したいという気持ちがあるも、満身に野
球ができないという葛藤を感じていました。
夏を経て、二部リーグに昇格するために、よ
り野球について考える時間を設けて、自分
に何ができるのかを考える必要があると思
います。自分ができるとはやはり打撃面
で、チームを牽引し、チャンスで打てる打者
になることではないかと考え、日々打撃フ
ォームを確認し、筋力トレーニングやイン
ナーマッスルに励んでいます。

二部リーグに昇格するために春のリーグ
から当然、チームは成長していく必要があ
ると思ひ、その中でメンバーの交代や個々
のレベルアップが求められていると思う。
昨年度は春季リーグ2位で終えながら、秋
季リーグを4位で終えてしまったこともあり、
決して簡単に二部リーグに昇格し、個々
のレベルアップができるわけではないと思
います。しかし個人が少ない練習時間を利用
して、ここに与えられた時間を有効に使
うことで、個人並びにチームのレベルアッ
プが達成されると思います。今年の春季リ
ーグを経て、名古屋工業大学が二部リーグ
に昇格し、南山大学も負けずに二部リーグ
に昇格し、春季リーグの悔しさを晴らして
いきたいです。ただそんななかで、いつも応

援してくださっている方に感謝して、野球
をしていきたいです。

自分の高校野球時代は、新型コロナウイ
ルスの影響で、最後の夏は中止になり、野球
をすることですらままならない状態で、直
接試合会場に応援できる方も限られていま
した。しかしそんな中でも、陰ながら応援し
てくださる方もいらっしや、本当にあり
がたい気持ちになりました。そんな方に恩
返しという形で、二部リーグに昇格してい
きます。



背番号15

2年 澤村一輝(さわむらいっき)
三重県 津田学園

春季リーグ戦、また新人戦、お疲れ様でし
た。今春はコロナウイルスによる制限も大
幅に緩和され、昔の日常が戻る中での開催
となりました。まだまだ感染者は多いとい
う状況ではありましたが、無事終えるこ
とができとても嬉しく思います。

春季リーグ戦では、新しく入部した1年生
とのコミュニケーションを大事にしました。
試合の出番というのはありませんでしたが、
先輩方が野球に全力をそそげるよう、ベン
チワークや、試合の運営などを手伝わせて
いただきました。そこで見た、先輩たちの姿
はとてもかっこよく偉大なものでした。そ

の先輩たちの姿を見せてもらったからこそ、自分たちの代になった時にその先輩方を超えられるように学年としての目標をもっていこうと思います。

また、新人戦では1回戦で2部リーグに所属している愛知産業大学に敗れてしまいました。相手は昨年まで1部リーグに所属していたいわゆる格上との対戦でした。しかし自分たちの練習の成果がしっかりと出て、善戦することができました。私は勝敗も大事だと思いますが、強いチームと対戦できたということが1番の経験になったと思います。普段試合をすることのない相手と戦えたことは、自分たちにとって大きくプラスになるものだったと思います。愛知産業大学の戦い方、プレーを見ながら、私たちに取り入れてもいい技術を探ことができ、新たな発見を生むことができました。また、負けてしまったからこそ、来年リベンジするという目標にもなりました。今回、僅差で負けてしまった分、どうしたら来年リベンジすることができるのか、どんな練習をしたら勝ちに近づけるのかをしっかりと考えて練習していこうと思います。

次の秋リーグ戦で、3年生、4年生はほとんどの人が引退されてしまいます。先輩たちに悔いを残して引退してもらいたくないため、感謝の気持ちを忘れず、自分にできることをしてサポートしていこうと思います。またコロナ禍で多くの制約がある中、監督、主将、副主将、主務、マネージャーの方たちのおかげで部活動が円滑に進められていることに感謝して、OB、OGの方々が応援してくださる気持ちに応えられるよう、プレーしていこうと思います



背番号 18

2年 小谷勇輝(こたにゆうき)

愛知県 至学館高校

春リーグに関して優勝しきれないところはまだまだ力不足であった。優勝決定戦の試合ではその前の週と比べて体の軸がずれていた。何かがおかしいと思っていたが自分にはそれを改善する引き出しはまだ持っていなかった。昨年の冬から春にかけて球速も130キロ台まで伸び、やっと球が遅いと言われることは少なくなった。しかし140キロを投げなければ圧倒することはできないことを学んだ。ウェイトトレーニングも本格的に行い、投球に更なる磨きをかけた。リーグ戦序盤はやってきたことが出せて、3部リーグでは打たれることはほとんどなかった。しかし、後半戦では平日の試合がない日をトレーニングに加えて体のケアをすることに多くの時間をかけてきた。たくさん投げてきたことによる筋力トレーニングのボリュームの低下がパフォーマンスダウンに繋がったのだろう。10試合に満たない試合数であるが疲れが出てしまっているのは話にならない。新人戦に関してはリーグ戦から続いていた若干の肩の痛みから球速が

120 キロ台まで落ち、8 回 4 失点と内容は悪いが、練習の量を考えると当然のことだ。チームには申し訳ないが、自分は特に気にしていない。上南戦の東京遠征で自分のピッチングに大きな変化が出た。2 泊 3 日で試合は 1 日なので空き日があった。関東には良い指導者が多いと聞くので有名なりカバリーの MTX というところと BCS 武蔵浦和店にお邪魔させていただいた。リカバリーの方では自分の筋肉の緊張が強いところを把握することができ、そこを重点的に治療して頂いた。ものすごく体が軽くなった。BCS では投球動作の真髓を学びながら、正しい動きを自分の投球動作に落とし込む作業をして、スムーズになり結果的に球速が少し上がったような気がする。次の日のピッチングでは相手を圧倒したがまだ 140 キロには満たない。秋リーグに向けて期待する選手は自分自身である。特定の選手に期待を寄せて他人に頼るような選手は成長しない。常に自分に期待することこそ最大のプレッシャーになるだろう。常にベストを出すピッチングを目指して調整していきたい。

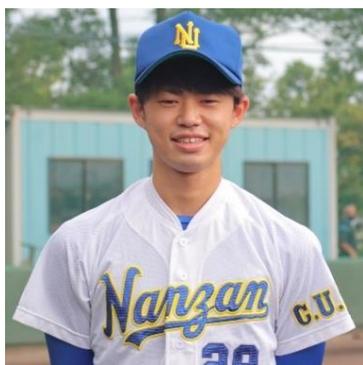


背番号 2 2

2 年 花井慧汰(はないけいた)
京都府 京都外大西高校

昨年と同じく後一步が届かなかった春のリーグ戦。悔しい以外の他何も無かった。しかも、負けた相手も去年と一緒だ。昨秋を終えて、新チームになってから自分自身下級生ながら副キャプテンを任せて頂いた。上級生も多くいる中で、自分が副キャプテンになることを認めてくれた事はすごく感謝したい。チームとしては 2 部を目指しているが、自分が入学してから春リーグにおいては 2 年連続であと一步二部昇格を逃している。そして、今年名工大が 3 部から 2 部へと昇格した。勝てた試合だった。だからこそ、このチャンスを逃したことがものすごく悔しい。「勝てた」という言葉を使うことは言い訳とも捉えられ、すごく恥ずかしいのは自分でもよくわかっている。ただ、ミスから流れを渡し、その流れに相手が乗り負けた。仕方ないミスではなく、「なんでそうなる」というミスは何も仕方なく無い。負けに行っているようなものだと思ってしまう。それではいつまで経っても 2 部への昇格は厳しい。だからこそそういった野球を少なくとも自分はしたくない。秋までの残りの期間は僅かだ。1 から全部は変えていくのは難しいが、全員が同じ目標に向かって東になって戦えるチームは強いし、相手からしても怖い。春前まではチームはバラバラだった。現時点でひとつになれているとは思わないが、この残りの期間チームがひとつになれるように、ひとつにできるように全力を尽くしていきたい。そしてこの秋 3 部での優勝を果たし、来春からの 2 部昇格に向けて日々励んでいきたい。野球を楽しむというこのチームの特色もあるが、野球という勝負事はやっぱり勝たないと面白くな

い。自分の技量が上がって、チームの役に立って勝つことで楽しい、それが野球の楽しみ方だと、自分は考える。負けていいことなんて誰一人ないと思う。何年も果たせていない2部昇格へは遠くないように感じるが実は遠い道のりだと思う。どれだけ3部で2位になろうが1位にならないと入れ替え戦へは進めない。まずは3部での優勝。そしてそこを通過点として、2部への昇格をしっかりと果たしていきたい。2位ではなく1位になるために。この秋で4年生は卒業してしまうし、4年生と野球できるのも残り僅かだ。4年生が最後笑って締められるように全力で勝ちに行きたい。今後とも応援よろしくお願い致します。



背番号29

2年 小西裕一郎(こにしゅういちろう)
岐阜県 加納高校

自分が南山大学硬式野球部に入り2年目となりましたが変わらず楽しく活動できていると思います。これからも今までの野球部に受け継がれてきたものを継承しつつ楽しく活動し、より強くなっていければと思います。今年の春のリーグ戦では、スタメンではなくベンチから先輩方をサポート、応援していた昨年とは異なり今年の春は自分

も試合に出させていただく機会が増えたことで自分にとってとても良い経験になりました。しかしチームの目標であった3部で優勝し2部に上がることができなかったことはとても悔しいです。チームとして悔しい結果となった今年の春リーグでしたが自分個人の成績も物足りない成績に終わってしまいました。特に優勝決定戦となった名古屋工業大学との試合では自分の打力の無さに改めて気づかされ、もっと個人としてもチームとしても打力を上げていくことが必要だと感じました。これからは重要な局面で結果を残せる選手になっていきたいです。

今年は昨年出場機会のなかった新人戦にも出させていただきました。チーム一丸となって戦いましたが結果は完全な力負けでした。ここでも自分たちの打力の無さを痛感させられました。ただ、2部の3位のチームとの対戦を通して全く通用しないわけではないとも感じました。とてもいい経験になったので今後活かしていければいいと思います。

今年の秋のリーグ戦で現在残ってくださっている4年生や3年生のほとんどの方々が引退することになります。一緒に野球をできる最後のチャンスになるかもしれないので1秒1秒を大切に悔いのないようにプレーし、リーグ戦が終わった時に全員が笑っていただけるように頑張りたいです。

最後に、自分が好きに野球をやれていることが当たり前なことでは無いということをお忘れず、監督を務めてくださっている横江さんをはじめ支えてくれている両親やキャプテン、主務、マネージャー、チームのみんな、また長年硬式野球部を支えてくださ

る OB の方々に感謝の気持ちを持って、これからも楽しく野球を続けていけたらと思います。



背番号 34

2年 西塚制覇(にしづかせいは)

三重県 海星高校

春季リーグ、新人戦、上南戦お疲れ様でした。また、今回の公式戦開催にあたって運営していただいた方、多くの応援をしていただいた方に深く感謝申し上げます。

今年の春季リーグは結果としては惜しくも2位となり、目標としていた3部優勝、2部昇格には届きませんでした。昨年から試合に出させていただいておりますが、やはり負けると悔しさしかありません。自身としては、打率リーグ2位、本塁打王、打点王を獲得し、敢闘賞を受賞させていただきました。冬の間に掲げた目標である誰にも文句を言わせない結果を残すという面は達成することが出来ました。それと同時に冬の間、取り組んできたことが結果として答えが出てきました。しかし、いくら1人が打っても、絶対勝てるわけではないのが野球というスポーツです。今回のリーグでは主に、3、4番を任せましたが、最終的に優勝出来なかった点においてまだまだ力不

足であると実感しました。愛知淑徳大学戦では9回決勝ホームラン、名古屋工業大学戦では点差を広げるスリーランなど活躍させていただきました。しかし、必ず次も同じように接戦で試合できる、次こそ勝てるという訳ではないです。リーグ戦が終わり5ヶ月のうちに他大学の選手もレベルアップしてきます。昨年も春季リーグは2位でしたが、その結果に甘んじ秋季リーグは4位という悔しさの増す結果となっています。

また、新人戦においても2部の愛知産業大学に5対0と完敗し力の差を感じました。正直点差以上に個人の能力の差を感じました。しかし、秋季リーグで2部昇格を果たすためには、その差を埋める、追い越すことが必要となってきます。その、点上南戦では上智大学はサブメンバーではありましたが、個々の力を結集させ春季リーグの頃よりもチームとしての力が上がっているなと感じました。試合終了後に上智大学の選手とバッティングについて話し合う機会があり、改めて野球というスポーツの奥深さ、本質を見抜き突き詰めることが大切であると認識しました。

秋季リーグまではあと1ヶ月半程度しかありません。上下関係が厳しすぎず、対等な関係で分からないことは質問し合える、指摘し合えるという点は南山野球部の強みだと思います。この長所を活かし、限られた練習時間、練習場所であっても日々、鍛錬を惜しまず自分自身のレベルアップを図りたいと思っております。

今回の春季リーグや新人戦、上南戦でも、多くの方の応援やサポートが力となりました。練習試合とは違い、見に来ていただいて応援してくれている方がいることで私たち選

手は持っている力を存分に発揮することができます。応援してくれている方への感謝の気持ちを忘れることなく、秋季リーグではチームとしての目標である3部優勝、2部昇格を必ず達成し、個人としては、他者の追隨を許さない結果を残します。引き続き応援よろしくをお願いします。



背番号41
2年 武田知樹(たけだとき)
愛知県 高蔵寺高校

私の目標はリーグ戦に出場し、チームに貢献することです。その目標を達成するために私は自身の長所を磨くことを意識して毎回の練習に励みました。自身の長所を磨くことができれば試合に出場できる確率が上がります。そんな私の長所は、機動力だと考えています。その機動力を活かし、どうすれば相手が嫌がる走塁をすることができるのか、どうすれば先の塁をうまく狙うことができるかということを必死に探していききました。そのような走塁をするために、先輩に自分から話しかけてアドバイスをもらうことやプロの野球選手の動画を見るということをしていきました。また、自宅でも体幹トレーニングやランニングをするということもしました。初めは失敗することが多く、

目に見える結果はでませんでした。そして、自身の長所は長所ではないと思うことありました。しかし、私は諦めずに小さな努力を重ねていきました。そして、少しずつではありますが、私の求めている形へと近づけていくことができました。その結果、代走という形ではありますが、初めてリーグ戦に出場することができました。代走では、初めての出場ということもありとても緊張しました。また、あまり目立つ活躍をすることもできませんでした。これからもっと改善していく点はあると痛感をさせられました。しかしながら、それよりも初めてリーグ戦に出場することができたという嬉しい気持ちの方が大きかったです。私の小さな努力は無駄ではないと自分自身で証明することができたと思います。今回は試合に出場することはできましたが、まだレギュラーメンバーになることができたというわけではありません。これからもずっと代走で試合に出場するわけにもいきません。だからこそ、私はまたこれからも小さな努力を継続していきたいと思います。今回は機動力を磨くという目標を立てたことにより、その目標に向かって励むことができました。そのため、次の目標はリーグ戦にレギュラーメンバーとして出場するということを目指していきたいと思います。そして、自身が出場しているリーグ戦で長所を最大限発揮してチームに貢献できるようにしていきたいと思っています。



背番号 44

2年 棚瀬 柊人(たなせしゅうと)

愛知県 名東高校

春季リーグ、上南戦お疲れ様でした。上南戦では、東京開催ということで、ワクワクしながら東京に向かいました。チームが一体となり、2年連続の勝利のために全員が試合に入っていく姿勢は素晴らしかったです。試合前や後の上智大学の方との交流など貴重な経験ができた上南戦でした。宿泊を共にしたこともあり、仲間と過ごす時間が増え、より一層仲を深めることができた3日間でした。来年の名古屋開催でも3年連続の勝利のために戦おうと思います。春季リーグは、チームとしてリーグ2位という結果に終わってしまいました。自分はベンチから試合を見ていたのですが、優勝決定戦の名古屋工業大学との試合で最後の最後に打たれた時、打たれた悔しさと同時に、ベンチにいて、なにもできていない自分に対して悔しい気持ちになりました。大学野球を初めてから1年が経ち、たくさんの事を経験しながら2年目を迎えました。まだ、野球においてチームの力になっているかわればそうではないという自覚があります。今年こそは、レベルアップし、試合に出場し、試合でしか得られないものを学んで

いきたいと思います。秋季リーグに向け、この夏休みは目標を持って、課題を克服ながら練習していきます。まだ試合に出ていない人達が個々にレベルアップし、今試合に出ている人達を脅かす存在になればチームとして力をつけていくことができると思います。学校がある期間は週に2回の練習しかありませんが、夏休みは週に4回も練習があるので、そこでもっと身近に野球を感じ、毎日ボールに触れ、自分なりに色々試行錯誤しながら取り組みます。主体的な行動、考える力こそが野球の技術の上達に繋がると思うので、今年の夏は、考える野球を目標にしようと思います。秋季リーグ、また冬を超えた来年の春季リーグで個人として活躍できるようステップアップできる夏にしていきたいと思います。最後にはなりましたが、日頃から南山大学硬式野球部を応援していただき、ありがとうございます。僕達にできることは勝利という結果で応援してくれている人達を喜ばせることだと思うのでこれからも頑張っていきたいと思います。今後とも応援よろしくお願いします。



背番号 46

2年 山田健太郎(やまだけんたろう)

岐阜県 大垣北高校

南山大学野球部に入部してからもう1年が経ちました。今年から下宿を始めたということで、慣れないこともたくさんあり、はじめはプレーに集中できない時もありました。そんな時は自分の得意な声を出すことを中心になんとかチームに貢献しようと思いました。

秋季リーグの悔しさをバネにチーム全体が必ず春のリーグ戦は2部に上がるという目標のもとより一層気を引き締めて練習に取り組みました。リーグ戦が近づいてくるとチームの雰囲気も少しずつ変わってゆきました。厳しい声もチーム内で飛ぶようになりました。そして迎えたリーグ戦でした。しかし目標としていた優勝は叶わず、昇格戦に進むことができませんでした。最終戦の終盤までリードしていたからこそほんとうに悔しかったです。そしてミーティングでは次こそは絶対に昇格しようと心に決めました。次のリーグ戦は4年生の方々と一緒にプレーできる最後のチャンスです。この秋が昇格する大きなチャンスだと感じています。一緒に野球がまだできる喜びと共に、その大きな壁を越えていかないとレギュラーは掴めないのだと自分の心も引き締められました。新チームでは一人一人の強みを伸ばしていくことが必要だと感じています。大学はDHがあるし、ワンポイントでピッチャーが出てきても良い、守備固めで終盤の大事な場面で出てきても良い。野球は9人だけでやるスポーツではないので自分のストロングポイントを見つけそこを伸ばすことが大切であると思います。自分の役割は何よりとにかくチームが暗くならないように声を出す事だと考えています。その役割は自分が担っていきたいと思っています。

まず。短期決戦を勝ち抜くにはチームの明るい雰囲気が大事だと感じています。新人戦では勝利をできなかったけれど、多くの経験をしました。その経験を活かし必ず良い結果が残せるようにしたいです。

自分が野球をやれているのは当たり前なことでは無いです。試合のサポートをしている中で多くの人に関わってくださっている事を気づけました。支えてくれている両親やキャプテン、主務、マネージャー、チームメイト、OBの方々に感謝の気持ち絶対に忘れず野球を続けていきたいです。



背番号99

2年 伊神登生(いがみとうい)

愛知県 西春高校

春季リーグお疲れ様でした。個人としてはピッチャーに転向してから初めてのリーグ戦でした。機会は多くありませんでしたが、試合で登板もありました。正直ピッチングの内容には納得はしていませんが、守備の助けもありながら、点を取られ、負けに繋がる事は無かったのでスタートとしては良かったのではないかと思います。課題や弱点を絞り出して、これから秋リーグに向けてその課題や弱点を潰していきたいです。夏休みには普段よりも多く自由な時間があるので、たくさん筋トレして、たくさん食べ

て、たくさん寝て、体大きくして、自分なりに調整していきたいと思います。良い結果が出せるように頑張ります。そして、チームとしてはリーグ戦の序盤からいい雰囲気です。淑徳大学や愛知教育大学にも勝って波に乗ってました。残り1試合になるまで全勝して、名古屋工業大学と対戦する事になりました。序盤に勝ち越して、心の中では「この試合も勝ったな」と思っていたのですが、結果としては負けを喫し、3部リーグ優勝、入れ替え戦出場を逃してしまいました。去年も名古屋工業大学に負けて優勝を逃し、去年と同じような形で終盤に逆転され、負けています。春季リーグはチームの打撃の成績が良く、今のチームは、攻めよりも守りが課題であると思うので、秋リーグでは序盤に点を取ったら逆転されないようにチームで綿密に話し合いや練習を重ねていきたいです。ですが、それ以前にチームの個々のスキルアップやパワーアップをしていくのが大前提だと思います。私たち学生は、自分次第では多く時間を作り出せると思うので、みんなにもたくさん筋トレして、たくさん食べて、たくさん寝て、体大きくして、たくさん練習して、上手くなって欲しいです。それができれば3部リーグで優勝して、入れ替えでも勝ち、2部リーグに昇格できると思います。今年の夏は、とても暑くなりそうなので、体調に気をつけながら怪我など無く、秋季リーグ戦を終えたいです。



マネージャー

2年 斎藤希(さいとうのぞみ)

福井県 仁愛女子高校

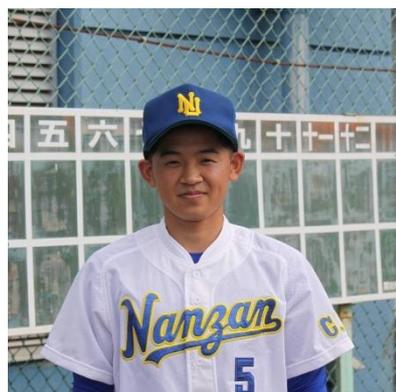
春季リーグ戦、新人戦、そして上南戦、お疲れ様でした。まず、この場をお借りして、平素より南山大学硬式野球部を支えてくださっているすべての方々に感謝申し上げます。横江コーチをはじめ、OB・OGの皆様、そして球場に足をお運びいただき、暖かい声援を送ってくださる方々、誠にありがとうございます。

未経験からスタートしたマネージャーですが、丸1年が経ちました。右も左もわからず、道具を用意したりするので精一杯だった1年前と比べ、この春季リーグでは公式戦はじめてのスコアラーを任せられました。1年前は、本当にスコアを書けるようになるのか？と不安な気持ちでいっぱいでした。実際、公式戦はじめてのスコアは、間違えたらどうしよう、プレーを見逃したらどうしよう、と考えれば考えるほど緊張し、心臓をバクバクさせながら挑みました。しかし、ベンチにいる部員が丁寧に教えてくれたり、横江コーチが間違っている箇所を訂正してくださったりし、必死で書いていたスコアも、今では試合を見ながら楽しんで書くことができていると感じます。まだまだ気を

抜いている部分もあると感じているので、練習、特に試合中はいっそう気を引き締め、マネージャーとして何ができるか常に考えながら行動していきたいと思います。

私たちの代が中心となって行った新人戦では、同期から強い刺激を受けたように感じます。スタメンでプレーを行っている部員も、ベンチから声を出している部員も、みんな一体となり、勝ちたいという気持ちが伝わってきました。スコアラーとしてベンチに入っていた私は、その同期たちの姿をみていて、私もしっかりしないといけないことを痛感し、スコアだけでなく、日頃の道具の準備や少しずつ任されるようになった事務作業等も怠らないよう気をつけていきたいと思います。

この夏休みから、私は長期の海外留学へ行くことが決まっています。その期間はまったくと言っていいほどマネージャー業は行えず、先輩たちの引退する姿すら見ることができません。お世話になっている先輩たち、特にマネージャーの先輩である歩乃佳さんに直接お礼を伝えることができない状況に、悔いが残ります。しかし、新チームになって部活に戻ってきたとき、少しのブランクが空いてもみんなと同じくらいの熱量で業務を行うことができるよう、今の間にたくさん成長したいです。みんなの秋季リーグでの活躍を心から願っています。



背番号 5

1年 齋藤奨太(さいとうしょうた)
三重県 三重海星高校

南山大学野球部に入部し、初めて春のリーグ戦と新人戦を経験することができました。春のリーグ戦は惜しくも2位。新人戦では初戦敗退という悔しさが残る結果となりました。リーグ戦では打線が繋がることが多かったことや僅差な試合でもしっかり最小失点で抑えていたことが勝ちに繋がられた良かった所だと思いました。しかし、新人戦ではピッチャーはピンチでも最小失点に抑えていたものの打線が思うように機能することが出来なかったのが1、2年生の課題だと思いました。

個人としては新人戦でスタメンとして出るという貴重な経験をさせていただくことができました。しかし、守備の機会でのミスが一つあり、ピッチャーのリズムを崩してしまう場面がありました。自分の持ち味は守備だと思っているので秋のリーグまでに守備力をもっと向上させることを課題とし、取り組んでいきたいです。打撃面では今までの金属バットとは違い、木製バットでの使用なので、バットの特性などをしっかりと意識し、試行錯誤しながら練習に

励むべきだと思いました。

また、チームとして取り組むべきことは個々の能力を伸ばすことだと思います。夏休みの期間には練習する時間が多くあるため、春のリーグ戦や新人戦、練習試合で出た課題を改善することはもちろん、自分の武器や持ち味を活かすための練習をすることも大切なことだと思いました。

秋のリーグ戦での目標は自分としてもチームとしても2部昇格だと思っています。その目標を達成するために日々の1個の練習メニューや練習試合1つ1つを大切に、内容の濃い1日にしていきたいと思います。

今回の秋のリーグ戦が終わると主力である4年生が引退してしまいます。そのため、4年生のためにも最後であるリーグ戦を優勝するという強い思いを持つと同時に新チームが始まり、主力が欠けてしまうこととなります。なので、この秋のリーグ戦からこのことを意識して望み、新チームになってもこの差を少しでも埋められるように努力していきたいと思います。



背番号 13

1年 深谷陸登(ふかやりくと)

三重県 三重海星高校

春のリーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。

春のリーグ戦は準優勝、新人戦は初戦敗退、

上南戦は勝利という結果になりました。春のリーグ戦では、出場することはできませんでしたが、大学野球のレベルの高さを思い知りました。出場する機会こそありませんでしたが、感じたことも沢山ありました。最初に感じたのは、高校の頃と全く違う木製バットについてです。金属バットと違い、ボールが反発しづらいと感じました。また、その分詰まった打球が内野と外野の間に落とされることもあることも知り、押し切っているのに、アウトが取れないという不思議な感覚がしました。しかし、大学野球は力のある選手もたくさんいて、木製バットでホームランを打つ姿にピッチャーの私は迫力を感じました。また、リーグ戦では2部昇格の1歩手前で負けてしまったという先輩たちの悔しさも伝わってきました。そういった正念場を勝ち切れるような努力をしようと感じたリーグ戦でした。

新人戦では愛知産業大学と試合を行い、負けてしまいました。新人戦でも出場機会はゼロで他の一年生の選手が出ているのを見て、悔しさを感じました。愛知産業大学は2部のチームで力もあり、相手の打撃に捕まった部分もありました。そんな相手にも力負けしないピッチャーに私はなろうと思いました。

上南戦は、打者陣が奮起し、大量得点を挙げました。そのおかげで余裕ができ、ピッチャー陣ものびのびと投げることができました。そして、私は初めて公式戦に出場することができました。1イニング1失点と結果としてはあまり良くないですが、課題も見えとてもいい経験になりました。私の課題は集中力です。私はマウンドでフォームが崩れてきて修正する際に、どこがどう悪いか

などを考えますが、それが私は焦りなどで考えることが出来ないことがあります。常に考えられるような集中力をつけないといけないと思いました。

また、4年生の川人さんが引退しました。川人さんは力のあるピッチャーで、川人さんの引退でピッチャー陣の戦力は落ちました。しかし、そんなピッチャー陣を支えられるように私は頑張ろうと思いました。

秋のリーグ戦は、最後に4年生と一緒に2部昇格を目指せる機会なので、絶対に2部昇格を果たしたいです。春は出場できませんでしたが、秋はチームの戦力になり、2部昇格に貢献出来るような結果を残すことを目標に頑張りたいと思います。



背番号 55

1年 蛭川健太(ひるかわけんた)

愛知県 西尾高校

春リーグ、新人戦、上南戦を無事、終えることができました。ひとまずお疲れ様でした。

春リーグでは、名古屋工業大学との頂上決戦で惜しくも敗れ、2部リーグ昇格とはなりませんでしたが、全力で戦う先輩方の勇姿はこれから始まっていく自分の大学野球生活に活力を与えてくれるものになりました。春リーグでは数打席立たせてもらったもの

の、結果を残すことは出来ず、実力不足を痛感させられる結果となりました。

新人戦では、2部リーグに属する愛知産業大学に5対0で敗れてしまいました。ミスでの負け、と言うよりは純粋な力負けという印象が強く、改めてチーム力の底上げをする必要があると感じました。個人的には、今まで守ってきたキャッチャーではなく、初のファーストというポジションにつき、至らない部分は多いながらも、精一杯プレーすることが出来ました。4番を打たせてもらいましたが、自分の納得するバッティングには程遠く、高校までの自分では通用しないことを分かせられることになりました。上南戦では、序盤から攻撃のリズムを掴み、上智大学に大差をつけて勝利することが出来ました。正捕手の花井選手が不在の中、安定したプレーで勝利を掴むことが出来ました。個人としては、キャッチャーとして出場させてもらったものの、守備でも打撃でもパツとしない結果となりました。しかし、レベルの高い相手ピッチャーに対して若干食い下がれたところもあり、少しずつではありますが、成長していると感じました。ここから、秋リーグが始まります。春リーグでは全くチームの力になれなかったぶん、秋は少しでもチームの力になりたいと思っています。しかし、自分は守備も走塁も上手いわけではないので、長所である長打力を活かしたいです。そして、それが終わると主力の4年生が退団してしまいます。その穴を埋めるべく、努力を惜しまず、少しでもチームに貢献できるプレイヤーになります。また、プレーの面だけでなく、チーム力を高めることにも尽力していきたいです。



背番号 42

1年 今村僚吾(いまむらりょうご)

愛知県 小牧南高校

皆さん、春季リーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。春季リーグでは、名古屋工業大学に惜しくも敗れ3部2位という悔しい結果となりました。しかしながら、最終回までは勝っていたため目標としている2部昇格というのは無理ではなく、必ず達成出来ると思います。今のチームはヒットが出て繋がる事が多いと見受けられるので、繋がる打線というのを体現することができたら、もっともっと勝てると思います。また、ピッチャー陣は比較的フォアボールでランナーをためて返されるという場面が見られたので無駄なランナーを出すことを減らしていったら、より打撃とのバランスもとれて得点をとりやすい打線になると思います。また、個人的には、打撃面で多くの課題を抱えています。例えば、スイングスピードがまだまだ遅いのでスイングの始動が早くなり変化の見極めが悪くなるため上手く変化に対応できないということ。また、金属と違い木製は、上手く捉えなければ飛ばないのでそういったことも含めて、スイングスピードを上げなければなりません。打てなければ起用される機会も減ると思うので、打力向上を目指して日々のトレーニングや素振

りに励んで行こうと思います。また、自分は体重が軽いので、食べに食べて体重増加も日々励んでいこうと思います。自分は日々身体の変化が楽しみで自己投資にもなると思っているので筋力トレーニングが好きであり、それをモチベーションで野球もより一生懸命になれたら能力アップに繋がると思うので、練習や試合が次の日にあるなしに関わらず筋力トレーニングを行うようにしていきます。やはり、打力がないと使う側も使いづらいと思うので、木製バットでも飛ばせる力というのをこの1年を通してとりあえずつけて行きたいと思います。また、筋力トレーニングをすることによって守備面でも肩力が上がったり、脚力が上がり守備範囲が広がったりという面もあると思います。さらに、走塁面に関しても繋がってくると思います。



背番号 14

1年 森上駿太郎(もりかみしゅんたろう)

愛知県 名古屋高校

春リーグお疲れ様でした。自分は春の大会の先輩方の試合を見て秋リーグまでに自分が少しでもチームの戦力になろうと思いました。そこで自分にできることとしてピッチャーの枚数を増やすことがより楽にリーグ戦を勝ち抜けるようになると思います。

た。ピッチャーとして戦力になるために自分の身体を高3の終わりの段階にまでは最低限戻していく必要があると感じ、ビッグ3を主にトレーニングを始めました。しかし自分は高校で本格的にウエイトをやったことがなかったので右も左も分からない状態でした。そんな時、先輩は質問すれば快く教えてくださりまた一緒にトレーニングして下さる方までいました。また小谷さんにはビッグ3以外にも必要な種目を教えていただきました。

しかし今の自分には多くの課題が残っています。その中でも大きく二つがあり一つ目はランナーが出てからの投球の内容です。というのもランナーが出ると自分の投げたいタイミングで投げられなくなり、それによりタメが作れず上体だけで投げてしまい、力のない球を痛打されてしまうことがあります。二つ目はスリーストライクを決めに行くことができないことです。高めの釣り球や曲がる系の変化球の決定率が低いことが追い込んでからも数球粘られて甘い球を打たれることがあります。この課題を解決するためにはキャッチボールにおいてクイックで投げ、遠投では無く中投をすることでキレのあるストレートを磨くことで課題により良いアプローチすること何できると考えます。また変化球においては、カーブの制球を上げることでスライダーやチェンジアップを相手打者の頭から抜き去ることができ、それにより他の球種がより生きるようになると思います。また欲を言えばスローカーブなど打者の視線を外すボールも覚えられると真っ直ぐや変化何より生きるようになるのでこれも覚えられるとよりよくなると思います。

最後に、僕はこの秋リーグではこれまでよくしていただいた先輩に感謝し、またそれを結果で返せるように今ある課題をリーグ戦までに無くして迎えるようにしたいです。



背番号 16

1年 林侖真(はやしれいま)

愛知県 小牧南高校

春季リーグ戦・新人戦お疲れ様でした。高校野球を終えて、より高いレベルで野球をしたいと思い硬式野球部に入部しました。先輩方の野球に対して凄く熱心で本気で野球に向き合っている姿を見て自分も感化され野球に対して高校生の時以上に真剣に向き合うようになりました。各ポジションでレギュラー争いが非常に激しく、結果を出し続けていかなければ試合に出られないと思いました。そのために、トレーニングをして体を大きくすることや体を上手く使えるようにすることや野球の勉強をして個人のレベルアップをしなければならぬと感じました。また、守れるポジションが1つでも多いと出場機会が増えると思うので、練習で色々なポジションを守っていこうと思いました。春季リーグや新人戦の結果から2部リーグ昇格も手が届く位置にあると思いました。守備面では、テンポが良くエラーや

四死球が少なく粘り強く試合をすることができ、リーグ戦では土日の連戦で投手が大変ではありますが野手がカバーしていけば大丈夫だと思いました。打撃面では、長打力のあるバッターが複数人いることや、次に繋ぐバッティングをすることが出来る選手がいるためバランスが取れていて得点力が高いチームだと思うのでこれからも思い切りのいい攻撃を続けていきたいです。秋季リーグで勝つためには、チャンスで打てる勝負強さとピンチになっても切り抜けられる粘り強さが必要だと思います。そのためには、普段は専用のグラウンドがなく練習時間が短かったり広いグラウンドが使えないが、夏休みの練習時間が長く取れたり広いグラウンドを使える時に実践練習で試合を想定してプレーすることが大切だと思います。その他に、チームとしての練習時間以外に個々にレベルアップを目指し努力することも大切であると思います。秋季リーグでは、1人1人がチームに求められている役割を果たして、チーム一丸となって3部リーグ優勝そして、入れ替え戦勝利を目指し戦っていききたいと思います。



背番号 17

1年 早川大翔(はやかわだいと)
岐阜県 本巣松陽高校

春リーグや新人戦などの大会や上南戦を無事に終えることができ、ひとまずお疲れ様でした。春リーグでは2位というあと一步の結果になってしまいました。しかし、試合の内容を見てみると負けた試合は一試合だけであって他の試合では勝利を収めているのでこの結果に自信をもち、次の秋リーグにリベンジしようとチームは燃えています。負けた試合に関しても接戦でとても締まった試合であり、得ることが多い試合だったと思います。

新人戦に関して言えば、課題を多く見つけることができる試合だったのではないかなと思います。新人というだけあって打線や守備の連携ではまだまだ未熟だったと思います。1年後、2年後の南山大学の野球部を担っていく身である私たちにとってこの大会はとてもいい経験になったと思います。この経験を活かして練習していきたいと思う。

上南戦では現段階でのチームのベストを尽くせたのではないかなと思います。打線の繋がりもよかったし継投もよかったと思います。この試合を毎試合できるように練習したいと思います。

個人に関して言えばこの4ヶ月間で考え方がとても成長しました。高校時代では野球の技術に関して考えるということはあまり重要視していなかったのですが、大学に入ってから周りのレベルが高く考えるということに大事にしていることを知り僕も取り入れるようにしました。そこから野球の思考力がとても高くなったと思います。これからも考えることを大切にしながら練習したいと思います。技術面に関していえば自分はまだまだだと思います。コントロー

ルが悪く試合の流れを悪くしてしまうので大学在学中にしっかり克服してゆきたいと思います。球速も周りの投手と比べてもあまり速くないので筋トレをして速くしたいと思います。

これから秋リーグが始まります。この秋リーグでは必ず優勝して2部に上がりたいと思います。そのためにはチーム練習だけではなく各々のレベルアップが大事になってくると思うので個人練習を欠かさずにやってゆきたいと思います。



背番号 66

1年 永谷勇樹(ながたにゆうき)

愛知県 国府高校

春のリーグ戦と新人戦とお疲れ様でした。リーグ戦は2位、新人戦は初戦敗退と悔しい結果になってしまいました。僅差で負ける試合や、ホームランが出るなど良い面もたくさんありましたがエラーなど点が取れないなど課題も明白になったリーグ戦だったと思います。これからの夏休みの練習や練習試合などで課題などを克服して秋季リーグ戦や来年の新人戦に繋がりたいと思います。個人としては試合に出ることはなかったですがベンチ入りさせてもらって大学野球の雰囲気を感じることができてよかったですと思いました。練習では、自分自身のレベル

不足を感じました。先輩や同級生の守備のうまさやスイングスピードの早さ、ボールスピードの早さなど大学野球のレベルの高さを感じ自分ももっとレベルアップして先輩や同級生のレベルについていけるようにしたいなと思いました。チームとしては春のリーグ戦では二部入れ替え戦の権利を賭けた名古屋工業大学との試合で惜しくも一点差で負けてしまい3部リーグ残留が決定してしまいました。試合内容としては先制していい形で試合を進めることができていましたが8回に逆転されてしまい悔しい敗戦となりました。一点の重みというのをより感じた試合になりました。新人戦では愛知産業大学と対戦しました。こちらは毎回ピンチを抱えていましたがなんとか凌いで7回終了時まで0-1で凌ぐことができていましたが8回にエラーをきっかけに4失点してしまい結局は0-5で敗戦してしまいました。こちらは相手のピッチャーを前にあまりチャンスを作ることができず、ヒット数も少なく点差以上に2部のチームと3部のチームとの差を感じるものとなりました。いいピッチャーが出てくるとどうしてもチャンスを作ることは難しくなってくると思うのでワンチャンをものにする力やヒットが打てなくてもファールボールで出塁することや、一個先の塁を狙う姿勢などをこの夏休みの練習で強化していきたいなと思いました。そして守備ではミスを少なくしてエラーからの失点をゼロにしていきたいと思います。

秋のリーグ戦が終わると多くの三、四年生が引退してしまうと思うので次のリーグ戦に向けて一球一球大切に練習を行っていき、目標である二部リーグ昇格に向けて頑張っ

ていきたいと思います。



背番号 25

1年 今福優晴(いまふくゆうせい)

愛知県 名古屋経済大学市邨高校

春のリーグ戦から始まり、新人戦、上南戦ととても充実した時間を過ごすことができました。リーグ戦は2位、新人戦は初戦敗退でしたが、上南戦では勝利するなど悔しい思いも勝つ喜びも感じることができました。多くの収穫や課題が見られた中で打撃、守備共に細かいところまで秋のリーグ戦へ向け、夏休みを経てさらに高いレベルでの野球ができるような練習をしています。

自分自身、新人戦や上南戦、その他の練習試合を経験する中で、主に打撃に関する課題が多く見えてきました。そこで1番強く感じたのは単純に力不足であるということです。実際に試合の中の打席やその結果で感じただけでなく、先輩方と比べても劣っているのは明らかです。これからも安定して試合に出続け、そして結果を残していくためには打撃の向上は必要不可欠であるので、身体作りから手を抜かず、技術面のレベルアップを図り、少しでも早くチームの主力となるように努力していきます。また、ただ打つだけではなく、状況や流れを読んでその時々でチームに必要なことを感じ

取れるような頭が使える選手を目指していきます。

短い期間ですが野球部に所属してきてチームとしてさらに成長するために、効率の良い練習をすることが欠かせないと感じました。普段から毎週何度も集まって練習ができるわけではなく、時間も限られています。その限られた時間の中で今チームの課題は何か、それを改善するために必要な練習は何かを考え実行することがとても大切だと感じました。

現在のチームは投手を中心に安定した試合運びができる守備力、春のリーグ戦で打率、安打数、打点など多くの項目でトップを占める攻撃力を持っています。現状の戦力で十分に目標であり、春リーグではあと一歩届かなかった2部リーグ昇格を目指せる力があります。先輩方と共に秋のリーグ戦で2部昇格を果たせるよう、またそれに貢献できるようこれまで以上に意識を高く持って取り組んでいきたいと思っています。



マネージャー

1年 水谷実心乙(みづたにみこと)

愛知県 西春高校

リーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。普段から沢山の応援をいただき本当にありがとうございます。

高校時代、野球部のマネージャーをし、野球

のおもしろさと選手とともに歩むやりがいを知ったわたしは、大学でも野球にマネージャーという形で関わりたいと強く思っていました。大学という新しい環境の中で、マネージャー1人で入部するのは不安に思うこともありましたが、マネージャー・部員の先輩方が優しく明るく声をかけてくださり、今では楽しく部活が出来ていることに感謝しています。そして上南戦で1年生と多くの時間を過ごし、とても仲良くなることができました。まだ大学生活始まったばかりですが、素敵な仲間が出来たといえる出会いがあったことをとてもうれしく思っています。

秋季オープン戦からスコアを書かせていただき、選手のプレーをより近くから見るができるようになりました。先輩方のプレーにエネルギーをもらいました。また、1年生が活躍する姿に励まされると同時に、自分もマネージャーとして成長しなければいけないと感じさせられ、沢山の刺激をもらいました。そして、試合が組まれるたびに書類を作るなど、大学生活の忙しい中で部活動の仕事をこなしているマネージャーの先輩方の姿を見て私も先輩方のような素敵なマネージャーになりたいと憧れを持つようになりました。

秋のリーグ戦では選手の皆さんがベストを尽くし2部リーグに上がれるよう、私自身も成長し選手を支え、選手の皆さんが野球に集中できるような環境作りをしていきたいと思います。そのために、マネージャーの先輩方の背中をしっかりと見て沢山のことを吸収していきたいです。

野球部に入り、横江監督をはじめとするOB・OGの皆さん、保護者の方々、沢山の

方々に支えられて野球ができていると感じました。本当にありがとうございます。日頃から支えてくださる皆様と秋リーグで引退される先輩方へ感謝の気持ちを込め、微力ながら役に立てるように一生懸命頑張りたいです。

春季オープン戦

春季オープン戦

10月23日 vs 日本福祉大学 3月9日 vs 愛知大学
 10月29日 vs 東海学院大学 3月14日 vs 富山大学
 2月28日 vs 三重大学 3月16日 vs 常葉大浜松大学
 3月3日 vs 岐阜大学 3月22日 vs 聖隷クリストファー大学
 3月7日 vs 名古屋大学 3月24日 vs 皇學館大学

打撃成績 規定打席数 打席												
	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
國井	0.3793	39	29	8	11	6	0	0	9	2	10	11
深谷	0.3793	33	29	8	11	3	0	0	4	3	5	10
原科	0.3333	46	39	10	13	8	0	0	7	0	11	8
山田	0.3333	28	24	5	8	6	0	0	3	4	2	9
宮城	0.3333	9	9	1	3	3	0	0	0	0	0	0
花井	0.2963	35	27	4	8	0	0	0	9	1	5	7
小西	0.2647	43	34	8	9	2	0	0	8	2	8	9

投手成績 規定投球回数 回													
	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
川人	0	4	21	20	6	1	0	0	0	3	1	2	0
小谷	4.25	36	163	135	33	3	0	24	1	30	1	21	17

10月23日 vs 日本福祉大学 2-11 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
日福	5	0	1	0	0	0	4	1	×	11

11月5日 vs 東海学院大学 0-3 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東学	0	0	0	1	1	0	0	1	X	3

2月28日 vs 三重大学 △6-6

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
三重	0	0	0	3	1	0	2	0	0	6
南山	0	1	4	0	0	0	0	0	0	7

2月28日 vs 三重大学 △3-3

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
三重	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3

3月3日 vs岐阜大学 4-6○										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
岐阜	0	1	0	0	0	0	0	3	0	4
南山	2	0	4	0	0	0	0	0	0	6

3月3日 vs岐阜大学② ○11-7										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	2	0	2	0	2	5	0			11
岐阜	2	0	0	0	0	5	0			7

3月7日 vs名古屋大学 13-6●										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名古屋	1	5	2	2	0	0	0	3	0	13
南山	0	4	0	0	0	1	0	1	0	6

3月9日 vs愛知大学 3-0●										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛知	1	0	0	0	0	1	1			3
南山	0	0	0	0	0	0	0			0

3月14日 vs富山大学 2-10○										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
富山	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
南山	0	0	2	3	0	1	3	1	×	10

3月16日 vs常葉大浜松大学① ○15-7										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	0	0	0	1	1	3	3	6	15
常葉	0	1	0	1	0	0	1	3	1	7

3月16日 vs常葉大学 8-7● 6イニング制										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
常葉	0	0	0	7	1	0				8
南山	2	0	0	0	5	0				7

3月22日 vs聖隷クリストファー大学 0-9○										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
聖隷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南山	0	0	0	0	0	3	1	5	×	9

3月24日 vs皇學館大学① ●3-12										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
皇學館	6	0	0	0	0	1	3	2	×	12

3月24日 vs皇學館大学② 7-1●										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
皇學館	1	1	1	2	2					7
南山	1	0	0	0	0					1

ランキング

《春季オープン戦》

【打撃部門】

●打率……	國井	29 打数 11 安打	0.379
	深谷	29 打数 11 安打	0.379
●四死球…	近藤	11	
●打点……	原科	8	
●盗塁……	西塚	6	

【投手部門】

●防御率……	川人	0.0
●奪三振……	小谷	30

《春季オープン戦》

【打撃部門】

●打率……	1. 國井	29 打数 11 安打	0.379
	1. 深谷	29 打数 11 安打	0.379
●四死球…	2. 原科	39 打数 13 安打	0.333
	2. 山田	24 打数 8 安打	0.333
●打点……	1. 近藤	11	
	2. 西塚	9	
	2. 花井	9	
●盗塁……	2. 國井	9	
	1. 原科	8	
	2. 國井	6	
●四死球…	2. 山田	6	
	1. 西塚	6	
	2. 小野	5	
	3. 山田	4	
●打点……	3. 近藤	4	

【投手部門】

●防御率……	1. 川人	0.0
●奪三振……	1. 小谷	30

2022年10月10日		南山 川島野郎												
氏名	所属	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	川島野郎													
2	川島野郎													
3	川島野郎													
4	川島野郎													
5	川島野郎													
6	川島野郎													
7	川島野郎													
8	川島野郎													
9	川島野郎													
10	川島野郎													
11	川島野郎													
12	川島野郎													
13	川島野郎													
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		14	16/35	11/26	11/27	16/33	8/27	17/21	11/23	16				

南山 川島野郎		南山 川島野郎												
氏名	所属	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	川島野郎													
2	川島野郎													
3	川島野郎													
4	川島野郎													
5	川島野郎													
6	川島野郎													
7	川島野郎													
8	川島野郎													
9	川島野郎													
10	川島野郎													
11	川島野郎													
12	川島野郎													
13	川島野郎													
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		14	16/35	11/26	11/27	16/33	8/27	17/21	11/23	16				

2023 年 2 月 27 日		11:00-12:00		12:00-13:00		13:00-14:00		14:00-15:00		15:00-16:00		16:00-17:00		17:00-18:00			
课表		课表		课表		课表		课表		课表		课表		课表			
三重大学 南山大学		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
课次	课程名称	Handwritten notes and diagrams in the grid cells.															
统计		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		5 0 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		6 0 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		7 0 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
统计		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		5 0 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		6 0 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		7 0 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
统计		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		5 0 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		6 0 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		7 0 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

南山大学 (课表)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
课次	课程名称	Handwritten notes and diagrams in the grid cells.																	
统计		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		5 0 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		6 0 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		7 0 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		8 0 8 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
统计		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		5 0 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		6 0 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		7 0 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		8 0 8 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
统计		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		5 0 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		6 0 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		7 0 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		8 0 8 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

第一分隊 (班)		第二分隊 (班)		南大村 (班)										第三分隊 (班)		
班	姓名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計	備註
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
合計		0	0	1	1/2	0/2	1/3	0/3	0/3	0/3						

第一分隊 (班)		第二分隊 (班)		南大村 (班)										第三分隊 (班)		
班	姓名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計	備註
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
合計		0	0	2	0/2	0/2	0/2	1/2	0/2	0/2						

南山 伊豆		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	...													
2	...													
3	...													
4	...													
5	...													
6	...													
7	...													
8	...													
9	...													
10	...													
11	...													
12	...													
13	...													
合計		30	100	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
平均		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
標準		20	100	20	10	10	20	10	10	10	10	10	10	10

南山 伊豆		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
南山		2	0	2	0	2	5	0						
伊豆		2	0	0	0	0	0	0						
合計		4	0	2	0	2	5	0						
平均		2	0	0	0	0	0	0						
標準		20	100	20	10	10	20	10						

南山 計帳大表		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	...													
2	...													
3	...													
4	...													
5	...													
6	...													
7	...													
8	...													
9	...													
10	...													
11	...													
12	...													
13	...													
計		277	1100	1000	0770	1100	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
計		277	1100	1000	0770	1100	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

南山 計帳大表		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	...													
2	...													
3	...													
4	...													
5	...													
6	...													
7	...													
8	...													
9	...													
10	...													
11	...													
12	...													
13	...													
計		020	200	000	002	1000	000	010	020	000	000	000	000	000
計		020	200	000	002	1000	000	010	020	000	000	000	000	000

姓名: 王... 学号: ... 院系: ...		课程表												备注	
课程	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
公共课	I_1														
专业课	I_2	I_3	I_4	I_5	I_6	I_7	I_8	I_9	I_{10}	I_{11}	I_{12}	I_{13}			
选修课	I_{14}	I_{15}	I_{16}	I_{17}	I_{18}	I_{19}	I_{20}	I_{21}	I_{22}	I_{23}	I_{24}	I_{25}			
其他	I_{26}	I_{27}	I_{28}	I_{29}	I_{30}	I_{31}	I_{32}	I_{33}	I_{34}	I_{35}	I_{36}	I_{37}			
空闲	I_{38}	I_{39}	I_{40}	I_{41}	I_{42}	I_{43}	I_{44}	I_{45}	I_{46}	I_{47}	I_{48}	I_{49}			
总计															

姓名: ... 学号: ... 院系: ...		课程表												备注	
课程	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
公共课	I_1														
专业课	I_2	I_3	I_4	I_5	I_6	I_7	I_8	I_9	I_{10}	I_{11}	I_{12}	I_{13}			
选修课	I_{14}	I_{15}	I_{16}	I_{17}	I_{18}	I_{19}	I_{20}	I_{21}	I_{22}	I_{23}	I_{24}	I_{25}			
其他	I_{26}	I_{27}	I_{28}	I_{29}	I_{30}	I_{31}	I_{32}	I_{33}	I_{34}	I_{35}	I_{36}	I_{37}			
空闲	I_{38}	I_{39}	I_{40}	I_{41}	I_{42}	I_{43}	I_{44}	I_{45}	I_{46}	I_{47}	I_{48}	I_{49}			
总计															

南山人材管理帳		1980年1月1日												
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
1. 新入社員	1													1
2. 退職者		1												1
3. 異動			1											1
4. 昇進				1										1
5. 降格					1									1
6. 欠勤						1								1
7. 出勤							1							1
8. 休暇								1						1
9. 欠勤									1					1
10. 出勤										1				1
11. 休暇											1			1
12. 欠勤												1		1
13. 出勤													1	1
合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13

南山人材管理帳		1980年1月1日												
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
1. 新入社員	0	0	0	0	1	0	2	0						3
2. 退職者	6	0	0	0	0	1	9	2						18
3. 異動														
4. 昇進														
5. 降格														
6. 欠勤														
7. 出勤														
8. 休暇														
9. 欠勤														
10. 出勤														
11. 休暇														
12. 欠勤														
13. 出勤														
合計	6	0	0	0	1	1	11	2						24

春季リーグ戦

春季リーグ戦

- 4月1日 vs 大同大学
- 4月2日 vs 豊橋技術科学大学
- 4月8日 vs 名古屋市立大学
- 4月9日 vs 愛知淑徳大学
- 4月16日 vs 愛知教育大学
- 4月23日 vs 名古屋外国語大学
- 4月29日 vs 名古屋工業大学

打撃成績 規定打席数 12回												
	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
西塚	0.4231	35	26	12	11	12	0	0	9	4	5	9
片田	0.4167	25	24	6	10	15	1	0	0	0	1	6
深谷浩	0.4091	35	22	9	9	4	0	0	11	6	3	8
近藤	0.3846	35	26	10	10	15	0	1	8	2	4	6
小西	0.3793	35	29	15	11	6	0	0	6	0	4	2
花井	0.3478	26	23	5	8	5	0	1	2	1	1	6
小野	0.3462	33	26	9	9	1	0	0	7	2	6	3

投手成績 規定投球回数 8回													
	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
小谷	1.125	32	121	107	27	1	1	9	2	37	0	7	4
柴	1.8	10	46	39	9	0	0	3	4	12	0	3	2

4月1日 vs大同大学 1-16〇 (7回コールドゲーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大同	0	0	0	0	0	0	1			1
南山	0	0	8	1	0	7	X			16

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	3	4
D	原科	多治見	51	4
9	西塚	三重海星	8	2
8	近藤	至学館	3	4
5	國井	加納	1	3
6	小西	加納	29	2
7	小野	杜若	2	4
4	片田	名東	21	3
2	花井	京都外大西	22	2
P	小谷	至学館	18	2

4月2日 vs豊橋技術科学大学 2 - 3 9〇 (7回コールドゲーム)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
豊技	0	0	0	0	0	0	0			2
南山	24	2	3	1	8	1	X			39

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	3	4
7	小野	杜若	2	4
9	西塚	三重海星	8	2
8	近藤	至学館	3	4
5	國井	加納	1	3
6	小西	加納	29	2
D	原科	多治見	51	4
4	片田	名東	21	3
2	花井	京都外大西	22	2
P	柴	天白	33	3

4月8日 vs名古屋市立大学 3 - 6〇										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名市	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
南山	2	1	1	1	0	0	1	0	X	6

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	3	4
7	小野	杜若	2	4
9	西塚	三重海星	8	2
8	近藤	至学館	3	4
5	國井	加納	1	3
D	原科	多治見	51	4
6	小西	加納	29	2
4	片田	名東	21	3
2	田中	長久手	27	3
P	柴	天白	33	3

4月9日 vs愛知淑徳大学 ○3 - 0

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
淑徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	3	4
7	小野	杜若	2	4
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海星	8	2
D	國井	加納	1	3
6	小西	加納	29	2
5	山田	大垣北	46	2
4	片田	名東	21	3
2	花井	京都外大西	22	2
P	小谷	至学館	18	2

4月16日 vs愛知教育大学 ○9 - 1 (7回コールドゲーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	3	5	0	0	0	0			9
愛教	0	1	0	0	0	0	0			1

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	3	4
6	小西	加納	29	2
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海星	8	2
2	花井	京都外大西	22	2
7	小野	杜若	2	4
D	宇野	県立岐阜商業	10	3
4	片田	名東	21	3
5	山田	大垣北	46	2
P	小谷	至学館	18	2

4月23日 vs名古屋外国語大学 ○11-4

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
淑徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	3	4
6	小西	加納	29	2
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海星	8	2
D	原科	多治見	51	4
4	片田	名東	21	3
2	花井	京都外大西	22	2
7	小野	杜若	2	4
5	山田	大垣北	46	2
P	小谷	至学館	18	2

4月29日 vs名古屋工業大学 (優勝決定戦) ●4-6

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	0	0	0	3	0	0	0	0	4
名工	0	0	1	1	1	0	0	3	X	6

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	3	4
6	小西	加納	29	2
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海星	8	2
5	國井	加納	1	3
7	小野	杜若	2	4
D	原科	多治見	51	4
4	片田	名東	21	3
2	花井	京都外大西	22	2
P	小谷	至学館	18	2

《春季リーグ戦》

【打撃部門】

●打率……西塚	26 打数 11 安打 0.423
●四死球…深谷浩	11
●打点……近藤	15
片田	15
●盗塁……國井	7

【投手部門】

●防御率……小谷	1.1
●奪三振……小谷	37

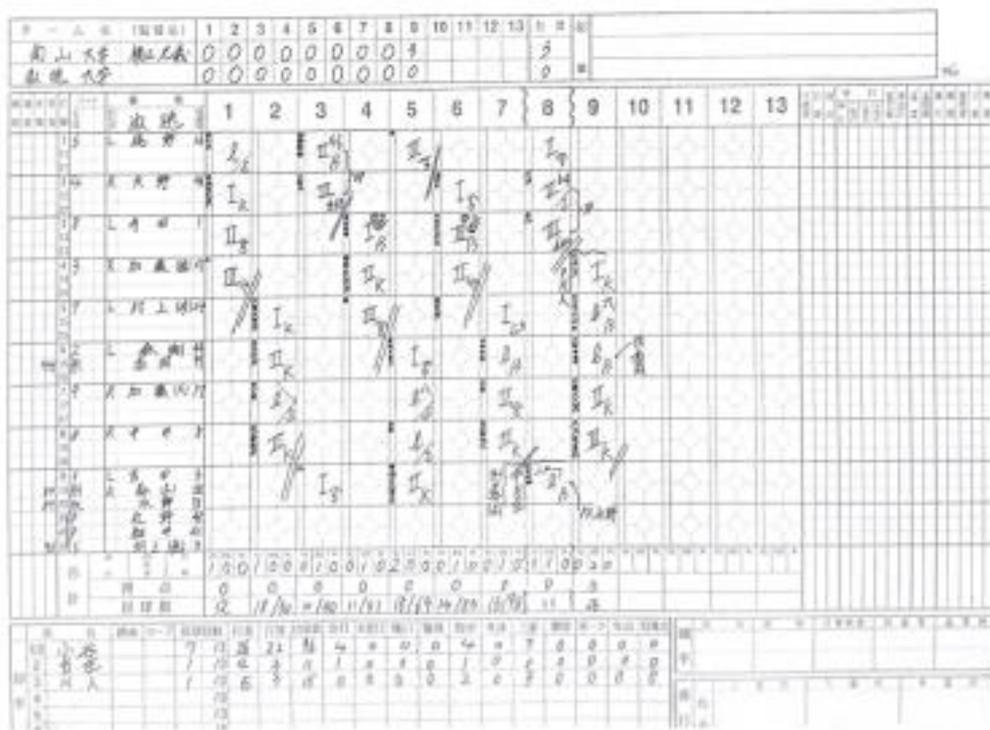
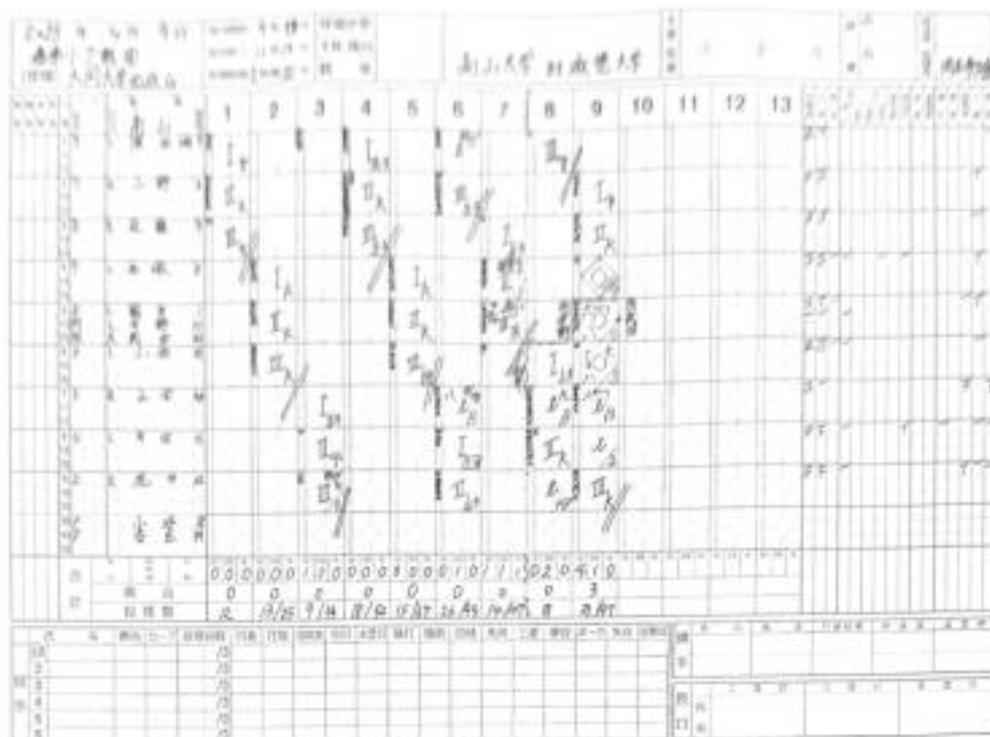
《春季リーグ戦》

【打撃部門】

●打率……	1. 西塚	26 打数 11 安打 0.423
	2. 片田	24 打数 10 安打 0.417
	3. 深谷浩	22 打数 9 安打 0.409
●四死球…	1. 深谷浩	11
	2. 西塚	9
	3. 近藤	8
	3. 山田	8
●打点……	1. 近藤	15
	1. 片田	15
	3. 西塚	12
●盗塁……	1. 國井	7
	2. 深谷	6
	3. 西塚	4

【投手部門】

●防御率……	1. 小谷	1.1
	2. 柴	1.8
●奪三振……	1. 小谷	37
	2. 柴	12



2021年4月20日		南江 新站										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
5	6	7	8	9	10	11	12	13				
6	7	8	9	10	11	12	13					
7	8	9	10	11	12	13						
8	9	10	11	12	13							
9	10	11	12	13								
10	11	12	13									
11	12	13										
12	13											
13												

南江 新站		南江 新站										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
5	6	7	8	9	10	11	12	13				
6	7	8	9	10	11	12	13					
7	8	9	10	11	12	13						
8	9	10	11	12	13							
9	10	11	12	13								
10	11	12	13									
11	12	13										
12	13											
13												

新人戦

新人戦

6月10日 vs 愛知産業大学

打撃成績 規定打席数 3打席												
	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
蛭川	0.5	4	4	0	2	0	0	0	0	0	2	1
宮城	0.3333	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
齋藤	0.3333	3	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1
小西	0.25	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1
山田	0	3	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0
森上	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
花井	0	4	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1
今福	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1
西塚	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0

投手成績 規定投球回数 2回													
	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
小谷	6	7	33	26	8	2	0	3	2	0	0	5	5

7月8日 vs 上智大学 ○8-3										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛産	0	0	0	1	0	0	0	4	×	5

ランキング

≪新人戦≫

【打撃部門】

- 打率……蛭川 二打数二安打
- 四死球…花井、山田 1
- 打点……なし
- 盗塁……武田 1

【投手部門】

- 防御率……小谷 6.4
- 奪三振……なし

≪新人戦≫

【打撃部門】

- 打率……1. 蛭川 4打数2安打 0.5
2. 宮城 3打数1安打 0.3
2. 斎藤 3打数1安打 0.3
- 四死球……1. 山田 1
1. 花井 1
- 打点……なし
- 盗塁……1. 武田 1

【投手部門】

- 防御率……1. 小谷 6.4
- 奪三振……なし

姓名		日期												
姓名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	南山人													
2	南山人													
3	南山人													
4	南山人													
5	南山人													
6	南山人													
7	南山人													
8	南山人													
9	南山人													
10	南山人													
11	南山人													
12	南山人													
13	南山人													
合计		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
备注		11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25												

姓名		日期												
姓名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	南山人													
2	南山人													
3	南山人													
4	南山人													
5	南山人													
6	南山人													
7	南山人													
8	南山人													
9	南山人													
10	南山人													
11	南山人													
12	南山人													
13	南山人													
合计		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
备注		20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35												

上南戦

上南戦

7月8日 vs 上智大学

打撃成績 規定打席数 3打席												
	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
近藤	0.5	4	4	1	2	1	0	0	0	0	1	0
西塚	0.25	4	4	0	1	1	0	0	0	1	1	1
今福	0.6667	3	3	2	2	2	0	0	0	0	1	1
宇野	0.3333	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1

投手成績 規定投球回数 2回													
	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
小谷	0	3	9	9	0	0	0	0	0	6	0	0	0
川人	0	2	10	8	2	0	0	1	1	1	2	0	0
森上	0	2	8	8	2	0	0	0	0	1	0	0	0

7月8日 vs 上智大学 ○8-3										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	2	0	0	6	0	0	0	0	0	8
上智	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3

ランキング

《上南戦》

【打撃部門】

- 打率……今福 3 打数 2 安打 0.6
- 四死球…なし
- 打点……今福 2
- 盗塁……西塚 1

【投手部門】

- 防御率……小谷 0
- 奪三振……小谷 6

《上南戦》

【打撃部門】

- 打率……1. 今福 3 打数 2 安打 0.6
2. 近藤 4 打数 2 安打 0.5
3. 宇野 3 打数 1 安打 0.3
- 四死球……なし
- 打点……1. 今福 2
2. 近藤 1
2. 西塚 1
- 盗塁……1. 西塚 1

【投手部門】

- 防御率……1. 小谷 0
2. 川人 0
2. 森上 0
- 奪三振……1. 小谷 6

2023年 6月 2日		南山大学 上智大学														
南山大学		上智大学														
南山大学		上智大学														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13						
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13							
5	6	7	8	9	10	11	12	13								
6	7	8	9	10	11	12	13									
7	8	9	10	11	12	13										
8	9	10	11	12	13											
9	10	11	12	13												
10	11	12	13													
11	12	13														
12	13															
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																
41																
42																
43																
44																
45																
46																
47																
48																
49																
50																
51																
52																
53																
54																
55																
56																
57																
58																
59																
60																
61																
62																
63																
64																
65																
66																
67																
68																
69																
70																
71																
72																
73																
74																
75																
76																
77																
78																
79																
80																
81																
82																
83																
84																
85																
86																
87																
88																
89																
90																
91																
92																
93																
94																
95																
96																
97																
98																
99																
100																

南山大学 横浜校														
上智大学														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13				
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
5	6	7	8	9	10	11	12	13						
6	7	8	9	10	11	12	13							
7	8	9	10	11	12	13								
8	9	10	11	12	13									
9	10	11	12	13										
10	11	12	13											
11	12	13												
12	13													
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														
51														
52														
53														
54														
55														
56														
57														
58														
59														
60														
61														
62														
63														
64														
65														
66														
67														
68														
69														
70														
71														
72														
73														
74														
75														
76														
77														
78														
79														
80														
81														
82														
83														
84														
85														
86														
87														
88														
89														
90														
91														
92														
93														
94														
95														
96														
97														
98														
99														
100														



AICHI UNIVERSITY BASEBALL LEAGUE

2023 AUTUMN

大学
野球
UNIVERSITY BASEBALL

愛知大学野球

2023年度 秋季リーグ戦 期間 8月26日(土)~10月21日(土)

(1部リーグは9月2日(土)より開幕)



佐野 大陽

松本 凌人

梶岡 和寛

山崎 翔介

三島 新亮

田中 永登

主催 愛知大学野球連盟 <https://www.aubl.online/>

協賛 中日新聞社/中日スポーツ 協賛 株式会社ミニミニ
放送 愛知大学野球連盟チームページに記事
会場 パロマ瑞穂野球場 豊田市運動公園野球場 春日井市民球場 他



愛知大学野球
チャンネル

最新情報▶
配信中心!

愛知大学
AIBL.UTD.AJ



2023 年

- | | |
|--------|---------|
| 7月15日～ | 秋季オープン戦 |
| 8月 1日～ | 夏季練習開始 |
| 8月27日～ | 秋季リーグ |
| 9月 8日 | 強化試合 |
| 9月21日～ | 入れ替え戦 |



背番号 2

4 年 小野裕心(おのゆうしん)

愛知県 杜若高校

秋のリーグ戦お疲れさまです。前回の春季リーグは悔しい思いで終わってしまいましたが、今大会は 3 部リーグで優勝することができ、とても嬉しく思います。今年のチームは 1 年生から 4 年生までしっかりコミュニケーションがとれていて、去年と比べるとやや劣るものの南山らしい元気も出すことができ、レギュラーメンバーと 2 枚目メンバーの力量の差が少ないポジションが多く、真剣に楽しく野球に取り組むことができる人が多い良いチームだったと思います。試合に出られない選手も笑顔で練習に取り組むことができている人が多いかなと思えたのでそこも良かったと思います。

個人的には春よりも守備もバッティングも成長でき、安定して結果を出せる自信があり、もちろんもっと出来たなと感じる部分やミスもありましたが、だいたい思っていたくらいの結果を出すことができたシーズンでした。私は 4 年なのでこれで本当に引退ということになります。1 年生の秋のリーグ戦から試合に出続けられたことはこれからの人生においても自信になると感じています。また、大学野球をととても楽しむことができ、満足しています。私がここまで野球

を楽しめたのは、マネージャーさんや横江監督、父と母、チームメンバーにとっても支えられていたからだと思います。特に同い年の皆や慕ってくれた後輩達にとっても恵まれたと思います。笑ってしまうくらい努力している同い年の皆のおかげでサボりがちな私もちゃんと練習を続けることができました。

また、学生野球最後ということもあり、人からの思いに対して、とても感謝の気持ちを感じることができました。支えてもらっている、応援してもらっている、認められていることに対してとても嬉しく思うと同時に感謝の気持ちをもつことができ、これも自分の人生の財産になると感じています。

4 年間お世話になりました。南山野球部に入って、ここまで続けてきて本当に良かったです。南山野球部の空気感がとても好きでした。後輩の皆さんは大変なこともあると思いますが、仲良く楽しく 2 部を目指してがんばって下さい。ありがとうございました。



背番号 3

4 年 近藤翔太(こんどうしょうた)

愛知県 至学館高校

秋リーグお疲れ様でした。最後の学生生活最後となるこのリーグで入替戦に進むこと

が出来、後輩たちには感謝しています。調べたところ 2 部との入替戦は 20 年以上ぶり、との事で自分もすごく高まる思いで野球をすることが出来ました。また、見に来てくださった OB の皆様、ほんとにありがとうございました。結果は 2 連敗と、実力以上に 2 部との差を感じた試合となりました。後輩たちがこの差をどう感じたかはわかりませんが、2 部昇格を目標にするならぜひこの差を埋めるために日々の練習に取り組んで欲しいと思います。自分たちの学年が中心となって出るようになってから優勝 2 回、準優勝 2 回と常に緊張感がある中で試合をすることが出来ました。この経験はこれからの野球人生に生きてくるなと感じます。この 3 年間球場で練習できるのは週 1 という、厳しい環境の中でどのようにしたら自分のレベルを上げることが出来るかと常に考え野球に取り組んで来ました。ここまで一緒に練習してくれた 4 年生、後輩には本当に感謝しかありません。最初は物凄く下手でしたが、その中でも受け入れてくれた同級生にも感謝しかありません。最後のリーグ戦は自分自身思うように行かなかったですが、幸いなことに卒業後は今よりも野球に打ち込める環境で続けることが決まりました。いつまでも野球をすることは出来ませんが、できるだけ高いレベルに行けるように引退後もしっかり練習してもっと野球を楽しみつつ打ち込んでいきたいと思っています。後輩たちにもぜひ次のレベルで野球が出来るような選手が出てきて欲しいですし、実際今の 1.2 年生にはそういった実力を持った選手がたくさんいるのでぜひ頑張ってください。また、変わってきた今の野球部の雰囲気というのをしっかり後輩

に継承して欲しいです。南山大学の野球部は少しずつ変わってきています。レベルも上がってきている中で、後輩たちには野球を楽しむということだけは忘れて欲しいと思います。野球の楽しいには色々な形があります。そのそれぞれの良さを楽しめる南山大学の硬式野球部をしっかり継承して行ってほしいです。また自分を含め、OB の皆様方これからも南山大学硬式野球部をよろしく願いいたします。



背番号 9

4 年 深谷浩大(ふかやこうだい)

愛知県 知立東高校

秋リーグ戦お疲れ様でした。秋リーグ戦では、3 部リーグ優勝し、入れ替え戦まで進みました。最後の大会で入れ替え戦まで進むことができたのは、本当に嬉しかったし、悔いを残さず学生生活を終えることができました。入部当初の南山の野球部は、サークルに毛を生やしたようなチームで、勝つのは二の次のようなチームでした。しかし、同期の野球のレベルを見た時に、このメンバーならもっと上を目指せると思い、同期で集まって、何度も自主練習をしました。そうした積み重ねによって、2 部で勝つためのチームの雰囲気を作ることができたし、そう

した環境で4年間プレーできたことは、本当に幸せだったなと思っています。4年間南山の野球部でやってきて大切にすることは、常に上を目指す姿勢です。南山の野球部はいい意味でも悪い意味でも自由で、自分次第でどれだけでも練習できるし、さぼることができるチームです。3年次は沢山練習しても、個人の結果として表れないことや、チームとしてもあと一步で優勝を逃すなど、モチベーションを維持するのが難しい時期が続きました。しかし、周りの同期や後輩が常に自分のレベルアップを目標に練習に取り組む姿を見て、最後まで自分も練習を続けることができました。今は、お金を払えばトレーナーの方からプロレベルの指導を受けることができ、どれだけでも野球を上手くなれる環境があるので、後輩達は、南山のグラウンドがないというハンディを言い訳にはせず、個人のレベルアップにつなげて行ってほしいと思います。最後になりましたが、今の4年生と本当に野球ができて良かったと思います。自分は毎日野球がやりたくて、いつも練習に誘うようなことをしました。授業の合間にゴルフ場で打撃練習をしたことや、冬の雪が降る中でもみんなで集まって自主練習をしたことなど、野球が好きな同期とやれたことで、コロナ禍においても充実した4年間を送ることができました。ありがとうございました。また、マネージャーの方々には、グラウンドの確保や選手のサポートなど、本当にお世話になりました。マネージャーのおかげで、4年間充実した学生野球を送ることができました。来年も頼もしい後輩たちが沢山残っているので、入れ替え戦をまた見に来ることを楽しみにしています！



背番号 20

4年 谷口雄太(たにくちゆうた)

愛知県 西尾高校

秋季リーグ戦、入替戦お疲れ様でした。

まずチームの話からすると、今年のチームは走攻守それぞれでチームを引っ張ることができる選手がいるだけでなく、下級生にも実力がある選手、今後伸びそうな選手が多くとてもいいチームだとずっと感じていました。練習試合からキーマンとなる人が活躍しながら下からの押し上げもあり今後が楽しみな一方、学年の低い選手が多く出ていることもあってムラがある部分も見られました。実際、リーグ戦が始まり他のチームを圧倒する強さを見せながらも、一度沈黙するとなかなか打線が繋がらない、ワールド勝ちしきれないなどまだまだ粗さも見られました。こういった点は今後代替わりしていく中で修正できればもっと上を目指せると思います。また、今回の入れ替え戦では2部と3部の差と南山野球部の現在地を知ることができたと思うのでこれから先のチーム作りにつなげてくれればいいなと思います。

自分の話をすると、自分は、3年時点でのレ

ギューラーのうち唯一一度引退し、就職活動をしてから復帰という形を取りました。復帰を決めた当初はそこまで苦勞することなくこれまで通りの自分のスイングをすぐに取り戻せると考えていました。しかし、昨秋からのブランクは想像以上に大きく、なかなか思うようなスイングができない日々が続き、チーム状況も加味した結果 8 月の中旬には代打の切り札として自分の持ち味である勝負強さを活かすことを決めました。秋季リーグ期間は打線がうまく相手投手を攻略し、理想の役割は愛知教育大学戦でしか巡ってきませんでした。低めの変化球をしっかりと見切り四球を選びきっちり仕事をすることができました。そして迎えた入替戦初戦では最終回のチャンスで凡退してしまったものの、2 戦目では途中出場から逆方向への長打 2 本を打ち 2 打点を挙げました。最後の最後で過去の自分を超越するような打撃ができ、悔いなく学生野球を終えられたと思います。

これから先、草野球チームあるいは、もしかしたらクラブチームに所属することもあるかもしれません、そこでも大学野球で磨いてきた勝負強さを発揮し活躍できればと思います。

最後に、6 月から復帰という中で温かく迎えてくれたチームメイトの皆には本当に感謝しかありません。来年以降の南山野球部の活躍を OB として楽しみにしています。



背番号 5 1

4 年 原科拓磨(はらしなたくま)

岐阜県 多治見高校

秋リーグそして入替戦お疲れ様でした。リーグ戦、入替戦の開催、運営に協力していただいた多くの協力者の方々のおかげで無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございました。また、沢山の方に応援に駆けつけて頂き、後押ししてもらい、本当に力になりました。ありがとうございました。秋リーグではリーグ戦全勝で 2 年ぶりにリーグ優勝を果たす事が出来ました。リーグ戦を通じて打線が好調で、ビッグイニングを作り一気に流れを自分達に持ってこられた試合が多くあった事が優勝できた一番の要因ではないかと思います。また、ホームランで先制を許した初戦の名古屋市立大学戦、2 回に 10 点を取りつつもじりじりと詰められた愛知淑徳大学戦、1 点差ゲームをものにした愛知教育大学戦。春までであれば一気に崩れてしまいそうな試合でも粘って勝ち切れた事も優勝に繋がったと思います。個人としてはリーグ戦序盤でスタメンとして起用してもらい、春よりも結果を残す事が出来たので良かったです。春リーグ後に少し打撃を変えた成果が出たかなと思います。しかし、長打をあまり打てなかった事

と、チャンスで1本出せなかった事、凡打の内容が悪かった事が悔しかった所です。実際、夏休みのオープン戦ではほとんどスタメンで起用してもらえましたが、リーグ戦から入替戦まででは半分以上スタメンを外れました。これは、チャンスでの打撃、凡打や三振の内容が悪すぎた結果だと思えます。自身の良い打撃結果、打撃内容を維持する事が出来なかった事、たとえそれらが悪くても何とかしてくれると周りに思わせられなかった事。少し悔しい結果でしたが、どんな内容で凡退や三振しても、プレーでチームにあまり貢献出来なかった僕にも沢山ポジティブな声をかけてくれたチームメイトには感謝しかありません。本当にありがとうございました。

入替戦では2敗で2部昇格は果たせませんでした。2試合通じて1度も主導権を持ってこれなかった事が敗因だと思います。格上相手と戦う時の先頭打者や先制点、エラー、四死球の重要性を再確認できた試合でした。新チームでは、相手の先頭打者をいかに抑え、先制点を防ぐのか。自チームでは連打が難しい相手からどの様に点を取るのかを考えて練習して行って欲しいと思えます。新チームは良い投手も多く、リーグ戦を経験している野手、試合に出ていなくても能力の高い選手も多いので、個人的には2部に照準を合わせて練習して欲しいなと思えます。一方で野球を楽しむ事も忘れないで欲しいなと思えます。一見相反するようですが自分なりに本気で取り組めば自然と出来るはずです。お互いを尊重し合って楽しく強いチームを作って行って欲しいと思えます。

この南山大学硬式野球部で過ごす中で関わ

り、支えてくれた全ての人に感謝します。本当にありがとうございました。



背番号 1

3年 國井飛悠吾(くにいひゆうご)

岐阜県 加納高校

今回の秋のリーグ戦入れ替え戦で、メンタルコントロールの重要性を学んだ。何試合かスタメンで使っていただき、自分の精一杯のプレーをしようと努力した。とても緊張してアップの時から浮き足立っているような感じになってしまい、思ったようなプレーができないこともあったが良い経験をさせていただいたと思う。

夏休みの合宿では自分の課題に向き合う時間を多くとる事ができた。バッティングでは、前軸になってしまっていたので、体の中心の軸で回れるように反復練習を繰り返した。そのおかげで、前から来るボールに対しても軸をぶらさずにスイングすることができるようになってきた。今後の課題としては、両肩と骨盤が後ろ軸にしたことによって後ろにそってしまっているの、地面に対して垂直に回れるようにしていきたい。また、トップを作った時に、左足の内側に壁を作って体重移動の際に右足の外側に壁を作って強いスイングができるようにしていきたい。さらにレベルアップしていくために、できるだけ早い段階からスイング軌道

をボールの位置に合わせて、少しでも長く線の状態が維持できるように努力していきたい。右肘の引きと、左肘を早く体に付けて、回転することを意識していきたい。守備では、以前に比べて走り込みができていないので、捕球の際に足が動かず、バウンドが合わないということが多くあった。また横の打球に対して、移動する際に体が浮いてしまっているし、前後の動きも鈍くなってしまっていた。2部昇格という、目標はあと一步のところまで達成出来なかったが、自分としては全てを出し切り、悔いなく現役生活を終わられると思う。

来春のリーグ戦以降、後輩たちには引き続き

2部昇格に向けて、頑張っていてほしい。素質がある選手が、数多くいるのであとはいかにその素質をプレーに繋げていけるかどうかだと思う。その際に、しっかり人に聞く、ということも大切にしてほしい。他の人の感覚などを聞くことで、自分の参考になることがたくさんあると思う。たくさん試行錯誤しながら練習して、頑張っていてほしい。



背番号21

3年 片田怜(かただれい)
愛知県 名東高校

秋のリーグ戦、入れ替え戦お疲れ様でした。秋のリーグ戦では、チームで目標としていた3部優勝を果たすことができました。入れ替え戦では2連敗となり2部との力の差を感じました。新チームがはじまってから入れ替え戦で2勝して2部に上がるということを目指して練習してきたので、入れ替え戦で2連敗してしまったのはとても悔しかったです。個人としてもチームの勝利に貢献することができず悔しかったです。

秋のリーグ戦では、全勝で優勝することができ、春のリーグ戦の雪辱を晴らすことができました。個人としては打率4割を超え、守備ではノーエラーでチームの勝利に貢献できたと思っています。

今回の秋のリーグ戦が大学生最後のリーグ戦でした。南山大学硬式野球部での活動はとても楽しかったです。4年生の方たちは、以前よりも関わるが多くなり、話す機会も増えてより仲を深めることができました。同期の人たちとは、あまり全員が集まって遊んだりすることがなかったですが部活の活動の時には仲良く、とても楽しく野球をすることができたと思います。2年生の方たちは、チームの中心として試合に出ている人が多くいて、とても頼もしかったです。一年生の方たちは、割と近い距離で接する人たちが多くとても楽しかったです。自分たちの代では2部に昇格することができなかったので、後輩たちは2部昇格を果たして2部で戦っているところを見せて欲しいです。

南山大学硬式野球部での活動はOBの方達、監督、マネージャーなどの多くの方達の支えがあってこそできたことで、とても感

謝しています。一年生の時と今回の2度のリーグ戦優勝を経験できました。また、今回は入れ替え戦にも進むことができました。南山大学硬式野球部で得た経験をこれから生きる上で役立てていきたいと思っています。約2年半の南山大学硬式野球部での活動はとても楽しかったです。ありがとうございました。



背番号23

3年 宇野敏基(うのとしき)
岐阜県 県立岐阜商業高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。そして主将として1年間活動させていただきありがとうございました。新チーム結成後から、上手くいったことのほうが少なかったと感じています。

主将としてチームをまとめること、試合に勝つこと、自分自身が結果を出すこと。全てをかなえたいと思いながら日々の生活の中でほとんど野球のことを考えていました。しかしすべては難しかったと思います。主将としてあってはならないことだと思いますが、チームが勝っても本気で喜べた試合は少なく、安心感や悔しい気持ちになったこともありました。常に複雑な思いを抱えながらこの1年間戦い抜きました。とにかくつらく苦しい思いを持ちながらやり切っ

た自分自身を素直に褒めたいと思います。14年間の野球人生を振り返って1番充実感のある野球生活だったと思います。このような貴重な体験をさせていただいた、チームメイトに本当に感謝しています。ありがとうございました。

チームとしては、秋季リーグ戦では久々に2部との入れ替え戦に進出することが出来たということが1番良かったことだと思います。入れ替え戦では2部の強さを実感でき、いい意味で自分自身の野球人生の区切りになりました。負けたこと、結果が出なかったこと自体は全くいい思いはできなかったですが、最後やり切れたと思えたということにはとても満足しています。

同期のみんなへ伝えたいこととして、どんな時でも自分の気持ちの支えになってくれてありがとうございました。うまくいかない時も、上手くいっているときでもいつも声をかけてくれて、どんな時でも部活に行きたいと思わしてくれる存在でした。1,2年生の時からは考えられないくらい同期として仲が良くなって、助け合える存在になったと思います。同期だからこそ、きつく言ったり、厳しく接したりしたけど、最後までやり抜いてくれたことに感謝します、本当にありがとう！

OB・OG、保護者の皆様。この1年間たくさん試合をしてきましたがたくさんの応援をしていただきありがとうございました。全てが選手の力となり秋の結果にもつながったと思います。来シーズンも2部を目指して戦う後輩のためにもご声援を送っていただけると幸いです。

最後にこの1年間主将として活動させていただきありがとうございました。



背番号 24

3年 小澤奏太(おざわかなた)
愛知県 長久手高校

今秋のリーグ戦は3部1位という結果でした。去年から1位を惜しくも取り逃がし、2位という結果に終わっていましたが、やっとのことで1位になることができました。投打ともに噛み合い全戦全勝でリーグ戦を戦い抜くことができました。

このように優勝できた要因の1つとしては、各試合ミーティングでのフィードバックを欠かさなかったからだと思います。毎試合良かった点、悪かった点など意見交換をたくさん行っていました。日々の練習や練習試合などでもその日にあったことを無駄にしないように意見交換を癖づけていました。このように癖づけることでリーグ戦中でもチームとして成長していくことができました。この積み重ねが優勝できた要因だと思います。

他にも優勝できた要因として個々の努力が実ったからだと思いました。僕たちは週2回という短い時間しか全体練習を行っていません。練習時間でいえば他の大学には負けています。しかし、僕たちは短い時間だからこそ質を高めていこうという意識で取り組んでいました。その練習で個々のレベルアップに取り組むのはもちろんのこと、

練習時間以外でも自主的に練習に取り組んでいました。このように練習に取り組む姿勢が個々の結果につながり、それがチームの結果に繋がったと思います。

日々の意識が積み重なって、優勝という結果に結びついたのはとても良いことだと思ったし、やってきて良かったと思いました。また、

このような結果になったのは、横江さんやOBの方々、保護者のおかげでもあると思います。忙しいはずなのに毎試合来てくださる横江監督や毎試合応援をしてくださるOBの方々や保護者の方々がいたからこそ今まで活動してこられましたし、頑張ろうと思いました。なので、この優勝は僕たちだけのものではないと思います。入れ替え戦では負けてしまい、2部に上がることはできませんでしたが、ここまでやりきったので悔いはありません。僕はこの秋で引退しますが、後輩たちは今年のリベンジとしてさらに高みを目指してくれると思うので来年に期待しようと思います。



背番号 27

3年 田中颯一郎(たなかそういちろう)
愛知県 長久手高校

今年の春は、2位という悔しい結果で終わりましたリーグ戦ですが、秋季リーグ戦では3部優勝することができました。さら

に、入れ替え戦まで行くことができました。春の結果を受けてチーム全員で練習、試合に課題感を持って取り組みました。春季のリーグ戦が終了してから、この秋季のリーグ戦までにも、上南戦、夏の合宿の宿泊を伴うイベントがありチームのまとまりに良い影響があったと思います。夏休みの期間中も、チーム全員で練習に精力的に取り組めたと思います。長期休暇中の練習では、昨年までは、なかった12時以降の自主練の時間を取り入れ、自分自身で考えながら練習することも、春に比べて成績が良化した要因のひとつだと思います。合宿では、富山で良い環境の中、練習や試合に取り組むことができました。それと同時に、チームの絆がより深く、強固になりました。それ以降も練習、練習試合を行い、秋季のリーグ戦まで準備しました。そうして迎えたリーグ戦では、初戦は、不戦勝となりました。2戦目では、序盤に先制させるもすぐに、追いつき、7回までに試合を決め切ることができました。次戦でも、初回に先制することができましたが、次の回で、一挙10点を獲得し、終始試合を優位に進め、終盤追い上げに合うも勝ちきりました。次戦も勝利し、迎えた名古屋大学戦は、春まで2部にいたということもあり、最大の山場と思われましたが、序盤に先制し、その後中押し、ダメ押しで勝利することができました。次戦の愛教大戦は、苦しい内容でしたが、勝つことができ、次の最終戦で勝利し優勝することができました。入れ替え戦では、苦しい展開が続き、負けてしまいました。2部リーグで戦ってきた相手との力の差を感じるころもありましたが、実力差は差程なかったように感じました。自分は、ここで引退するので、後輩たち

には、目標である2部昇格に向けて頑張っ
てほしいと思います。これまで応援して
いただきありがとうございました。これか
ら硬式野球部の応援お願い致します。



背番号33

3年 柴蒼輝(しばそうき)

愛知県 天白高校

今回の大会をもって引退になりました。私は大学野球をする中で色々な経験をする
ことができました。新チームが始まり自分達
が自由にできるようになりましたが、後輩
や先輩からの批判があり、主導権を譲るよ
う訴えられたこともありました。その中で、
自分達は自覚を強く持つことができ、お互
いの成長に繋がりました。このときに先輩
や後輩が思いをぶつけてくれたおかげで色
んな視点を持って見てあげることがどれだ
け大切なことか学ぶことができました。今
後のためにとってもいい経験になったと思
います。今秋は3部リーグ優勝を果たし、2
部3部入れ替え戦に参加することができま
した。まずこれまで主務として活動してき
て、3部優勝をできたことはとても嬉しく思
います。また入れ替え戦は敗北という悔し
い結果に終わってしまいました。一つ上の
リーグの大学と瑞穂球場で試合をするこ
とができ本当によかったなと思います。自
分自身主務として、連盟のやり方の変更、一

球速報の導入、広報としての仕事が増えたことで例年よりも大変になりました。前年とは違うものになるので先輩も知らないことが多くて自分自身わからないことだらけでとても苦労しました。でもその中でもマネージャー含め同級生の支えがあって、なんとかやりきることができました。主務としての活動をこれからの人生に生かしていきたいです。私は正直南山大学に入って、硬式野球部に入るつもりはありませんでした。いいサークルや部活がなかったので、やるかという感じで始めました。でも硬式野球部に入ったことで野球部の仲間と出会うことができ、自分自身も色んな経験をすることができました。今季をもって学生野球は終わることになりますが、何かしらで野球は続けていきたいと考えています。下級生にはまた春に優勝して入れ替え戦で今度こそ勝って、2部昇格を果たしてほしいなと思います。いつか1部で活躍している南山大学の姿を楽しみにこれからはOBとして硬式野球部の活動を見守っていきたいです。2年半という短い間でしたが本当にありがとうございました。



背番号59

3年 古庄勇斗(ふるしょうはやと)
愛知県 星城高校

秋のリーグ戦お疲れ様でした。最初に、同級生や卒業された方々も含めた上級生、下級生、OB会の方々、この野球部に携わって下さった全ての方々に感謝しております。沢山の方の支えがあって過ごせた3年間だと心より思っております。春リーグ以降から振り返ると、とても有意義な時間が過ごせたなと感じます。私は3年間掲げてきた個人的な目標を達成不可能だと夏あたりに感じました。そこから、それまでに比べて野球に対する熱は冷めてしまいました。しかし悪いことばかりではなく、良い面もありました。それは、余計なプライドを除けたことです。自分に才能がない事があると心から認めたことで過剰なプライドを取り除く事が出来ました。それからというものの、自然体で過ごすことが出来たため、夏合宿や夏休みの練習でストレス無く楽しく過ごすことができました。これはこの野球部に入った最大の収穫だと思います。また、秋リーグ戦は僕にとってとても有意義なリーグ戦になりました。なぜなら、チームとして優勝出来た上に、自分も、そこそこのピッチングができたからです。あまり重要な場面で投げる事はありませんでした。自分なりの最善はつくせたと感じています。しかし、入れ替え戦では酷いピッチングをしてしまいました。今まで感じた事がない程緊張して上手く動けませんでした。そんな酷い内容でしたが良かった事もありました。まず、後輩が良い意味でいじってくれた事です。正直すごく楽になりました。つくづく周りに恵まれていると実感しました。次にマウンド上で後輩の投手たちに感謝できました。彼らは自分にはない才能を持っています。正直嫉妬をしてきました。しかし、彼らがいなけ

ればここまで試合が出来ませんでした。感謝してもしきれません。彼らが納得いく形で今後も野球を出来る事を心より願っています。最後になりますが、改めてこの野球部に携わって下さったすべての人に感謝しています。本当にありがとうございました。



マネージャー
3年 岡本歩乃佳(おかもとほのか)
愛知県 愛知高校

秋季リーグお疲れ様です。そして三部優勝、二部入れ替え戦進出おめでとうございます。南山大学硬式野球部として2回目の三部優勝を経験しましたが、自分たちが中心となって作っているチームで優勝できたことを本当にうれしく思います。最後にしっかりとした球場で試合が出来たことは私にとってとても良い思い出となりました。やはりマネージャーは裏方の仕事が主であり、私の中では高校からベンチに入りスコアを書くことが唯一の表舞台だと考えていました。高校時からの6年間、夢だったみんなとのハイタッチは仲間に入れた気分になり涙が出そうなほどうれしいものでした。ありがとうございました。

あと数か月間は残りますが、今年でマネージャーという立場を引退します。高校での経験は体力的に厳しく、大学での経験は

精神的に厳しいものとなりました。特に3年生になってからは責任を伴う仕事の多さに圧倒され、ミスらないように、迷惑をかけないようにと、仕事をこなしていく日々の中で知らず知らずのうちに自分自身を追い込んでいた部分もありました。しかし、部員の頑張りを近くで見られたことや、何気ない会話の中での感謝の言葉などに救われ、ここまで続けることができています。

マネージャーは直接勝利に繋がるプレーなどはできません。しかし、後輩マネージャーも含めマネージャーは誰よりも皆のことを応援し、支えていると思います。一人に全てを任せるのではなく、部員全員でチームを作っていくと考え、活動して行ってほしいです。

最後にはなりますが、OBOGの皆様、横江監督、西岡先生いつも多大なるご支援ありがとうございます。



背番号4
2年 宮城翔生(みやぎかい)
奈良県 天理高校

まずは秋季リーグ、お疲れ様でした。初めてここまで南山大学硬式野球部を応援して下さったOBの皆様方、本当にありがとうございました。結果チームは三部優勝を果たし、入れ替え戦まで進むことができました

た。OBの皆様方の応援があることに感謝をしてこれからも野球を続けていきます。

さて、今大会ですが前述の通り、チームは三部で優勝することができましたが、入れ替え戦では日本福祉大学に2戦2敗という形で終わり、二部昇格という目標まであと一歩でした。この試合で私は二部の投手のレベルの高さを目の当たりにし、来春のリーグ戦に向けて、チームが目指していく方針が決まったように感じます。来週のリーグ戦でまずは三部を優勝し、そして先輩方が叶えることができなかった二部昇格を必ず果たして、皆様方に少しでも日頃のご支援の恩返しができたらなと感じております。

私はこの三部優勝、二部昇格という目標に向けて、打撃強化・筋力強化・速力アップを掲げて、この冬に臨んでいきたいと思っています。私の同期には、頼れる主砲である西塚君がいて、私のあこがれです。さらに私の同期で、このチームの絶対的エースである小谷君がいます。そして先輩方の中には、私が尊敬し、私に対して打撃指導や体の使い方を指導してくださった、近藤さんがいます。そして、私の精神的支柱であり、野球内外に問わず、私を支えてくれて、私の打撃強化を指導してくださる國井がいます。まずは彼らにアプローチして、打撃の強化・筋力強化・走力アップに励んでいく所存です。そして少しでもチームが強くなるために、私はこの冬の期間を貴重な時間としてとらえ、野球に時間を使っていく気持ちでいます。

このチームは三部で終わるチームではありません。もっと高いレベルを目指すことができ、そのためにこの冬に各々がすべきことはすでに明白ではないかと感じており

ます。特に私はチームの得点力アップ、長距離打者になる必要があり、現状とのギャップを感じていますが、少しでも自分が目指す理想の姿になれるように精進していきます。

一年間応援ありがとうございました。これからもどうか南山大学硬式野球部をよろしく願います。



背番号 15

2年 澤村一輝(さわむらいっき)

三重県 津田学園

秋季リーグ戦、お疲れ様でした。リーグ戦に関して、主務、マネージャーが中心となって大会を円滑に進めていただいたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。

前回の春季リーグ戦では、優勝争いに加わることなく残念な結果に終わってしまいました。そこから2部昇格を目標に、全員で気持ちを切り替えて練習してきました。

本大会では前回のリーグ戦で敗れた相手にも勝利し南山大学らしい野球ができました。4年生、3年生のほとんどが最後の公式戦だったため、なんとかこのメンバーで優勝することが目標でした。

今大会では、大事な場面での1本のヒット、ただ単にアウトになるのではなく、進塁打など意味のあるアウト、こういったものが

前回大会に比べて増えたような印象でした。グラウンドが悪いためゴロを打てば出塁できる確率が上がるにも関わらず、簡単にフライをあげている選手が数多くいましたが、1打席に対する思いが変わったように見えました。

このように意味のある攻撃をしたことで相手にリズムを渡すのではなく南山大学のリズムの中で試合をした結果勝利に繋がりました。

優勝した後の2部日本福祉大学との入れ替え戦では3部と2部の差を痛感しました。

南山大学は連携不足から守備のミスが続き自分達に流れを持っていくことができず、攻撃面ではランナーが出塁してからの1本がなかなか出ず得点に繋げることができなかったことが課題です。

これらを改善しなくては2部相手に勝利することはできないんだと感じました。

この大会で学んだことを来年の春のリーグ戦で活かし、2部に昇格するためにはやはり多くの練習が必要です。しかし練習時間も練習場所も限られているため、短時間で内容の濃い練習をしないといけません。今どんな練習が必要なのか、何をもちその練習をしているのか等、練習の意図を全員が理解していることが大前提になります。一人一人の練習に対する考え方は違えど、目指す場所は同じでなければなりません。チームで一つになるためにも1回1回のミーティングを大切に、この後の新チームでも頑張っていきます。



背番号 18

2年 小谷勇輝(こたにゆうき)

愛知県 至学館高校

2023年度秋季リーグが終わりました。OBの皆さま、常日頃ご支援いただきありがとうございます。監督さんはじめ主に3、4年生の主将、副主将、主務などの部活運営のための役職に就いている方、いつもありがとうございます。マネージャーの3人の方、練習、試合のサポート、スコア、アナウンスなどいつもありがとうございます。ボール投げ大会ならまだしも野球というスポーツをやっている以上、周りの支援があってこそ成り立ちます。今回の秋リーグで野球をしている実感が湧いたので感謝の気持ちを表させて頂きました。

さて、秋リーグでは優勝、そして入れ替え戦2敗という公式戦結果となりました。チームとして春リーグから1つ壁を乗り越えられました。個人的には上南戦からの成長は特にありません。秋リーグでも特に結果は出していません。ただ、衰えではなく現状維持です。指導者がいない、練習場所がない、勉強にも慎む必要がある環境が悪い場所にいる私にとって現状のパフォーマンスを維持することはとてつもなく大変なことです。1つ入れ替え戦の時の話をします。相手は

日本福祉大学で向こうの先発はプロ志望届を提出している山田さんでした。もちろん打てるわけもなくパーフェクトに抑えられていました。自分も同じ左ピッチャーとして負けじと、4回まで0点に抑えました。失点してしまった5、6、7回はすべてエラー絡みの失点をしてしまい悔しかった気持ちと共にあることを思い出しました。

時は中学校までさかのぼります。私は当時クラブチームには入らず、地元の中学校の野球部に所属していました。あの時、今回と同じパロマ瑞穂球場でフライをたくさん落とし、負けました。正直このレベルで野球をすることが嫌になり、高校は強豪の至学館高校へ進みました。今回の入れ替え戦でも全く同じ事が起こり、同じ気持ちになりました。しかし私も大学生になりました。いつまでも文句を言っているのは子供のままで。様々なことを考えました。「2部相手にヒット性のあたりは数本に抑えたから本気の野球の辞め時だろうか」、「筋トレと球速アップを趣味として生活しようか」、「1人の責任であるボール投げ大会の種目をしようかな」などこの文章を書いている私はさまよっています。そんな中この期間私を支えていただいたBCSの山口さんという方から来年の成長を期待しているという応援がありました。私は応援してくれている人の気持ちは裏切ってはいけないと思い、自分の成長を続ける気持ちに変わりました。

今は体の不調がないので週に1回はボールを投げ、体を大きくするためのトレーニングに励み、2か月に1回は山口さんのところでフォームの修正を行い、柔軟性や体の使い方にも力を入れるというプランで来シーズン開幕までピッチングに取り組んでい

きたいです。チーム運営に関しても関わる学年になるので余裕のある私自身の人間性も形成していきたいです。



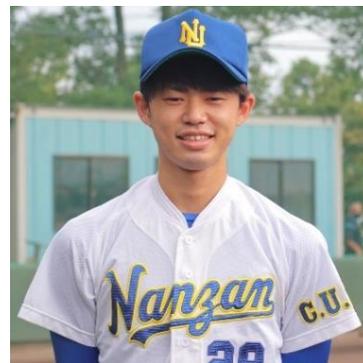
背番号 22

2年 花井慧汰(はないけいた)
京都府 京都外大西高校

大学に入って2年目にして2部へと昇格できるチャンスを掴むことができました。主力で出させていただいていることもあり気持ちは高まる一方でした。秋のリーグではこれまであと1歩の所で逃すことが続いていました。その中で迎えた秋のリーグ戦で見事全勝を果たして3部リーグを制覇することが出来ました。このチームが始まって、ずっと副主将を任されていて真剣にチームのことを考えて精進してきてよかったと初めて気持ちが報われた気がしました。去年のチームから常に2部リーグを目指して日々練習しており、新チームになってから多くぶつかることも迷惑を多くかけることもありましたが、それでも信じて使い続けてくれた主将や、先輩方には感謝を伝えたいです。ありがとうございます。迎えた日本福祉大学との入れ替え戦では2連敗という結果に終わってしまい、2部昇格という目標を達成するのは持ち越しとなりました。正直、2部にはすごいピッチャーが何

人もいたことや、打者の粘り強さなど差を感じる場面が多くありました。その差を感じたことからまだまだ遠いなと感じました。個々の実力はもちろんでした。しかし、この差があるから諦めるとかもちろんそういうわけではないです。この差を縮めるにはこの冬の過ごし方。もうリーグ戦が終わってほとんどのチームも公式戦はなくなった今だからこそ、個々の能力を上げていくチャンスだと思います。新チームから主将を任せていただくことにもなりました。また、最上級生になる自覚もしっかりと持ってチームを引っ張っていかなければいけないと責任感を非常に感じています。新チーム目指すは2部への昇格。そして2部で戦い抜いていくことが出来るチーム力。人数差なんて関係ありません。どれだけチームの人数差、個々の能力差を感じたとしても必ずチャンスはあると思います。実際今回の入れ替え戦で点差が離れたとしても格上の相手を少しでも追い詰めることが出来たことには変わりはありません。新チームのチームカラーは最上級生の姿勢、態度で決まると思います。どれだけ本気を後輩たちへと伝染させられることが出来るか、また何よりも口ではなんとでも言えるということをもう一度肝に銘じて取り組むことが出来るか。ずっと試合に出させていただいている、主将を任されるそれは他の人よりもチームの中での注目度は高まっているはず。まずは自分がいかに本気をむき出しで取り組むことができるか、いかに嫌われることを怖がらずチームへと呼び掛けをして行けるか。それが大切だと思います。今回の入れ替え戦だけでなく試合を応援していただいた全ての方々、本当にありがとうございます。

ました。来年こそは皆様の期待に応え、2部昇格への目標を果たしてみせます。応援よろしくをお願いします。



背番号 29

2年 小西裕一郎(こにしゅういちろう)

岐阜県 加納高校

今年の秋季リーグ、入れ替え戦が終わりました。この秋で引退する3,4年生の方々本当にお疲れ様でした。先輩方にはいろいろなことを教えていただきとてもお世話になりました。優しく面白い先輩方と一緒に野球をすることができて本当に良かったなと思います。自分がのびのびと野球をすることができたのも寛大で優しい先輩方のおかげであり、本当に先輩方にはたくさんの迷惑をおかけしました。先輩方には感謝してもしきれません、ありがとうございました。

今年の秋季リーグは3部優勝、入れ替え戦敗退という形で終わりました。リーグ戦では完全に満足の行く成績とまではいきませんでした。春のリーグ戦の時よりはバッティングも守備も成長したプレーをすることができていたかなと思います。入れ替え戦では日本福祉大学さんと試合をしました。2試合とも出させていただきましたが、自分の力不足を痛感する試合になりました。

2部と3部の投手の差を肌で感じ、もっとレベルアップしなければいけないなど思われました。来年の春のリーグ戦で優勝し、次こそは入れ替え戦でチームとしても個人としてもリベンジできるように努力していきます。

この秋で3.4年生がみんな引退してしまうことでこれからは自分たちの代がチームの中心となり動いていくことになります。今まで先輩方に頼ってばかりだったため、急に先輩がいなくなるのは寂しく不安なことも多いですが、もっといいチームになっていけるように頑張ります。そして、南山大学の硬式野球部の伝統を繋いでいけるように頑張ります。

最後に、自分が好きに野球をやれていることが当たり前なことでは無いということをお忘れず、監督を務めてくださっている横江さんをはじめ支えてくれている両親やキャプテン、主務、マネージャー、チームのみんな、また長年硬式野球部を支えてくださるOBの方々に感謝の気持ちを持って、これからも楽しく野球を続けていけたらと思います。



背番号 8

2年 西塚制覇(にしづかせいは)
三重県 海星高校

秋季リーグお疲れ様でした。今回のリーグ戦開催にあたり、多くのご支援ご声援をくださった方々に深く感謝申し上げます。

今回のリーグ戦は大学生活 4 回目のリーグ戦にして初の 3 部リーグ優勝という結果を収めることが出来ました。また個人としては、名古屋大学戦で満塁からの走者一掃スリーベースヒットや愛知教育大学での勝ち越しスリーベースヒットなどチームの勝利に貢献することが出来、最優秀選手賞を獲得することが出来ました。しかし、春季リーグと比べ、打率、本塁打、打点の項目において 1 試合少ないながらも全て下回る結果となったことは非常に悔しさを感じます。春季リーグ 7 試合目で肉離れになり、自分の身体を騙しながら一時休養をとり、その後プレー復帰に至るまでの時間を無駄にしまったことも、この成績に繋がっているのだらうと感じます。この成績を踏まえて改めて、野球をする土台は身体であり、強くしなやかな身体を持つからこそ、強いスイングが出来、強いボールが投げられると思います。この秋冬から春にかけてのオフシーズンで今 1 度自分の身体の力、柔軟性を見つめ直し、レベルアップを図ります。

入れ替え戦においても、日本福祉大学に 2 部の強さを改めて感じさせられました。投手力もあがり打撃力、走力においても全てが南山を上回っていると感じました。投手力は正直 1 部 2 部入れ替え戦に出場していた同朋大学より日本福祉大学の方が良かったため、1 度置いておくとしても打撃力、走力をあげなければ 2 部リーグ昇格は出来ないと感じました。正直この入れ替え戦において特に 2 日目は勝負を避けられシングルヒット、フォアボール、デッドボールな

ら OK くらいの攻めで外野もフェンス手前まで下がっていました。もちろんその中でも結果を残すということが理想ではありますが、周りを打つ選手の手助けも必要であると思います。来年以降このような攻めで来られたとして、1 塁から 1 人で 3 塁まで到達する走力やあとに続く打者が大切であると感じました。もちろん今の段階では両方ともできる訳では無いためオフシーズンの間の個々の頑張りに賭けるしかないと思います。

先輩方には非常に良くしてもらい、特に外野を一緒に守っていた翔太さん、裕心さん、拓磨さん、谷口さんには感謝しかありません。同学年や後輩の外野手が少ない中で同級生のように仲良くしていただいたことにこの場を借りてお礼をさせていただきます。

秋季リーグ一緒に戦ってきて毎試合毎試合楽しかったです。来年以降は上級生としてチームを引っ張っていく立場となります。今回果たせなかった 2 部リーグ昇格を達成するためにも、前チームから出場していた選手が率先して行動しなければならないと感じます。なんとか今回同様、それ以上にチームの勝利に貢献する打撃をしたいと思います。

来年以降のリーグ戦、入れ替え戦も予定を空けてでも是非観戦しに来てください。



背番号 4 1

2 年 武田知樹(たけださとき)

愛知県 高蔵寺高校

私は、3 年生、4 年生が最後となる秋季リーグ戦が始まり、良い形で引退して欲しいという思いでいっぱいでした。最後の試合が終了し、私たちのチームは見事優勝することができました。その時に、最初に感じたのは喜びでした。これまでの練習が実り、チーム全員が一丸となって勝利したことで、全員が報われた気がしました。その後、グラウンド内での胴上げは最高でした。先輩たちとのハイタッチは、これまでにないぐらいの喜びを感じました。この瞬間が実現するために多くの人々が支えてくれたことを実感し、これからも支えてくださる方には感謝をしていきたいと改めて感じました。優勝の瞬間は、喜びの気持ちがあった中で、これからの不安も感じました。先輩方が残してくださったこの優勝という成果を私たちの代でも達成しなければなりません。だからこそ、これからはしっかりと練習に励み、試合でのプレッシャーに立ち向かい、失敗から学び続けていきたいと思います。そして、私たちはリーグ戦を優勝したことで、2 部と 3 部の入れ替えをかけて戦う入れ替え戦に挑むことになりました。入れ替え戦でも、多くの方が私たちを応援しにきてくださいました。その方達の期待に応えるために、選手全員がこの入れ替え戦でも一丸となって戦いました。2 部の強敵を相手に全力で戦う先輩方はとてもカッコいいと思いました。結果は、敗退という形ではありましたが、この試合を経験したことにより次に繋がるものがたくさんあると感じました。

私は、来年もこの入れ替え戦の舞台で戦い、次こそは2部へ昇格したいと思いました。そのために、これから始まる新チームで活躍をし続ける必要があります。活躍するために、日々の努力をこれからも続けて、メンバーから認められるようなプレーヤーになりたいです。自分の長所と短所を自覚し、長所は伸ばし続け、短所を短所ではなくすというところまで成長したいと思います。私のチームには、良い選手がたくさんいます。その良い選手たちから、良いところを盗むことはもちろん、色々質問をして自分の成長に繋げたいと思いました。



背番号44

2年 棚瀬柊人(たなせしゅうと)

愛知県 名東高校

秋季リーグお疲れ様でした。今季リーグは優勝することができ、3,4年生の先輩方が最後にかっこいい姿を僕達後輩に見せてくれました。普段から僕たちのことを気にかけてくださり、明るく優しく接してくれて本当に感謝しかないです。部活の中で先輩方と話すことが楽しみでした。そんな先輩方もいなくなってしまう、11月からはオフシーズンに入ります。そしてオフシーズンが明ければ僕たちの代になっていきます。ここで自分が感じていることは、他人がどう

こうではなく、自分自身がやり切ったと思えるかどうか大事だということです。もちろん野球はチームスポーツで仲間がいないとできないものです。しかし、南山大学野球部で1年半過ごしてみて、もっと自分を追い込めるなと感じました。人間は弱い生き物ですから自分に甘く、どうしても他人のことを気にしてしまいます。ですが、それではかっこいい人間にはなれないと感じました。結局、自分は自分で他人は他人。その中で他人を気にすることなく、自分がやりたいこと、やらないといけないことを理解してそこに真っ直ぐ突き進むべき姿が僕の理想としている姿なのではないかなと感じています。きっと大変なことも出てくるし、どうなるか分からないですがとりあえずは自分のために頑張ってみようと思います。今さらではありませんが、今は体を大きくすることを目標に自分なりにトレーニングを行っています。トレーニングをやっても結果が出なければ自己満足で終わってしまいます。もちろん継続し続けたことに意味はあるし、それだけでも十分な価値を持っているとも思いますが、せっかくならこのトレーニングの成果を発揮する場面をつくりたいと思っています。その一つ一つの積み重ねがより自分を強くしてくれると信じてこれからも自分自身と闘っていかうと思います。最後にはなりましたが、日頃から南山大学硬式野球部を応援して下さるOB・OGの皆さん、いつもありがとうございます。結果で喜んでもらえるよう頑張りたいと思いますので今後とも応援よろしくお祈りします



背番号46

2年 山田健太郎(やまだけんたろう)

岐阜県 大垣北高校

今シーズンの秋季大会は優勝することができてとても大きな経験になりました。しかし入れ替え戦ではあと1歩のところまで敗れてしまい、2部昇格と言う目標を達成することはできませんでした。そこに至るまでにいろいろなことがありました。自分はメインで試合に出る立場ではなかったので、ベンチでのサポートや声出しなどに力を入れていました。一人ひとりが自分の役割を全うすることがやはり勝利につながるのだと感じました。来年に向けて大きな気づきを得ることができました。個人の技術、その向上は大切なことであり、目標ともなりますが、私が大切にしていることは別にあり、それは、先輩や後輩、仲間との関係性です。人と人との触れ合いは、私の生活に活気を与えています。いいことばかりではなく、気持ちのすれ違いなどもあると思います。そういうことも含めて、話し合いをし、1つの方向へ向かうことでプラスになると思っています。短期決戦を勝ち抜くにはチームの明るい雰囲気大事だと感じています。これだけの人がいて、うまくいくことばかりではないとおもっています。だから他人か

らの刺激も受けて、自分が変化していくことでいい方向に行くこともある、そう考えています。

部活動は、やっぱりやってよかったと思っています。いいことも、悪いことも、楽しい日々が送れたように思います。私たちが部の運営も引き継ぐのだと思いますが、先輩の築いたものを大切にしながらも、私たちがよりよいものに代えていければ、そんな風に思います。

入れ替え戦で、たくさんのお客さんや関係者の方々の応援を見て、やはり私たちの野球には多くの方が携わってくださっているのだと改めて感じました。プレーをするために、家族やOBの方々、チームメイト、マネージャー多くの方が関係しています。多くの方が応援してくれています。そういった方々への感謝の気持ちを忘れずに、今野球ができていることをありがたく思い全力でプレーしていきたいと感じます。来年こそは2部昇格を果たせるようにしていきたいです。



背番号99

2年 伊神登生(いがみとうい)

愛知県 西春高校

秋季リーグお疲れ様でした。今回のリーグ

は淑徳大学戦や名古屋大学戦、愛知教育大学戦など、ここで勝てば優勝に近づく試合でしっかりと勝ち切ることができたので、見事に優勝という結果となりました。そして、このリーグで4年生は引退、3年生も来季残る人以外は引退となります。今回のリーグで優勝し、入れ替え戦でとても良い試合をしてくれたので、最後のリーグで先輩としてのあり方をしっかりと見せてくれました。また、入部した時から3、4年生の方々はとても優しく接してくれたので、私は怪我をしていてまともに練習できない状態で不安でしたが、とても助かりました。今回のリーグ戦ではあまりチームに貢献することはできませんでしたが、秋季リーグをベンチから見ていて思ったことは、春季リーグと同様に序盤はリードしていて雰囲気は良くても、終盤に追いつかれそうになって雰囲気が沈むことがありました。ですが、そこで逃げ切る力がついたと思います。また、愛知教育大学戦では、逆転されても終盤に逆転することができたので、そこも成長だと思っています。入れ替え戦では、打ち取った打球をアウトにできず、速球が打てなかったのも、そこをチームとして改善できない限りは、今後二部リーグに昇格することは難しいと感じました。今季では二部リーグに昇格することはできませんでしたが、先輩のチームの良いところを引き継ぎながら、変えるべきところは変えて、来季に二部に昇格することができるように頑張ります。短い間でしたが、ありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

これから新チームが始動し、一旦オフシーズンに入るのので、まずはこのオフシーズンは再度身体作りに励みたいと思っています。

この野球部にはジムに通っている人が多く、見習うべき人がいるので、その人達に色々な話を聞いたりしながらオフシーズンが明けた時に皆に変わったなと思われるようにオフシーズンを有意義に使い、レベルアップしたいと思います。私も一生懸命取り組むので、逆にオフシーズンが明けた時に皆の成長を見ることができたら嬉しいです。良いチームをみんなで作り上げて来季は必ず二部リーグに昇格しましょう。



マネージャー

2年 齋藤希(さいとうのぞみ)

福井県 仁愛女子高校

秋季リーグ戦、お疲れさまです。私は現在留学中ということで、チームの力になれなかったことに対し、非常に悔いが残ります。しかし、努力が結果に結びつき、三部優勝を果たせたみんなを誇りに思います。

アメリカに留学しているので時差が大きかったのですが、できる限り一球速報でみんなの活躍を追っていました。特に6戦目の愛知教育大学さんとの試合は、中盤で相手が追い上げてくるなど、最後までハラハラさせられました。最後まで粘り強く戦い勝利を収めた姿に感動しました。二部昇格に向けての入れ替え戦は、二試合とも一歩及

ばなかったですが、チームの熱い思いが現れた良い試合だったと感じました。点を取られても取り返す気持ちが感じられ、感銘を受けたと同時に、マネージャーとしてそばに居られなかった悔いを痛感しました。すでに新チームでの練習が始まっていることを耳にしました。これからは最高学年としてさらに責任を問われる仕事が増えていくと思います。練習や試合内外での仕事も増えると聞きました。マネージャーの自分が緩んでいると、チームにも影響すると思います。キャプテンや主務と協力しながら、常にチームのことを一番に考えながら、仕事をこなしていこうと考えています。帰国までの2か月ほどは、私の代わりにほのかさんがチームに残ってくれています。ほのかさんへの感謝の気持ちを忘れず、帰国したらすぐに気持ちを入れ替えて、チームを支えていけるよう頑張っていきたいと思っています。

最後に、この場をお借りして、日頃から南山大学硬式野球部を支えてくださっている全ての方々に心から感謝したいと思います。横江コーチをはじめ、OB、OGの皆様、球場まで足を運んでくださり、温かい声援を送ってくださる方々、そして遠くからも私たちのことを応援してくれる両親や家族、たくさんの人たちに支えられ、私たちはのびのびと野球をすることができています。ありがとうございます。新チームになり、きっとこれから困難に直面する場面もでてくると思いますが、これからも応援よろしく願いいたします。



背番号 5

1年 齋藤奨太(さいとうしょうた)
三重県 三重海星高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。そして、今シーズンをもって引退する先輩方、本当にお疲れ様でした。

秋季リーグ戦では、春季リーグ戦での悔しさを糧とし優勝を果たすことができました。しかし、その後の入れ替え戦では2部との実力差の上、2部昇格という目標を果たすことはできませんでした。今回、2部のチームとの差を感じたのは実践経験のレベルの違いが大きく関わっていると思いました。特に、それを大きく感じたのが初戦で5回までパーフェクトピッチングされたという点や凡打という結果でも真芯で捉えられていたことだと思います。実際、2部のどのチームでもリーグ戦が始まる前から練習試合で1.2部の投手の真っ直ぐの質や変化球のキレ、打者の打球の性質など身をもって体感しているはずだと思います。しかし、我々からしてみれば2部のましてやリーグ戦で投げているような投手や打者とは滅多に勝負することはないため、この結果になってしまったと思いました。その差を埋めるためには、今後はもっと2部のチームや他県

の実力が上のチームと多く練習試合をし、実践経験を費やしていくべきだと思いました。自分自身については、今シーズンはあまり試合に出る機会はありませんでした。そのため、悔しい気持ちを片隅におきながらもチームの勝利のために何をするべきかを考え、一塁ランナーコーチとしての役割を積極的に行いました。投手の牽制のクセや次の打球に応じてのランナー動きの確認など高校時の経験も活かし、取り組みました。

来シーズンからは試合に出る機会が多くなってきます。今度はチームをサポートするという考えからチームを引っ張るという考えに意識を変え、自覚と責任を持つべきだと思います。そのためにも、11.12.1.2.3月というオフ期間を含むこの5ヶ月間が大切だと考えています。技術面の向上はもちろんですが、自分に1番に足りないのは身体の面だと自覚しています。そこで、春季リーグまでに体重を5kgアップさせることを1番の目標としていきます。

そして、春季リーグの目標はクリーンアップにチャンスを繋げるためにもチーム1の最高出塁率を目指していきます。そして、今シーズン果たせなかった2部昇格を果たせるようにします。



背番号 13

1年 深谷陸登(ふかやりくと)
三重県 三重海星高校

秋のリーグ戦、入れ替え戦が終わりました。結果はリーグ戦が優勝、入れ替え戦が0勝2敗でした。私は何試合か出場することもでき、出場することが出来なかった春よりは成長することができてと感じています。このリーグ戦では今期で引退する3、4年生の方たちには迷惑をかけられない状況でチームの士気を下げるような結果しか残せず申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、それでも声をかけてくれる先輩方がいて励みになり、とても感謝しています。チームとしては優勝という成績をこのチーム最後の成績として残すことができとても嬉しいです。しかし、入れ替え戦では2連敗と2部リーグとの力の差を強く感じました。ピッチャーの層の厚さ、バッターのスイングの強さなどチームとしての実力も個々の実力も相手チームの方が上でした。私は2試合目の中盤から登板しましたが、リーグ戦でなかなか結果を残せなかった中で他の選手には強く不安を感じていたと思います。私自身もチームに迷惑をかけられないと緊張をしていましたが、そんなに考えすぎても良い結果は出ないと思い、この試合は楽しんで投げることを意識しました。5回4失点と結果としてはあまり良い結果ではありませんでしたが、最近の試合では1番調子もよく、楽しく投げることができました。しかし、2部リーグとの差を肌で感じ、課題も見えました。コントロールの悪さ、球の力強さ、変化球のバリエーション、層の厚さなどに差を感じました。また、リーグ戦でもピッチャー陣は制球難などによってなかなか抑

えられず、苦しい試合が多くありました。そういう課題を克服するためにまず身体から変えていこうと考えています。この冬の間にはウエイトトレーニングだけでなく、怪我をしないような体づくり、フォームの矯正などに励みたいと思います。そして、2部リーグでも通用するようなピッチャーになります。来季では個人としては最優秀防御率、チームとしては3部リーグ優勝を果たし、次こそ入れ替え戦で2勝して2部昇格を叶えたいと思います。



背番号 55

1年 蛭川健太(ひるかわけんた)

愛知県 西尾高校

秋季リーグ、入れ替え戦お疲れ様でした。ひとまず1年生としてのシーズンがこれで終了しました。そして3、4年生の先輩方、今までありがとうございました。

秋季リーグでは、惜しくも準優勝に終わった春季リーグの悔しさをバネに、優勝することが出来ました。しかし、入れ替え戦では、日本福祉大学の野球に力負けした、そんな印象でした。身体能力に大きな差がある訳ではなかったと思います。しかし、同じ凡打でも、日福は芯で捉えた打球が多かった

ですし、チャンスでしっかりと点を取ってくるところも、2部と3部の違いを感じました。試合後に先輩が仰っていた、「今日で2部と3部の違いがよく分かったと思う。2部の野球に照準を合わせないと2部には上がれない。」というのを、肌で感じた結果となりました。

ここから、硬式野球部はオフシーズンに入ります。練習試合がなくなり、チーム練習も減っていく中で、各個人の能力を上げる必要があります。自分としては、3つのテーマの基、オフシーズンを過していきます。

1つ目は身体強化です。今よりもキレを出し、高い出力を出せるようにならないと、2部の野球を戦うことはできません。ウエイトトレーニングで筋量を増やし、ストレッチで可動域を広げ、有酸素運動などで体を絞り、土台からしっかりと固めていきます。2つ目は守備の強化です。今シーズンまでファーストを守っていた先輩が引退され、ファーストのポジションは空く形になります。未経験者ながら、6月の新人戦ではファーストを守らせて貰えましたが、チームに貢献できるレベルには程遠いと感じています。そこでこの冬は、とにかく経験を積むこと、具体的にはノックを数多く受けることや、ハンドリングの強化などを行い、安定感を出していきます。

3つ目は野球脳の強化です。新チームになると、キャッチャーが花井選手と僕の2人になります。花井選手にもしものことがあった時なるべく戦力が落ちないように、野球脳を強化し、本職である捕手としてのプレーに活かせるようにしていきます。また、野球脳の強化はバッティングにも生きてくるので、打線の強化にも繋がると考え

ています。
以上のことをテーマに、オフシーズンを過ごしていきます。



背番号 42
1年 今村僚吾(いまむらりょうご)
愛知県 小牧南高校

皆さん、秋季リーグ戦お疲れ様でした。秋季リーグでは、春季リーグでは叶えられなかったリーグ優勝を見事に成し遂げる喜ばしい結果となりました。しかしながら、入れ替え戦では日本福祉大学との試合で2戦とも敗戦してしまい、2部昇格とはなりません。今のチームはヒットが出ても繋がらない事が多いと見受けられるので、繋がる打線というのを体現することができたら、もっともっと勝って、2部昇格にもつながると思います。また、ピッチャー陣は比較的フォアボールでランナーをためて返されるという場面が見られたので無駄なランナーを出すことを減らしていったら、より打撃とのバランスもとれて得点を取りやすい

打線になると思います。また、個人的には、打撃面で多くの課題を抱えています。例えば、スイングスピードがまだまだ遅いのでスイングの始動が早くなり変化の見極めが悪くなるため上手く変化に対応できないということ。また、金属と違い木製は、上手く捉えなければ飛ばないのでそういったことも含めて、スイングスピードを上げなければなりません。打てなければ起用される機会も減ると思うので、打力向上を目指して日々のトレーニングや素振りに励んで行こうと思います。また、自分は体重が軽いので、食べるに食べて体重増加も日々励んでいこうと思います。特にこれからオフ期間に入り個々でどれだけ努力できるかが大事になって来ると思います。自分は日々身体の変化が楽しみで自己投資にもなっていると思うので筋力トレーニングが好きであり、それをモチベーションで野球もより一生懸命になれたら能力アップに繋がると思うので、練習や試合が次の日にあるなしに関わらず筋力トレーニングを行うようにしていきます。やはり、打力がないと使う側も使いづらいと思うので、木製バットでも飛ばせる力というのをこの1年を通してとりあえずつけて行きたいと思います。また、筋力トレーニングをすることによって守備面でも肩力が上がったり、脚力が上がり守備範囲が広がったりという

面もあると思います。さらに、走塁面に関してもしっかりと繋がって来ると思います。



背番号 14

1年 森上駿太郎(もりかみしゅんたろう)
愛知県 名古屋高校

秋リーグお疲れ様でした。自分は秋の大会に多く先発させていただいて、自分の力無さを痛感しました。というのもここぞという時に踏ん張りきれず痛打を許し、ツーストライクから決めきれず粘られ出塁を許すというような投球をしてしまいました。また一発を浴びることが多く、打線で作ってくれたいい流れを一発浴びることでそれを消してしまい、自分たちに流れを呼び込むような投球どころか、相手に渡してしまうような投球が目立ちました。また、入れ替え戦も含めてメンタル的に試合に十分に戦える用意が出来ていなかったと思いました。相手打者やベンチからの声などにいちいち反応してしまい、自分の投球に向き合えていなかったように感じました。

入れ替え戦での投球は今の自分の課題を具現化したような内容でした。こころが浮ついていて相手のバッターやベンチ、その環境に飲まれていました。入れ替え戦で痛

感したのは今の自分のストレートでは2部相手には通用しないということです。これまでの相手はストレートに対応してするのに一巡はかかっていたが、2部の選手は初めから捉えてきた。この冬でストレートのキレ、球速共に高められるように練習したい。またストレートを磨くだけでなく変化球、特にスライダーを磨く必要があると感じた。というのもいい打者ほどまっすぐ系の変化球を投げなくては抑えられないと実感したからだ。なので、この冬にスライダーに磨きをかけていきたい。そして今の中で大きな課題であるメンタル面の強化はこれから課題をクリアするために練習することで自信をつけて、自分の投球が大舞台でもやれるようにこの冬でレベルアップしたい。また自分は怪我をしやすいためトレーニングで怪我をしにくい体を作り、また長い回を投げられるだけの体力が無いため筋持久力をつけて、チームに貢献できるようになりたい。

最後に、僕はこの秋リーグでは多くのピンチを救ってもらった。この冬でレベルアップしチームを救えるような投球ができる投手になりたい。



背番号 16

1年 林伶真(はやしれいま)

愛知県 小牧南高校

秋季大会及び入れ替え戦お疲れ様でした。引退を迎える先輩たちと3部リーグ優勝という素晴らしい成績を残すことが出来て光栄です。今まで、ありがとうございました。入れ替え戦では、2部リーグの日本福祉大学に勝つことが出来なかったのが後悔です。個人としてチームに直接貢献する場面がなかったがベンチ内で声を出し、サポートをしてチームに間接的に貢献は出来たかなと思います。春季大会の反省であるチャンスでヒットを打つことや選手一丸となり一点を取らせないような守備ができたと思います。個人としては、試合に代走として出させていただき、盗塁を成功させられて良かったです。緊迫した場面で自分自身も緊張していたが自分の長所である足を使えたことはこれからの自分のプレーにも繋がるし、自信ができました。しかし、自分はバッティングがまだまだ課題なので試行錯誤しながら冬のオフシーズンを使って自分に合ったスイングを見つけていきたいと思います。そのために、自分一人だけでなく、チームの仲間と考え、先輩に教わりたと思います。2部との試合で3部との差を感じたので標準を3部に合わせるのではなく、2部リーグでも活躍出来るような選手になりたいと思います。守備では、新しく外野に挑戦をされていて打球の伸びの感覚がまだ掴めていなかったり、送球が上に抜けてしまったり左右のブレが大きく出てしまうことがあるので練習を積んで技術を向上させていきたいです。オフシーズンで特に頑張りたいことはフィジカル強化です。フィジカルを強化することにより、技術が向上するこ

とと相乗効果が生まれると思うので頑張りたいです。そのために、ウエイトトレーニングを計画的に進めることと、食事量を増やし、摂取カロリーを増やして体を大きくすることが目標です。フィジカルを強化するにあたって体をただ大きくすれば良いだけでなく、ストレッチなどをして筋肉の可動域を増やしたりすることも大切であると思うのでお風呂上がりにストレッチをして体の柔軟性を高めていきたいです。来年の春季リーグでは今回の入れ替え戦で果たせなかった2部リーグ昇格を目指して頑張りたいと思います。



背番号 17

1年 早川大翔(はやかわだいと)

岐阜県 本巣松陽高校

後半のシーズンではチームの団結力が高まり、とてもいい雰囲気の中で秋のリーグ戦に望めました。

ピッチャー陣たちの調子が特に良くチーム防御率も低く抑えられたところが良いところだと思いました。打線でも上位打線だけで点を獲るだけではなく下位打線でも、点を獲ったりチャンスを作れたりしたところもとても良いところだと思います。ベンチワークもとてもよく試合をスムーズに進め

ることができたと思います。その結果秋リーグでは優勝することができてとても嬉しく思います。念願の優勝でチームとしてはやり切った感じがしてとても気持ちよかったです。僕個人としてはとても悔しいシーズンとなりました。試合には出られずチームの力になれたかと聞かれるとあまりそんなこともないような気がします。来年から始まるシーズンでは試合に出たいので自分のレベルアップが大事になってきます。自分はこの冬に身につけたいことが四つあります。一つ目はストライクを安定して取れるようになることです。自分はコントロールがあまり良くなく、試合の流れを悪くすることがあります。ストライクをとることは投手としての必須条件だと思うのでこの冬練習して、試合を作れるような投手になりたいと思います。二つ目はカーブの精度を高めることです。自分の武器はカーブです。しかしストライクが入らなかつたり、曲がり具合が日によって違ったりします。なので、調子に左右されないように練習を重ねてゆきたいと思います。三つ目は速い変化球を覚えることです。自分はカーブとストレートの2球種しかなく、それだとどちらか張られて打たれてしまいます。速い変化球で打たせて取るようなピッチングスタイルを確立したいと思います。四つ目は球速を速くすることです。球速が速いに越したことはありません。球速が速くなればカーブとの球速差で打ち取り、ストレート自体で押すこともできます。自分のピッチングの幅をどんどん広げてゆきたいと思います。この冬は課題が多く大変だが、向上心をもって練習に取り組んでいきたいと思いません。



背番号 66

1年 永谷勇樹(ながたにゆうき)

愛知県 国府高校

秋のリーグ戦お疲れ様でした。リーグ戦では念願である優勝を果たすことができましたが入替戦では二連敗で3部リーグ残留が決まってしまう、悔しい結果になってしまいました。三年生四年生が引退し、これからは一、二年生主体のチームになっていきます。先輩達がなしてなかった二部リーグ昇格に向けてこれからの練習や日々の努力を重ねて行きたいと思います。チームとして秋リーグを振り返ると、優勝を果たすことができチームとしては力がついたことを証明することができたと思います。特に名古屋大学との一戦では相手の140キロを超える好投手相手に大量得点を取ることができ、快勝することができました。春リーグでの課題であった得点力という部分を解消することもでき、優勝することができたと思います。しかし入替戦になり二部リーグのピッチャー相手になるとなかなかヒットも出ず点も取れずに負けてしまうという結果になってしまいました。二部と三部の差をととても大きく感じた結果になりました。三部で勝てるから大丈夫ではなくこれからの練習では二部のチームを想定するなど目

線を上げてくべきだと思いましたし、一人一人が練習で意識高くやっていくべきだと思いました。個人のことを振り返ると公式戦の出場は無いという悔しい結果になってしまいました。練習では自分の課題である守備で先輩のプレーを観察したりチームメイトからアドバイスを貰ったりしたことにより、日々の向上を自分自身でも少し感じています。しかし自分自身、一回ミスをしてしまうと気持ちが沈んでしまい次のプレーでのミスや仲間に悪い電線をしてしまうことがあるので気をつけていきたいと思います。バッティングの方では出させていた

だいた練習試合では何本かヒットも出ましたし、自分的には嬉しい結果になりました。しかし代打で一打席しかないチャンスなどでは全然結果を出すことはできませんでした。一打席でしっかり結果を残していけるようにチームメイトからピッチャーの情報を聞き出し、相手のキャッチャーの配給パターンなどをしっかり自分の頭の中で整理しながら打席に向かい結果を出せるようにやっていきたいと思います。三年生と四年生が抜けて一二年生で少ない人数になります。でもその分自分にもチャンスが回ってくると思うのでそのチャンスを活かしてチームの勝利に貢献し二部昇格を果たしたいです。



背番号 25

1年 今福優晴(いまふくゆうせい)
愛知県 名古屋経済大学市邨高校

秋のリーグ戦と入れ替え戦お疲れ様でした。今秋はリーグ戦で優勝することができましたが入れ替え戦で二敗と悔しさも味わいました。リーグ戦では簡単な試合ばかりではなく、僅差や終盤まで負けている状況など苦しい場面もありましたが、一番大切な勝ち続けられたことはとてもよかったと思います。三年生や四年生と試合ができる最後のリーグ戦ということもあり、雰囲気がよく、勝ちにこだわった試合ができていたのでとても楽しい期間を過ごせました。しかし、入れ替え戦では接戦ではあったものの、大事な場面でのミスから失点をし、ひっくり返すことができませんでした。今回の試合を経て、2部リーグの大学とは点差以上に実力の差を感じました。特に今後2部リーグに上がるためには個人とチーム両方のレベルアップが必須だと思います。三、四年生が引退した今、自分たちが中心となってやっていくという気持ちで来年の春リーグに向け準備していきたいと思います。

今回のリーグ戦や入れ替え戦にはほぼ全ての試合に出させていただいて、優勝争い

をしたこと、2部リーグの大学と戦えたことなど貴重な経験を多く積ませてもらいました。その中で自分が貢献できた部分、未熟だった部分をはっきりさせることができました。その中でも特に自分に足りないと感じたものはメンタルの強さです。リーグ戦での重要な場面でのミスや、チャンスや追い詰められた時の打席で結果を残すことができませんでした。技術や体力はもちろん、練習の時から自分にプレッシャーをかけ、チャンスに強い頼れる選手になれるよう頑張ります。

このリーグ戦では主力で出ていた先輩方が引退し、人数も少なくなって新チームとして始動するこのチームで今回の緊張感が抜けなかった、常に集中をしなければならなかったリーグ戦や入れ替え戦の経験を生かして新チームの中心として周りをプレーで引っ張っていけるような選手を目指し、まずは春リーグの優勝、そして今度こそ二部リーグに昇格できるよう精一杯努力していきます。



背番号 34

1年 木村宗一郎(きむらそういちろう)
愛知県 南山高校

秋のリーグ戦と入れ替え戦お疲れ様でした。リーグ戦は優勝することが出来ましたが、入れ替え戦は2連敗で3部残留という悔しい結果に終わりました。入れ替え戦初戦では、序盤までピッチャーが踏ん張ってくれていましたが守備のエラーなどからもったいない形で失点してしまい、攻撃面でもチャンスで点数を取りきることができませんでした。3.4年生は引退して1.2年生中心の新チームとなりますが、今回の敗戦の経験を活かして次のリーグ戦に向けてしっかりと練習をしていきたいです。オフシーズン中も守備力強化やチャンスで点を取りきる力をつけるため練習やトレーニングをして、僅差の試合も勝ちきれるようにしていきたいです。

個人としては、リーグ戦が始まった頃に野球部に入部し、1年のブランクがある中リーグ戦中盤頃から試合で投げさせて貰うことが出来ました。ですが、思ったように球がいかず、キャッチャーの要求どおりのピッチングが出来ませんでした。体力も落ちており、長いイニング投げる事が出来ずチームに貢献することが出来ませんでした。入れ替え戦では、一点差で負けている場面で登板しましたが、フォアボールからの失点という最悪な形で一点を失ってしまいました。チームに流れを持っていくことが出来ず、申し訳なかったです。オフシーズンでは、体重を増やし、トレーニングをしっかり行い筋力や出力を上げ、より安定したピッチングを行えるようにしていきたいです。また、長いイニング投げ切れるよう体力もしっかりとつけたいと思います。来年の春のリーグ戦では失点を最小限に抑え、長いイニング投げきりチームに貢献したいです。

もう一度リーグ戦を優勝し、入れ替え戦の切符を手にしたいです。入れ替え戦もしっかりと2試合勝ち切り、2部昇格を果たしたいです。2部では、いい打者が沢山いるので、そのような打者と沢山対戦し経験を積んでさらにいいピッチングが出来るように、日々頑張っていきたいです。



マネージャー

1年 水谷実心乙(みずたにみこと)
愛知県 西春高校

秋季リーグ、入れ替え戦お疲れ様でした。3部優勝おめでとうございます。私が野球部に入部して半年が経ちました。この半年間はとても充実していました。まず、夏の練習です。暑い中練習に励む選手を見る度に、2部昇格を果たして欲しいという思いが募っていきました。また、富山合宿では選手が野球と向き合う姿をより間近で見て、私もチームの1人として2部昇格のためにできることを考え直すきっかけとなりました。この秋のリーグでは初めて公式

戦のスコアを書かせていただきました。普段のオープン戦とは違い、リーグ戦は1試合も落とせない緊張感の中スコアに入り、初めてスコアに入らせていただく時は選手の皆さんの邪魔にならないように必死でした。しかし、徐々に勝ちを重ねるうちに、改めて野球の楽しさを感じる事が出来ました。特に、愛知教育大学戦のスコアに入らせていただいた時は、選手の勝ちたいという思いを全面に感じ、勝利した時は本当に嬉しかったのを覚えています。

入れ替え戦ではアナウンスをさせていただき、もう見れないかもしれない34年生のプレーをする姿しっかりと目に焼き付ける事が出来ました。惜しくも負けてしまいましたが、2部との差を改めて感じ、春に繋がる試合であったと思っています。春に2部昇格を果たすために、自分にできることを精一杯頑張ります。また、リーグ戦、入れ替え戦では、OBの方や保護者の方、選手の友人などたくさんの方々に応援していただき、支えられて、野球をできる環境があるのだと実感しました。本当にいつもありがとうございます。

最後に、歩乃佳さんには感謝しかありません。就活で忙しい中でも、歩乃佳さんが部活動のことをしっかりとこなす姿はとてもカッコ良かったです。歩乃佳さんの力になっていたのかは分かりませんが、歩乃佳さんと過ごしたこの半年間とても楽しかったです。

秋季オープン戦

8月18日 vs岐阜大学① 6-4●										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
岐阜	1	2	0	1	0	0	0	2	0	6
南山	0	0	1	2	0	1	2	0	0	4

8月18日 vs岐阜大学② 11-1○										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	0	2	0	0	7	1	0	0	11
岐阜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

8月19日 vs至学館大学 8-4○										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	0	0	1	0	3	1	2	0	8
至学館	1	0	0	0	0	0	0	3	0	4

8月22日 vs金沢大学 7-13○										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
金沢	0	0	0	0	0	3	1	3	0	7
南山	3	0	0	3	4	2	0	0	X	13

8月22日 vs富山大学 3-3△										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
富山	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3

8月26日 vs三重大学 1-3●										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
三重	0	0	0	0	0	3	0	0	X	3X

8月26日 vs三重大学 4-1●										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
三重	1	0	0	0	1	0	0	2	0	4
南山	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

ランキング

《秋季オープン戦》

【打撃部門】

●打率……西塚	0.34	32 打数	11 安打
●四死球…花井	5		
原科	5		
●打点……西塚	6		
近藤	6		
●盗塁……今福	4		
近藤	4		

【投手部門】

●防御率……小谷	0.4
●奪三振……小谷	25

《秋季オープン戦》

【打撃部門】

●打率……	1.西塚	0.34	32 打数	11 安打
	2.今福	0.33	33 打数	11 安打
	3.近藤	0.31	32 打数	10 安打
●四死球…1.花井	5			
1.原科	5			
3.西塚	4			
●打点……1.西塚	6			
1.近藤	6			
3.原科	5			
●盗塁……1.今福	4			
1.近藤	4			

【投手部門】

●防御率……1. 小谷	0.409
2.深谷陸	5.4
●奪三振……1. 小谷	25
2.深谷陸	11

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
名工	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
合計		0	0	0	5	0/5	1/5	2/5	3/7	1/2				
平均		2/32	14/32	4/32	43	15/32	9	10/32	19					

名工	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
名工	1	0	0	5	0	0	0	2	1					
	2	0	1	0	1	0	0	0	2					
南山	1													
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
合計		0	1	1/3	1/1	0	2/3	2/3	3/3	4/3				
平均		7	2/32	11/32	14/32	4	10/32	15/32	18	17				

		10月10日											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10月10日	1	1											
	2		1										
	3			1									
	4				1								
	5					1							
	6						1						
	7							1					
	8								1				
	9									1			
	10										1		
	11											1	
	12												1
合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
備考													

		10月10日													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
10月10日	1	1													
	2		1												
	3			1											
	4				1										
	5					1									
	6						1								
	7							1							
	8								1						
	9									1					
	10										1				
	11											1			
	12												1		
合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
備考															

V

Project Name: 11000		Activity												Start		Finish	
Activity	Description	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	Start	Finish		
1	Excavation																
2	Foundation																
3	Structure																
4	Roofing																
5	Interior																
6	Exterior																
7	Landscaping																
8	Final																
Summary		<p>24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35</p>															

V

Project Name: 11000		Activity												Start		Finish	
Activity	Description	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	Start	Finish		
1	Excavation																
2	Foundation																
3	Structure																
4	Roofing																
5	Interior																
6	Exterior																
7	Landscaping																
8	Final																
Summary		<p>24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35</p>															

秋季リーグ戦

秋季リーグ戦

- 9月2日 VS 名古屋市立大学
- 9月3日 VS 淑徳大学
- 9月9日 VS 大同大学
- 9月16日 VS 名古屋大学
- 9月17日 VS 愛知教育大学
- 9月24日 VS 名古屋外国語大学

打撃成績 規定打席数 16打席													
	打席数	打率	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁	
西塚	27	0.440	25	8	11	12	0	0	2	4	2	4	
小西	26	0.435	23	7	10	12	0	0	3	2	3	8	
片田	21	0.350	20	3	7	1	0	0	1	0	1	6	
今福	17	0.333	12	4	4	0	2	0	3	1	0	3	
小野	20	0.308	13	6	4	5	1	0	6	2	5	4	
花井	23	0.286	14	7	4	1	2	1	6	2	0	3	
近藤	27	0.136	22	8	3	1	0	0	5	3	2	3	
深谷	27	0.105	19	8	2	1	1	0	7	5	6	4	
投手成績 規定投球回数12回													
	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
森上	3.0682	14 2/3	61	52	14	2	1	5	1	10	0	5	5
小谷	4.5000	14	63	55	14	0	1	6	1	5	0	9	7

9月2日 名古屋市立大学 1-16〇					七回コールド					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名市	0	0	1	0	0	0	0			1
南山	0	0	0	1	3	12	×			16

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	9	4
6	小西	加納	29	2
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海星	8	2
7	原科	多治見	51	4
5	國井	加納	1	3
D	宇野	県立岐阜商業	10	3
4	片田	名東	21	3
2	花井	京都外大西	22	2
P	今福	市邨	25	1

9月3日 淑徳大学 9-12〇					七回コールド					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
淑徳	1	0	1	0	0	3	1	0	3	9
南山	0	10	1	1	0	0	0	0	×	12

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	9	4
6	小西	加納	29	2
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海星	8	2
D	原科	多治見	51	4
7	小野	杜若	2	4
4	今福	市邨	25	1
5	國井	加納1	1	3
2	花井	京都外大西	22	2
P	森上	名古屋	14	1

9月9日 大同大学 1-16〇					七回コールド					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
同	0	0	0	0	0	0	0			0
山	0	2	1	0	1	0	3×			7

位置	氏名	出身校	背番号	学年
8	近藤	至学館	3	4
3	深谷浩	知立東	9	4
6	小西	加納	29	2
9	西塚	三重海星	8	2
D	谷口	西尾	20	4
7	小野	杜若	2	4
5	國井	加納	1	3
4	片田	名東	21	3
2	花井	京都外大西	22	2
P	小谷	至学館	18	2

9月16日 名古屋大学 〇10-4										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
山	0	0	5	1	0	1	3	0	0	10
古屋	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷	知立東	9	4
6	小西	加納	29	2
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海	8	2
D	原科	多治見	51	4
7	小野	杜若	2	4
5	片田	名東	21	3
4	今福	名経大市邨	25	1
2	花井	京都外大西	22	2
P	小谷	至学館	18	2

9月17日 愛知教育大学 4-5〇										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛教	0	0	0	0	2	1	0	0	1	4
南山	0	0	2	0	0	0	0	3	×	5

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	9	4
6	小西	加納	29	2
8	近藤	至学館	3	4
9	西塚	三重海星	8	2
5	片田	名東	21	3
7	小野	杜若	2	4
D	宇野	県立岐阜商業	10	3
4	今福	市邨	25	1
2	花井	京都外大西	22	2
P	森上	名古屋	14	1

月24日 名古屋外国語大学 1-10〇 7回コールド

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名外	0	0	0	0	0	1	0			1
南山	1	1	1	3	4	0	×			10

位置	氏名	出身校	背番号	学年
3	深谷浩	知立東	9	4
6	小西	加納	29	2
D	宇野	県立岐阜商業	10	3
9	西塚	三重海星	8	2
5	片田	名東	21	3
8	近藤	至学館	3	4
4	今福	市邨	25	1
7	小野	杜若	2	4
2	花井	京都外大西	22	2
P	森上	名古屋	14	1

ランキング

《秋季リーグ戦》

【打撃部門】

- 打率……西塚 25 打数 11 安打 0.44
- 四死球…深谷浩 7
- 打点……西塚 12
小西 12
- 盗塁……深谷浩 7

【投手部門】

- 防御率……森上 3.06
- 奪三振……森上 10

《秋季オープン戦》

【打撃部門】

- 打率……1. 西塚 25 打数 11 安打 0.44 2. 小西 23 打数 10 安打 0.43 3. 片田 20 打数 7 安打 0.35
- 四死球…1. 深谷浩 7
2. 小野 6
2. 花井 6
- 打点……1. 西塚 12
1. 小西 12
2. 小野 5
- 盗塁……1. 深谷浩 5
1. 西塚 4
1. 近藤 3

【投手部門】

- 防御率……1. 森上 3.06
2. 小谷 4.50
- 奪三振……1. 森上 10
2. 小谷 5

年月日	種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
1992.10.1
1992.10.2
1992.10.3
1992.10.4
1992.10.5
1992.10.6
1992.10.7
1992.10.8
1992.10.9
1992.10.10
1992.10.11
1992.10.12
合計		0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	10
平均		1	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3

年月日	種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
1992.10.1
1992.10.2
1992.10.3
1992.10.4
1992.10.5
1992.10.6
1992.10.7
1992.10.8
1992.10.9
1992.10.10
1992.10.11
1992.10.12
合計		0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	5
平均		0	0	1/3	0	0	0	0	0	1/3	0	0	0	1/3

強化試合

強化試合

10月8日 vs至学館大学

打撃成績 規定打席数 3打席

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
宇野	0.5	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0
近藤	0.25	4	4	0	1	0	0	0	0	0	1	1
小野	0	3	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0
小西	0	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
原科	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0
西塚	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0
花井	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0

投手成績 規定投球回数 2回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
森上	15	3	17	13	7	1	1	1	1	0	0	5	5
深谷陸	4.5	2	8	5	0	2	0	2	0	0	0	1	1

10月8日 vs至学館大学 ●0-7

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
至学館	1	3	1	0	0	1	0	1	×	7

ランキング

《強化試合》

【打撃部門】

- 打率……宇野 2 打数 1 安打 0.5
- 四死球…花井 3
- 打点……なし
- 盗塁……なし

【投手部門】

- 防御率……深谷陸 4.5
- 奪三振……なし

《強化試合》

【打撃部門】

- 打率…… 1. 宇野 2 打数 1 安打
2. 近藤 4 打数 1 安打
- 四死球… 1. 花井 3
2. 小野 1
2. 宇野 1
- 打点…… 1. なし
- 盗塁…… なし

【投手部門】

- 防御率……1. 深谷陸 4.5
2. 森上 1.5
- 奪三振……なし

入れ替え戦

入れ替え戦

10月21日 vs 日本福祉大学

10月22日 vs 日本福祉大学

打撃成績 規定打席数 7 打席

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
深谷	0.375	9	8	1	3	2	0	0	1	2	1	3
近藤	0.111	9	9	0	1	0	0	0	0	0	2	0
小西	0.000	8	7	1	0	0	0	0	1	0	2	0
西塚	0.200	8	5	1	1	1	0	0	3	0	1	0
花井	0.143	7	7	1	1	0	0	0	0	0	1	1
小野	0.333	7	6	1	2	1	0	0	1	0	2	0
今福	0.167	7	6	1	1	0	0	0	1	0	1	0

投手成績 規定投球回数 4回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
小谷	0	7	33	27	9	1	1	3	1	5	0	3	0
深谷陸	5.4	5	26	19	7	3	0	4	0	3	0	4	3

日本福祉大学 4-2 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
日福	0	0	0	0	1	1	1	1	X	4

10月22日 日本福祉大学 14-7 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
日福	4	1	1	1	1	0	0	2	4	14
南山	0	0	5	0	1	0	0	1	1	7

ランキング

《入れ替え戦》

【打撃部門】

- 打率……深谷浩 8 打数 3 安打 0.37
- 四死球…西塚 3
- 打点……深谷浩 2
- 盗塁……深谷浩 2

【投手部門】

- 防御率……小谷 0
- 奪三振……小谷 5

《入れ替え戦》

【打撃部門】

- 打率……1. 深谷浩 5 打数 3 安打 0.37
 - 2. 小野 6 打数 2 安打 0.33
 - 3. 西塚 5 打数 1 安打 0.2
- 四死球…1. 西塚 3
 - 2. 深谷 1
 - 2. 小西 1
 - 2. 今福 1
 - 2. 小野 1
- 打点……1. 深谷 2
 - 2. 西塚 1
 - 2. 小野 1
- 盗塁……2. 深谷 2

【投手部門】

- 防御率……1. 小谷 0.0
- 奪三振……1. 小谷 5

2023年10月22日
 秋季リーグ 入籍戦
 (対戦) 高松成章

日本福祉大学対 南山大学

日誌	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	投手			捕手		
1	上木																	
2	高橋																	
3	加中																	
4	岡田																	
5	豊																	
6	山本																	
7	香																	
8	大																	
9	大																	
10	大																	
11	大																	
12	大																	
投手		3	3	2	2	4			2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
捕手		4	1	5	1	1	6	1	7	1	8			3	0	0	0	0
その他		3	2	1	5	1	1	7	1	8			3	0	0	0	0	0

投手: 上木 3回, 高橋 3回, 加中 2回, 岡田 2回, 豊 4回, 山本 1回, 香 2回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

捕手: 加中 4回, 岡田 1回, 豊 5回, 山本 1回, 香 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

その他: 上木 3回, 高橋 2回, 加中 1回, 岡田 5回, 豊 1回, 山本 7回, 香 1回, 大 8回, 大 3回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

投手: 上木 3回, 高橋 3回, 加中 2回, 岡田 2回, 豊 4回, 山本 1回, 香 2回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

捕手: 加中 4回, 岡田 1回, 豊 5回, 山本 1回, 香 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

その他: 上木 3回, 高橋 2回, 加中 1回, 岡田 5回, 豊 1回, 山本 7回, 香 1回, 大 8回, 大 3回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

日本福祉大学

対戦 南山大学

日誌	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	投手			捕手		
1	南山																	
2	小山																	
3	山本																	
4	西																	
5	山																	
6	山																	
7	山																	
8	山																	
9	山																	
10	山																	
11	山																	
12	山																	
投手		4	1	1	1	1	0	0	2	1			1	1	1	1	1	1
捕手		0	0	5	0	1	0	0	1	1			1	1	1	1	1	1
その他		0	0	5	0	1	0	0	1	1			1	1	1	1	1	1

投手: 南山 4回, 小山 1回, 山本 1回, 西 1回, 山 0回, 山 1回, 山 1回, 山 1回, 山 2回, 山 1回, 山 1回, 山 1回, 山 1回

捕手: 山本 5回, 西 1回, 山 1回

その他: 上木 5回, 高橋 0回, 加中 1回, 岡田 0回, 豊 1回, 山本 1回, 香 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

投手: 南山 4回, 小山 1回, 山本 1回, 西 1回, 山 0回, 山 1回, 山 1回, 山 1回, 山 2回, 山 1回, 山 1回, 山 1回, 山 1回

捕手: 山本 5回, 西 1回, 山 1回

その他: 上木 5回, 高橋 0回, 加中 1回, 岡田 0回, 豊 1回, 山本 1回, 香 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回, 大 1回

年度	令和2年春	令和2年秋	令和3年春	令和3年秋	令和4年春	令和4年秋	令和5年春	令和5年秋		
1部		中京大	名城大学	中京大学	名城大学	名城大学	中京大学	中京大学	名城大学	名城大学
		名城大	東海学園大学	中部大学	愛知学院大学	愛知学院大学	中部大学	名城大学	愛知学院大学	愛知学院大学
		愛知工業大	中部大学	愛知学院大学	愛知工業大学	中部大学	中部大学	中京大学	愛知工業大学	愛知工業大学
		中部大	愛知工業大学	名城大学	愛知工業大学	中部大学	愛知工業大学	愛知工業大学	愛知工業大学	中部大学
		愛知学院大	愛知学院大学	愛知工業大学	愛知工業大学	中部大学	愛知工業大学	愛知工業大学	愛知工業大学	中部大学
		東海学園大	中京大学	愛知産業大学	東海学園大学	愛知学院大学	愛知学院大学	愛知学院大学	愛知学院大学	中京大学
		愛知東邦大	名城大学	東海学園大学	愛知産業大学	愛知産業大学	愛知学院大学	愛知学院大学	愛知学院大学	名古屋学院大学
		愛知産業大	愛知東邦大学	愛知東邦大学	日本福祉大学	愛知東邦大学	名古屋学院大学	同朋大学	愛知大学	愛知大学
		至学館大	愛知大学	名古屋学院大学	名古屋学院大学	名古屋学院大学	至学館大学	愛知産業大学	愛知産業大学	名古屋産業大学
		名古屋大	至学館大学	愛知産業大学	名城大学	至学館大学	東海学園大学	至学館大学	愛知産業大学	愛知産業大学
2部A	コロナにより中止	愛知学院大	名古屋産業大学	名古屋産業大学	至学館大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学
		同朋大	同朋大学	至学館大学	同朋大学	同朋大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学
		日本福祉大	愛知産業大学	名古屋産業大学	日本福祉大学	愛知大学	愛知産業大学	東海学園大学	同朋大学	同朋大学
		名城大	名古屋学院大学	名古屋産業大学	愛知大学	同朋大学	日本福祉大学	日本福祉大学	名城大学	名城大学
		名古屋学院大	名古屋大学	愛知教育大学	名古屋学院大学	愛知産業大学	愛知産業大学	名古屋学院大学	名古屋学院大学	東海学園大学
		愛知大	日本福祉大学	愛知東邦大学	愛知教育大学	愛知産業大学	愛知産業大学	名古屋学院大学	名古屋学院大学	名古屋学院大学
		名古屋商科大	名古屋商科大学	名古屋大学	名古屋商科大学	名古屋商科大学	名古屋商科大学	名古屋商科大学	名古屋商科大学	至学館大学
		名古屋産業大	名古屋経済大学	愛知教育大学	名古屋経済大学	名古屋産業大学	愛知教育大学	名古屋経済大学	名古屋経済大学	名古屋工業大学
		名古屋経済大	愛知教育大学	名古屋経済大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋産業大学	名古屋工業大学
		愛知淑徳大	名古屋工業大学	南山大学	名古屋工業大学	名古屋工業大学	愛知淑徳大学	南山大学	名古屋工業大学	名古屋工業大学
3部A		愛知教育大	愛知淑徳大学	愛知淑徳大学	愛知淑徳大学	南山大学	名古屋外国語大学	愛知教育大学	愛知教育大学	愛知教育大学
		南山大	名古屋外国語大学	名古屋外国語大学	大岡大学	大岡大学	名古屋外国語大学	愛知淑徳大学	名古屋外国語大学	名古屋外国語大学
		名古屋市立大	名古屋市立大学	大岡大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学
		大同大	大同大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学	名古屋市立大学
			愛知技術科学大学							愛知技術科学大学
			※3部総当たり戦							※3部総当たり戦
			※3部総当たり戦							※3部総当たり戦
			※3部総当たり戦							※3部総当たり戦
			※3部総当たり戦							※3部総当たり戦
			※3部総当たり戦							※3部総当たり戦
3部B										
上南戦	コロナにより中止		コロナにより中止		○		○	○		
卓優秀賞										
取組賞					森下翔都			西塚利晴		
優秀打者						森下翔都				
	*は回率を表す。		*は回率を表す。		*は回率を表す。		*は回率を表す。			

南山大学硬式野球部OB会 南友会 会則

第1章 名称

第1条 本会は南山大学硬式野球部OB会南友会と称す

第2章 目的

第2条 本会はOB間の親睦を図り、現役に対し、指導援助を行う

第3章 会員

第3条 本会は南山大学硬式野球部卒業生および、それに準ずる者を会員とする

第4条 本会は下記の役員を選出する

- ① 会長 1名
- ② 副会長 若干名
- ③ 会計 1名
- ④ 監事 1名
- ⑤ 理事 若干名
- ⑥ 顧問 若干名
- ⑦ 幹事 若干名
- 女性担当幹事 若干名（4年に1名程度とし息のかかる状態が望ましい）
- 半年担当 卒業年度に各1名
- ⑧ その他必要と認められた役員を選任する
- 名誉会長 相談役
- ⑨ 役員の本任を妨げない

第5条 会長は会務を総括し、副会長は会長を補佐し、会長に支障あるときはこれに代わる

第6条 役員の本任は4年とする 但し留任を妨げない

第4章 行事

第7条 第2条の目的を達成するために下記の行事を行う

- ① 総会は、4年に1回行う
- ② 臨時総会は必要に応じて行う
- ③ 役員幹事会は毎年1回以上行う
- ④ 年1回以上の現役対抗OB戦を行う

第5章 運営

第8条 総会及び役員幹事会の決定は、出席会員の過半数の賛成によって成立する

第9条 本会の事務局は会長指定のところに置く

尚、口座所在地は会計担当宅にすることを可とする

第10条 事務局は会員への連絡並びに庶務を行い会の事務を運営する

第11条 幹事、半年担当は、会の要請により会員への連絡を依頼された場合速やかに対応する

第12条 本会の会務は南山大学硬式野球部部報/OB会南友会会報或いは報告書をもって会員に報告する

第6章 会費

第13条 会員は会費を納めなければならない

本会の会費は

卒業初年度 3,000円（1口以上）

卒業2年以上 5,000円（1口以上）

女性会員 3,000円（1口以上）

第14条 本会の会計年度は、4月1日から3月31日までとする

第15条 会計監事は年1回 毎年3月の定例役員幹事会で承認をうける

第7章 会則の変更

第16条 会則の変更は、役員幹事会において決定する

第8章 実施

第17条 本会則は平成14年4月1日より実施する

平成20年4月1日 第4条改正

平成23年3月26日 第4条・第6条・第7条改訂

令和1年9月14日 第9条改訂

【読：後輩の皆さんへエールを込めて】 ～東京読売ジャイアンツ編：PART 2～

昭和55年卒業 藤部弘敏

皆さん、大変ご無沙汰しております。お元気のことと思います。
前回、寄稿させて頂いてから早3年が経とうとしています。
今回は、前回の続編になりますが、私が勤めていたミズノスポーツで、
読売ジャイアンツを担当した時の苦い失敗談や記憶に残っている
お話をしたいと思います。
少しばかり古いお話で恐縮ですが、お許し下さい。



【ポイント1：福岡県選手クラブ事件】

今でもよく覚えている苦い思い出があります。
確か昭和62年のシーズンも終了した日に、東京ドームのロッカーで、当時名二選手で鳴らした藤塚選手から
来シーズンの為に、1年間使用したグラブのオーバーホールを依頼されました。早速、私は兵庫県にある工場へ送り
グラブ名人にそのお願いをし、2週間程で私の手元に戻ってきました。さすが名人が対応してくれたお陰で
見事にオーバーホールされたグラブでした。数日後、そのグラブを持参して藤塚選手に渡した途端に、ひどく怒られたのです。
その理由は、グラブの全ての革紐を新品に変えてしまっていたからなのです。
温厚な藤塚選手からは、「革紐を替えると手を入れた時にフィーリングが変わるので替えて欲しくなかった」と強く
言われた事を覚えています。
まだ一軍担当の経験が浅かった私は、選手に確認もせずに対応した事が原因でした。
グラブは藤塚選手にとって体の一部であり、大切な武器だったのです。
私はこれが一流のプロなんだと、その時初めて悟った瞬間でした。
この経験から、選手からのどの様な些細な依頼事でも、必ず確認を取る事を学びました。

【ポイント2：原辰徳選手のバットの思い出】

今シーズンで監督を退任された原選手は、プロ野球選手の中で、最も好きな選手の一人でした。
当時スーパースターの原選手は、使用するバットには非常に拘りを持っていた選手で、担当の私も非常に神経を使っ
ていた記憶があります。
と言うのも、シーズン中、打撃の調子が落ちたり感覚がおかしいと感じた時は、すぐにバットの重さや長さはもちろん
グリップ部の太さ、グリップエンドの大きさや打球部の修正と頻りに型変更の依頼がありました。
色々、バット工場の担当者には削って貰いましたが、やはりシーズン最初に作ったバットが一番いいと落ち着いたり
振り回されたりもしました。
その時のバット担当者曰く、その当時のミズノ使用選手の中で最もバットの型が多い選手だったと言われましたね。
確か私の記憶では、型としては10タイプ程があったかと思うのバット担当者も、なかなか大変であったと思います。
しかし前述の藤塚選手同様、道具への拘りがあったこそ素晴らしい記録を残す事が出来たと思います。
やはり一流選手の証であると感じた次第です。

後輩の皆さんも、自分が使用する道具には興味を持ち大切にしたいですね。

【近況報告として】

現在、私は今春から岐阜市内にあるミズノグループのスポーツセンターに勤務しています。
ここでは、13種のスポーツスクールがあり、子供さんからご年配の方が元気に楽しくスポーツをされています。
皆さんを見ていると、やはり健康が一番と感じます。
私も、時間があるとサイクリング、トレッキング、ゴルフ、旅行等ととにかく動き回っています。
後輩の皆さんはじめOBの方々も、野球はじめいろいろなスポーツを通して健康を維持していきましょう！

最後になりましたが、南友会の益々の発展と野球部の皆さんの一層のご活躍をお祈りしています。

「人との出会いを大切にしてください」

令和3年卒業の新田翼と申します。
大変恐縮では御座いますが、
現役選手の皆様に激励の言葉を送らせていただきます。

南山大学硬式野球部に入部してからの約3年間、試合出場機会はそれほど多くはありませんでした。それでも諦めずに続けられたのは、同期はもちろんのこと、大学の垣根を越えて出会った選手、横江監督、先輩方、後輩、素敵な皆さんと野球をすることが楽しかったからです。



また、大学3年の春リーグが終わったタイミングで、半年間のオーストラリア留学を決意しました。当時のキャプテン、主将、マネージャーを含めた同級生を驚かす形にはなりましたが、それでも応援してくれた仲間から感謝しておりますし、オーストラリアで出会ったローカル人と今でも交友関係が続いているのは言うまでもありません。

南山大学法学部を卒業後、トヨタグループの商社に入社・退社後、ご縁がありましてフィリピンに移住しました。そして現在はマレーシア（クアラルンプール）と日本の2拠点生活をしております。学生時代、まさか自分が海外で会社をやりながら過ごしているなんて、思ってもいなかったのが正直な気持ちですし、自分が1番驚いています。経路曲折がありながらもこうして楽しくマレーシアで過ごせているのは、支えてくれる人、関わってくれる人がいるからこそだと、感謝の気持ちしかありません。

僕のようなことは言えませんが、皆さんより少しだけ先に得ている自分が一つだけお伝えするとしたら、冒頭にもお伝えしたように「人との出会いを大切にしてください。」

社会人になると学生の頃に比べて、数多の人と関わる機会があります。もちろん馬が合う人もいれば、自分が苦手だなあ。嫌だなあ。と思う人と出くわすことがあります。会社であれば同じ組織内で付き合っていかなければいけませんし、メンタル的にきつい場面も多々あるかと思えます。人の悩みの9割は人間関係から来ると言われているぐらいなので、...

それでもなお「一期一会」だと思って、学生のうちから人の良いところを見つける癖をつけておくの良いと思います！これは僕が海外で過ごす上で1番大切にしている対人関係における考え方なので実践してみてくださいね。これまで野球部で出会った同級生、先輩、後輩はもちろんのこと学部の友達、アルバイト先の人、これから出会う全ての人にはきっと一度きりの人生の中で、何かしらの霊感があると思いますので、「ご縁」を大切に過ごしてください。この長い文章を読んで頂きありがとうございました。

世界のどこかでお会いできる日を楽しみにしております！

こんにちは。令和2年卒の筒井と申します。
今回、寄稿させていただく機会をいただきましたので、
曾越では御座いますが現役の皆さんへのメッセージと
して書かせていただきます。

私が南山大学へ入学したきっかけの1つとして、
硬式野球がしたいという理由がありました。

この事から、入学後は他の部活、サークルの勧誘には
一切目もくれず硬式野球部のブースへ行き入部を決めました。

入部後に感じたのは、日々の練習において監督・コーチはおらず選
手主体で活動するチームでしたので、成長するためには自分で考えて
練習に取り組む必要があるということです。

悪い言い方をすればサボろうと思えばいくらでもサボれる環境でも
あると思います。振り返ってみれば、私が1,2年生のときはあまり考えるということができておらず、ただ
こなすだけの練習になっていたことが多かったと思います。

意識が変わったきっかけとしては、新チームで成瀬がキャプテンになったことでした。
成瀬がチームをよくしたい、2部昇格したいという強い思いが、私自身もこのままじゃダメだと再認識さ
せてくれました。また、私自身も主将を務めさせていただき、チームの運営にも関わることになり、
日々の練習、試合ができるのは当たり前ではないということも実感しました。特に南山大学は野球部の
グラウンドがないため、練習場の確保等、マネージャーさんが見えないところで動いてくださっています。

意識が変わって何を考えるようになったのかということですが、大きく2つあります。

1つ目は野球に対してですが、これが正解というものはないと思いますので参考程度にさせていただければ
と思います。例えば、練習では全ての動作において何ができたからうまくできた、何ができなかったか
らうまくできなかったのかを考えるように意識しました。個人的にはただ練習をこなすだけでなく、こ
ういったことを意識することで送球や打球の質向上ができたのではないかと思います。

2つ目はチームのために何ができるかということを中心に考えるようにしたことです。
個人のことだけ考えるのではなく、チームのためにという意識を持つことで視野を広くすることにもつ
ながるかと思います。先ほども書かせていただきましたが、下自由なく練習・試合ができることを当たり前
と思わず、少しでも良いのでチームのためになる行動を取ってほしいと思います。野球にも必ず生き
てくると思います。

現在、私は大学卒業してから、はや3年が経ち、社会人4年目の日々を過ごしておりますが、南山野球
部で過ごした時間を時折振り返り、今でも戻りたいと思うことがあり、現役の皆さんを羨ましく思いま
す。南山大学野球部で過ごす今の時間を大切に悔いのないように楽しんでやりきってくださいとい
うのが一番お伝えしたい思いです。また同時に支えてくださっている方々への感謝も忘れないでくださ
い。私も陰ながら応援させていただきます。



2023役員組織表及び会員数

卒業	役職	氏名	役割分担
昭39	相談役	三輪 隆介	
昭43	相談役/会計監査	森本 侑	
昭45	相談役	早川 和久	
昭45	相談役	光島 敏	
昭55	相談役	廣田 仁志	
昭55	相談役	長谷川和香代	女性部長
昭60	相談役	新谷 福男	
昭60	会長	大橋 恵一	総務担当事務局長/会報編集担当
昭61	副会長	桑原 浩彰	中間層担当
昭62	副会長	秋葉 寛	中間層担当
昭62	理事	秋葉 奈緒美	女性副部長/中間層女性会員担当
平10	理事	木村 友浩	若年層会員&現役担当
平13	理事/監部	横江 光彦	監部/若年層会員&現役担当
平15	理事	近藤 友樹	若年層会員担当
平16	理事	横田 智成	若年層会員担当
平16	理事	横田 麻衣子	会計兼任/女性副部長/若年層女性会員担当
平19	理事	山口 美美花	女性副部長/若年層女性会員担当
平22	理事	前川 卓哉	若年層担当
平29	理事	山崎 智輝	若年層担当
令02	理事/会計	成瀬 弘樹	若年層/OB顧問担当
	部長	西岡 淳	
	主幹	宇野 敏基	
	副主幹	小野 裕心	
	副主幹	花井 慧汰	
	主務	柴 蒼輝	
	マネージャー	岡本 歩乃佳	

令和5年7月末現在

卒業	役職	氏名	卒業	役職	氏名	人数	数人	所在相対数		所在不対数		02 会費	03 会費	04 会費
								男性	女性	男性	女性			
			昭24	学件担当	清水 亨	6	4	1		1				
			昭25	学件担当		5	2	2		1				
			昭26	学件担当	藤井 達男	4	3	0		1				
			昭28	学件担当	廣田 敏	4	1	3						
			昭29	学件担当		4	3	1						
			昭30	学件担当		9	6	3						
			昭31	学件担当		3	2	1						
			昭32	学件担当		4	2	0		2				
			昭33	学件担当	加藤 稔	3		2		1		1		
昭35	幹事	山田 太満彦	昭34	学件担当	山田 太満彦	10	3	6		1		3	3	3
			昭35	学件担当	川上 健三	3	2	1						
			昭36	学件担当	内田 嘉章	3		3						
			昭37	学件担当		4	4	0						
昭39	相談役	三輪 隆介	昭38	学件担当	松原 立亜	8	1	7					1	1
			昭39	相談役	三輪 隆介	7	2	5				1	1	1
			昭40	学件担当	市江 富士夫	6	2	3		1				
			昭41	学件担当	井上 正幸	4	1	2		1				
			昭42	学件担当	中島 元	7	2	5				1	1	1
昭43	相談役	森本 侑	昭43	相談役	森本 侑	4		4				2	2	2
			昭44	学件担当	三井 隆一	13	1	10		2		2		

卒歳	役職	氏名	卒歳	役職	氏名	人数	故人	所在不明数		所在不明数		02 会費	03 会費	04 会費
								男性	女性	男性	女性			
平20	幹事	白石 直大	平20	学年担当	白石 直大	7		5	2			1	1	1
			平20	委員	加藤 文博									
			平20	女性委員	富山 直美									
平21	幹事	小寺 貴久	平21	学年担当	小寺 貴久	8		6	1	1				
			平21	委員	大口 友樹									
			平21	女性委員	谷 香織									
平22	理事	前川 卓哉	平22	理事	前川 卓哉	9		6	2	1		1	1	1
			平22	委員	堀 勇士									
			平22	女性委員	経路 祐梨									
平23	幹事	西山 貴陽	平23	学年担当	西山 貴陽	13		10	2		1			
			平23	委員	渡邊 真也									
			平23	女性委員	橋本 純奈									
平24	幹事	富田 大嗣	平24	学年担当	富田 大嗣	7		6	1					
			平24	委員	高木 一憲									
			平24	女性委員	長尾 香葉									
平25	幹事	浅野 郁己	平25	学年担当	浅野 郁己	15		8	1	5	1			
			平25	委員	町田 潤									
			平25	女性委員	長谷川 奈実									
平26	幹事	浜 榮優	平26	学年担当	浜 榮優	11		7	2	2				
			平26	委員	大島 啓徳									
			平26	女性委員	垣見 友美									
平27	幹事	清水 大志	平27	学年担当	清水 大志	12		8	1	3				
			平27	委員	出口 敦嗣									
			平27	女性委員	橋 照美									
平28	幹事	宮本 聖也	平28	学年担当	宮本 聖也	11		7		3	1			
			平28	委員	伊藤 洋祐									
			平28	女性委員	藤原 美帆									
平29	理事	山崎 智輝	平29	理事	山崎 智輝	12		8	1	3	2		1	
			平29	女性委員	永田 友孝									
平30	幹事	南 徳宏	平30	学年担当	南 徳宏	10		8	2					
			平30	女性委員	小野寺香帆									
平31	幹事	藤原 慎之介	平31	学年担当	藤原 慎之介	7		6		1				
令02	理事 若年層担当	成瀬 弘樹	令02	学年担当	成瀬 弘樹	10		9	1			3	4	2
			令02	女性委員	神谷 美咲									
令03	幹事	梶野 駿太郎	令03	学年担当	梶野 駿太郎	15		13	1	1			3	1
			令03	女性委員	今村 和香									
令04	幹事	畑 花穂	令04	学年担当	畑 花穂	10		9	1					1
			令04	女性委員	武藤 理沙									
令05	幹事	田之岡 幸祐	令05	学年担当	田之岡 幸祐	8		7	1					
			令05	女性委員	濱田 美香									
小計						532	48	366	45	65	8	71	72	66

会費納入分布

(差し、令和5年3月末時点の状況です)

70才以上(~S49)

11/77=14.3%

60才以上(~S59)

15/51=29.4%

50才以上(~H6)

18/65=27.7%

40才以上(~H16)

8/57=14.0%

30才以上(~H26)

9/79=11.4%

22才以上(~R4)

5/75=6.7%

88/404=18.3%

※50才以上の納入者が2/3。(44名)

合計	故人	所在不明数		所在不明数	
		男性	女性	男性	女性
	48	366	45	65	8
	48	411		73	
48	484				
532					

商友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		種	氏名	役職	
昭24	故人		加藤 正八		
	故人		加藤 昭久夫		
	故人		加藤 英一		
	所在不明	特	清水 亨	学年推進	
	故人		中島 邦和		
昭25	故人		白田 治郎		
	所在不明		大久保 正		
	故人		神田 治康		
	故人		池 貞彦	(元名譽会長)	
昭26	故人		平田 徳		
	特		池 隆一		
	故人		岩井 一郎		
	故人	特	原田 博		
昭28	所在不明		藤井 達男	学年推進	
	故人		白田 茂之		
	故人		加藤 健雄		
昭29	故人		小池 源之		
	特		原田 敏	学年推進	
	故人		白田 博幸		
昭30	故人	特	原田 清彦	(元学年推進)	
	故人		一丸 達彦		
	故人		加藤 正純		
昭31	故人		石川 定彦		
	故人		大西 博		
	故人	特	竹内 昇右		
	故人		富田 岸一		
	故人		藤村山 敏久		
	故人		藤村 隆		
	故人		水野 晃男		
	故人		宮崎 隆		
昭32	故人		白田 隆彦		
	故人		白田 和夫		
	故人	特	加谷 隆		
昭33	故人	特	藤山 隆成	(元相談役/学年推進)	
	故人	特	藤村 隆彦		
	所在不明		石川 隆彦		
昭34	故人		佐藤 敏地郎		
	故人		山本 泰弘		
	所在不明	特	白鳥 弘		
	特		加藤 隆	学年推進	
昭35	所在不明		原田 晋市		
	所在不明		三島 明雄		
	所在不明		原田 博一		
			岩崎 隆生		
			小川 和夫		
			久野 隆一		
	故人		加藤 隆男		
			近藤 泰雄		
昭36		特	高木 健郎		
	故人	特	藤 隆八郎		
	故人		村上 源郎		
			山田 太郎彦	学年推進	
	故人		小野 秀夫	(元相談役)	
昭37	故人	特	加藤 英二		
			川上 隆三	学年推進	
		特	内田 隆幸	学年推進	
昭38			藤村 隆彦		
			高島 隆二		
	故人		赤野 昇	学年推進	
昭39	故人		西村 晋介		
	故人	特	藤原 敏彦		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業	幹	氏名	役職	
	故人	近藤 重治		
昭38		池 幸生		
		藤原由 茂幸		
		竹内 三郎夫		
		田中 重治		
		長谷川 齊		
	幹	平林 和康		
	故人	牧野 照樹		
	植原 立置	幹年副副		
昭39	故人	井上 和夫		
		大野 由三		
		近藤 隆金		
	故人	赤倉 孝二		
		藤井 夏		
	幹	市橋 勝		
	三輪 龍介	相談役		
昭40		市江 富士夫	幹年副副	
	故人	近藤 秀典		
	故人	南水 弘明		
	所在不明	藤井 匠		
		松岡 誠幸		
	幹	和田 新一		
昭41	幹	井上 正幸	幹年副副	
	故人	水戸 誠一郎		
		鈴木 武彦		
	所在不明	藤 隆幸		
昭42		浅井 高一		
		伊藤 正雄		
	幹	内田 孝彦		
	幹	中島 晃	幹年副副	
	故人	水谷 伊藤夫		
		水野 和近		
	故人	藤月 隆年		
昭43	幹	神谷 隆二		
		白木 敏雄		
		鈴木 貞二		
	幹	藤本 浩	相談役/会計兼務	
昭44		小川 廣夫		
		木金 廣勝		
	故人	久野 正男		
		高木 祥彦		
		竹内 誠和		
		藤永 嘉		
		三井 龍一	幹年副副	
	所在不明	山内 次		
		山田 治美		
	所在不明	山田 豊		
		山田 隆雄		
	山本 哲也			
昭45	幹	渡辺 誠典		
		小川 真彦		
	所在不明	河村 隆		
		徳村 好人		
	幹	早川 和久	相談役	
	光島 隆	相談役		
昭46		各務 秀次		
	幹	佐藤 誠徳	幹年副副	
	故人	渋谷 哲也		
	故人	橋本 英夫		
	所在不明	藤崎 幸徳		
所在不明	長谷川 伸幸			

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		種	氏名	役職	
			藤川 友典		
第47	故人	帝	宇佐美 和希		
	故人		藤野 正史		
			小林 典		
			西田 隆昭		
	所在不明		林 晋夫		
	故人	藤	渡辺 政隆	学年担当	
第48		帝	木村 秀夫	学年担当	
		藤	藤本 正雄		
第49			天壽 謙通		
			藤野 良太		
			井上 孝一		
			尾崎 和洋		
		▽	尾崎 栄子		
			小林 史典		
		帝	藤田 裕光	学年担当	
第50		藤	前田 準治	学年担当	
		帝	鈴木 直明		
	所在不明		藤口 貞美		
			和田 宗雄		
第51		帝	藤野 隆二		
		藤	山口 幸彦	学年担当	
第52			大塚 真一		
		帝	原 啓秀	学年担当	
			伊藤 隆友		
			岡本 金雄		
第53		藤	石原 啓明		
		帝	甲村 隆	学年担当	
			鎌田 豊伸		
			藤野 誠夫		
第54		藤	小塚 隆	学年担当	
	故人		藤 俊明		
		帝	藤 英雄		
第55		帝	岩田 仁吉	相談役	
			中田 伸明		
			小林 隆昭		
			汐路 宗雄		
			藤田 隆典		
		▽	長谷川和信代	相談役/ 女性部長	
			藤野 弘敏		
			平塚 隆雄		
第56		帝	石田 真一	学年担当	
			赤川 和男		
	所在不明	▽	上野 敏子		
			藤田 弘行		
			尾崎 政彦		
			藤野 幸彦		
			赤田 富久		
			藤柴 晋介		
第57	所在不明	藤	渡井 敏治		
			石川 浩		
			内山 博英		
		帝	上野 敏市	学年担当	
			岡本 久直		
		藤	藤 昭彦		
			長島 剛		
		佐藤 晋一郎			

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		種	氏名	役職	
			佐藤 直幸		
昭58	所在不明		上野 浩		
	所在不明	▽	宇佐美ゆき子		
	所在不明		大島 久		
		監	黒森 直樹	学年担当	
			黒井 孝		
			佐井 純平		
	所在不明		鎌田 展也		
			鎌吉 晋		
			古川 高直		
		得	山川 誠		
昭59	所在不明		久野 勇市		
		▽	小島 由樹枝		
			小林 正孝		
			杉浦 謙敬		
		監	黒井 剛		
			佐藤 高直		
			山崎 英次		
		得	山田 誠	幹事	
	所在不明		山寺 正昭		
昭60			伊藤 武彦		
			大池 神智		
			大島 直一	会長/事務局長/金庫担当	
			金本 順成		
			島田 和典		
		得	新谷 憲男	相談役	
	所在不明	▽	藤枝 奈美子		
		▽	黒井 とし直		
昭61			上原 真		
			大矢 英典		
			神谷 昌治		
			黒原 浩彰	副会長/中間層担当	
	所在不明		河野 誠		
		得	佐藤 金樹		
		佐藤 直直	女性委員		
昭62			秋沢 寛	副会長/中間層担当	
		▽	秋沢 奈緒美	理事/女性副幹事	
			神下 浩幸		
		▽	川崎 紀美		
			小出 秀直		
		得	空 英朝		
	故人		佐藤 英二		
所在不明		山下 厚			
昭63			大冨内 一夫		
			河島 英行		
			久野 鉄史		
	所在不明		黒田 晋正		
			鈴木 正典		
		▽	鎌田 秀雄		
		得	平松 有輝	幹事	
	所在不明		藤澤 秀一		
			鎌山 真一		
			藤 樹史		
			山田 博文		
		伊藤 栄治			
平01			田中 亨		
			南野 啓彦	学年担当	
	所在不明	得	水野 浩一		
平02		得	富川 和之		
			市川 留之		
			近藤 和		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業	時	氏名	役職
	▽	佐藤 英子	
	所在不明	得 藤田 直香	学年副副
	▽	長谷川 敦子	
		佐藤 角	
平03		下永唐 純一	
		藤田 豊	
	▽	藤丸 清孝	学年副副/女性委員
		花本 康夫	
	得	藤井 太一	
平04		渡辺 淳	
		神谷 充岸	学年副副
		野合 豊彦	
		藤岡 貞雄	
		水谷 康	
	所在不明	藤本 豊和	
平05	得	江口 明	
		藤田 祐史	
		角田 佳美	
	所在不明	新渡 西雄	
	所在不明	佐波 金雄	
		水本 博樹	学年副副
		山口 真一	
平06		山中 大樹	
	得	藤井 穂人	
	所在不明	佐藤 守仁	
	得	岡部 真一	
		石田 耕造	
		伊藤 敏彦	
	所在不明	藤 加藤 英彦	学年副副
		野内 豊亮	
	▽	鈴木 雄代	
		鈴木 豊一	
		田口 浩一	
平07		長谷川 雄	
		藤 紀乃	
		今井 豊彦	
		江川 正典	
	藤	奥出 朝紀	
	所在不明	▽ 神谷 美穂	
	所在不明	兵藤 輝也	
得	山本 一久	学年副副	
平08	藤	岩田 広彦	
	▽	岩田 由里子	
	▽	大村 真吾	
		藤井 敦香	
	▽	竹田 雅彦	
	得	小田 真一	学年副副
平09		佐藤 剛幸	
		岡部 池和	
		大村 弘香	
		木下 裕貴	
	所在不明	藤田 哲也	
		杉浦 優祐	
	▽	田中 真美	
	所在不明	得 藤田 智樹	学年副副
		日比野 純一	
		村山 大志	
所在不明	山田 卓智		
所在不明	近藤 隆弘		
平10		太田 豊	
	所在不明	▽ 藤本 真	

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
			加藤 雄二		
			木村 友治	理事/幹年選出	
			徳田 智徳		
			田中 隆介		
		▽	橋本 真由美		
			古田 岸介		
平11		幹	渡田 修一		
	所在不明	幹	高橋 英男		
	所在不明		佐久木 健夫		
	所在不明	▽	中井 綾子		
			長尾 貴之		
		▽	中野 繪那		
			長谷川 清恵		
			藤部 岸	幹事	
平12			藤部 岸		
	所在不明		藤部 岸		
			神藤 貴康		
			高橋 貞		
		▽	竹内 雄二		
平13		▽	竹内 芳雄	女性委員	
		幹	中島 弘人	幹年選出	
			山崎 剛		
			藤部 貴一		
平14		幹	伊大波 孝	幹事	
			長谷川 智那		
		▽	杉山 真希子	女性委員	
平14			堀江 光雄	理事/常任	
		▽	梶井 史子	女性委員	
		幹	山口 剛士	幹事	
平15		幹	菅原 健雄		
	所在不明		渡井 崇博		
			金澤 貴一		
		幹	近藤 友樹	理事/幹年選出	
			杉野 徹郎		
			高橋 祐介		
		▽	中山 剛		
平16			天野 妙子	女性委員	
			神山 聖史		
			内田 敏雄		
			太田 大寿		
		▽	横田 麻衣子	理事/女性副部長 /幹年選出女性選出	
			藤部 健夫		
	所在不明	幹	松永 仁彦		
		幹	横田 智成	理事/幹年選出	
平17		幹	渡邊 高孝	幹事	
		幹	谷本 貴雄	委員	
平18			秋山 昭太郎		
			岡部 豊彦		
			池田 広明		
		幹	内山 耕	委員	
			片山 杜二		
		▽	北岡 亮子		
	所在不明		中村 貞		
		幹	平井 和男	幹事	
	▽	広金 雅美	女性委員		
平19			村田 健一郎		
			岩田 光徳		
	所在不明		河野 岸典		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業	幹	氏名	役職	
		太田 昌二		
	所在不明	大塚 匠平		
	幹	植水 泰典	幹事	
	▽	山口 美純祐	理事/女性副部長 /若年層女性部長	
		山田 香三		
		山村 直一		
	幹	和田 直樹	役員	
平20	▽	船池 康女子		
	幹	加藤 文博	役員	
		清水 豊西		
	幹	白石 直大	幹事	
		野村 耕二郎		
	▽	原田 彰乃		
	▽	植水 卓也		
	島山 直純	女性役員		
平21	所在不明	船田 康		
		上野 由貴		
	幹	大口 友樹	役員	
		久原 和香		
	幹	小寺 貴久	幹事	
	▽	谷 香穂	女性役員	
		西口 直輝		
	船橋 直			
平22	所在不明	大塚 正幸		
		木村 雅人		
	▽	船橋 祐樹	女性役員	
	幹	瀧 雅士	役員	
	▽	田口 聖純		
		長谷川 泰史		
		島山 直大		
	船橋 雅太			
	幹	船川 卓哉	理事/若年層部長	
平23		大塚 敏三		
	▽	船橋 優衣		
		加藤 康仁		
		船川 祐樹		
		近藤 崇史		
		高塚 健直		
		田口 修平		
	所在不明	▽ 西岡 佑康		
		長田 幸樹		
	幹	西山 貴陽	幹事	
	▽	橋本 純康	女性役員	
		山本 直樹		
		幹	船橋 真也	役員
平24	幹	船田 大樹	幹事	
		多田 修平		
		船 一樹		
		永住 大樹		
		土井 剛		
	幹	高木 一樹	役員	
	▽	長尾 香葉	女性役員	
平25		船橋 一樹		
	所在不明	幹 船橋 都己	幹事	
		田内 貴大		
		加藤 康樹		
	所在不明	幹 町田 勇	役員	
		上田 大雅		
	所在不明	船橋 幸輝		
所在不明	竹内 修平			

商友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業	種	氏名	役職		
		鈴木 博雄			
		加藤 啓			
	所在不明	白野 有展			
		金沢 樹太			
		徳久 豊			
	所在不明	▽ 二村 沙恵	女性委員		
		▽ 長谷川 康典			
	早26	部	大島 晋徳	委員	
			岡川 雄鉄		
			佐藤 昭雄		
所在不明		種 康雄	幹事		
		田原 勇祐			
		西村 佑次郎			
	所在不明	野村 和典			
		藤野 由貴			
		▽ 荒井 友美	女性委員		
		高木 愛加			
早27	所在不明	石原 隆一			
		太田 雄介			
		原野 康祐			
		小島 久貴			
		嶋崎 一太			
		種 康水 大進	幹事		
		部 出口 敏雄	委員		
	所在不明	戸田 晋斗			
		古川 隆大			
		水谷 隼人			
	所在不明	藤 隼人			
		▽ 高橋 隆哉	女性委員		
早28		矢野 晋吾			
	所在不明	池田 晋次			
		部 伊藤 岸祐	委員		
		小倉 卓也			
		尾崎 隆介			
	所在不明	杉江 隆介			
		鈴木 智仁			
	所在不明	立花 隼人			
		竹内 雅貴			
		種 宮本 雅也	幹事		
所在不明	▽ 藤野 美帆	女性委員			
早29	所在不明	少康 純鉄			
		石原 大輔			
	所在不明	小白崎 隼人			
		吉田 有輔			
		宮地 恭也			
		成瀬 昭鉄			
	所在不明	中西 一樹			
		中村 康吾			
		部 山崎 晋吾	理事/幹年副議長		
		高橋 晋徳			
		宮田 一樹			
所在不明	永田 友幸	女性委員			
早30		藤田 真央			
		種 南 健彦	幹年議長		
		野田 純輔			
		部 矢野 康			
		平松 拓也			
		戸村 康徳			
		坂本 隆徳			
	▽ 林 りか				

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業	種	氏名	役職
平31	▽	小澤寺 香帆	女性委員
		石黒 航平	
		山口 貴人	
	所在不明	吉川 雄貴	
		岡本 晃之	
		得 藤原 慎之介	学年担当
	藤 藤山 大地		
		大塚 仁	
令02	得	成瀬 弘樹	理事/OG顧問担当
	藤	藤井 樹	
		飯本 悠輝	
		川城 輝仁	
		藤山 友直	
		藤原 幸之	
		西尾 悠紀	
		八木 直久	
		鈴木 晋仁	
		▽	神谷 純哉
令03	得	桐野 龍太郎	学年担当
		石川 航平	
	藤	糸丸 拓也	
		児玉 智哉	
		原 慎輝	
		藤吉 泰輝	
		大塚 誠人	
		新田 真	
		本村 真一	
		三輪 大貴	
	所在不明	山口 泰泰	
		鈴木 悠智	
		中野 大成	
		坪井 文香	
	▽	少村 和磨	女性委員
令04	得	畑 祐輔	学年担当
		天野 雄太	
		小林 文	
		木下 泰樹	
		梅田 将幸	
		長田 晋斗	
		宮本 拓	
	藤	西村 大翔	
		曾我 亮介	
		▽	武蔵 聖紗
令05	得	田之岡 幸祐	学年担当
		近藤 陽南太	
		藤谷 典孝	
	藤	山下 陽輝	
		宮地 真樹	
		守田 悠輔	
		西村 誠人	
	▽	渡田 美音	女性委員

副代表理事兼OG担当名簿			
副理		成瀬 弘樹	
副理		成沢 聖平	627~29
副理		小林 知生	629~36
副理		中島 龍太郎	6299J

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業	種	氏名	役職	
卒業		堀井 隆三	6913号	
卒業		伊藤 典光	6923号	
卒業		久野山・左門・右門	6943号	
卒業		KY 神父	6953号	
卒業・監査		町田 俊樹	6973号	
卒業・監査		藤 茂也	6993号	
卒業・監査		八尾 朝雄	6443号47+60	
卒業		藤田 一美	6483号	
卒業		花井 敏	6513号	
卒業		穴木 康哉	6543号	
卒業		成生 達彦	6573号	
卒業		中矢 俊博	H10-11	
卒業		木村 友寿	H103号	
卒業		西岡 厚	H12/43号	
卒業		堀江 光雄	H243号	

守備位置	氏名	学年	背番号	身長cm	体重kg	投・打	出身校
投手	川人 祐太	法4	11	172	70	右・右	愛知
〃	古庄 勇斗	総政3	59	168	68	右・右	星城
〃	澤村 一輝	理工2	15	179	70	右・右	津田学園
〃	小谷 勇輝	理工2	18	170	63	左・左	至学館
〃	伊仲 豊生	理工2	99	174	70	右・右	西春
〃	木村 栄一郎	総政1	34	182	73	右・右	南山
〃	早川 大翔	理工1	17	174	57	右・右	本巣松陽
〃	深谷 陸登	経済1	13	170	65	右・右	海星
捕手	田中 颯一郎	総政3	27	175	70	右・右	長久手
〃	花井 慧汰	経済2	22	167	72	右・右	京都外大西
〃	蛭川 健太	経済1	55	175	85	右・右	西尾
内野手	小野 裕心	理工4	2	170	67	右・右	杜若
〃	深谷 滄大	経済4	9	176	69	左・左	知立東
〃	小澤 奏太	経営3	24	175	64	右・左	長久手
〃	岡井 飛悠吾	経済3	1	180	70	右・左	加納
〃	宇野 敏樹	経済3	10	175	63	左・左	県立岐阜商業
〃	片田 怜	法3	21	170	65	右・左	名東
〃	山田 健太郎	外国語2	46	168	63	右・右	大福北
〃	棚瀬 将人	経営2	44	168	65	右・右	名東
〃	小西 裕一郎	法2	29	179	64	右・左	加納
〃	宮城 翔生	総政2	4	169	74	右・右	天理
〃	林 怜真	経済1	16	172	70	右・右	小牧南
〃	今福 優晴	総政1	25	168	61	右・右	名経大市部
〃	永谷 勇樹	経営1	66	175	82	右・左	国府
〃	齋藤 奏太	経済1	5	168	60	右・右	海星
外野手	原科 拓磨	経済4	51	177	77	右・右	多治見
〃	近藤 翔太	経営4	8	165	62	右・左	至学館
〃	柴 善輝	経営3	33	173	70	右・右	天白
〃	大林 駿介	経済3	49	170	72	右・左	豊橋東
〃	西塚 制覇	人文2	34	172	75	左・左	三重海星
〃	武田 知樹	経営2	41	160	55	右・右	高蔵寺
〃	今村 悠吾	外国語1	42	170	55	右・右	小牧南
〃	森上 駿太郎	理工1	14	173	61	右・右	名古屋
マネージャー	岡本 歩乃佳	経営3					愛知
〃	齋藤 希	国際教養2					仁愛女子
	水谷 実心乙	総政1					西春

今季の課題を来季
までにどこまで
クリアできるか



OA機器・スチール家具・事務用品 有限会社オフィスハヤカワ 052-794-2400
昭和45年卒業 早川 和久

広告募集

1ページ/10000円
半ページ/ 5000円
書・表2回掲載します

会報原稿募集中

OB会費納入にご協力をお願いいたします

現役への援助金・及び運営費です。何卒OB会費納入にご協力をお願いいたします。
会報は、現役・OB会費納入者・行事参加者にお渡ししています。

NANZAN BLUE SOX

南山大学硬式野球部OB会 南友会事務局

発行協力

南山大学硬式野球部 OB 会 南友会

NANZAN BLUE SOX

早川和久・大橋恵一・成瀬弘樹

南友会事務局

住所変更などのご連絡は下記までお願いします。

E-mail: keichi.ohashi0316@gmail.com



NANZAN BLUE SOX

<https://www.nanzanbaseball0809.com/>